

# 大山田保育園給食室増築工事

No.	図面名称	No.	図面名称	No.	図面名称	No.	図面名称	No.	図面名称
A-00	タイトル、図面リスト	A-34	部分詳細図2	S-01	構造特記仕様書	E-01	電気設備工事 特記仕様書	M-01	機械設備 特記仕様書
A-01	建築工事特記仕様書(1)	A-35	部分詳細図3	S-02	鉄筋コンクリート構造配筋標準図(1)	E-02	<改修>電灯設備 平面詳細図	M-02	給排水衛生設備 改修後 配置図
A-02	建築工事特記仕様書(2)	A-36	調理室平面詳細図	S-03	鉄筋コンクリート構造配筋標準図(2)	E-03	<改修>動力コンセント設備 平面詳細図	M-03	給排水衛生設備 改修後 平面図
A-03	建築工事特記仕様書(3)	A-37	<現況>展開図	S-04	鉄骨工作標準図(1)	E-04	<現況>動力コンセント設備 平面詳細図	M-04	給排水衛生設備 改修前、改修後 平面詳細図
A-04	建築工事特記仕様書(4)	A-38	<改修>展開図	S-05	鉄骨工作標準図(2)	E-05	<改修>空調設備・換気設備電源工事 平面詳細図	M-05	空調換気設備 改修後 機器表・換気設備計算書
A-05	建築工事特記仕様書(5)	A-39	<現況>天井伏図	S-06	H形鋼接手標準図	E-06	<改修>弱電設備・自火報設備 平面詳細図	M-06	空調設備 改修前、改修後 平面図
A-06	改修工事特記仕様書(1)	A-40	<改修>天井伏図	S-07	基礎伏図	E-07	<改修>電気設備 平面図	M-07	換気設備 改修前、改修後 平面図
A-07	改修工事特記仕様書(2)	A-41	<現況>建具平面図	S-08	梁伏図	E-08	<改修>電気設備 配置図	M-08	消火設備 改修後 平面図
A-08	改修工事特記仕様書(3)	A-42	<改修>建具平面図	S-09	軸組図			M-09	給排水衛生設備 改修前 配置図
A-09	改修工事特記仕様書(4)	A-43	建具表1	S-10	架構詳細図			M-10	給排水衛生設備 改修前 平面図
A-10	位置図	A-44	建具表2					M-11	厨房設備 平面図・機器リスト
A-11	敷地求積図	A-45	建具表3					M-12	厨房設備 給排水・ガス・電気設備位置図
A-12	<現況>配置図	A-46	建具表4					M-13	厨房設備 排気フード・ビット位置図
A-13	<改修>配置図	A-47	建具表5					M-14	浄化槽詳細図1(参考図)
A-14	仮設計画図	A-48	建具表6					M-15	浄化槽詳細図2(参考図)
A-15	工事概要・外部仕上表	A-49	<現況>外構図					M-16	浄化槽詳細図3(参考図)
A-16	内部仕上表1	A-50	<改修>外構図						
A-17	内部仕上表2	A-51	外構詳細図						
A-18	<現況>平面図								
A-19	<改修>平面図								
A-20	<現況>屋根伏図								
A-21	<改修>屋根伏図								
A-22	求積図								
A-23	法規チェックリスト								
A-24	<現況>立面図1								
A-25	<現況>立面図2								
A-26	<改修>立面図								
A-27	<現況>断面図								
A-28	<改修>断面図								
A-29	<現況>断面詳細図1								
A-30	<現況>断面詳細図2								
A-31	<改修>断面詳細図1								
A-32	<改修>断面詳細図2								
A-33	部分詳細図1								

特記	工事名 大山田保育園給食室増築工事			承認	管理建築士	印
	図名	縮尺	図面番号 A-00			
	タイトル・図面リスト			図面提出日	2022/01/19	

工事特記仕様書

Table with 2 columns: Section (I, II), Content (Project Name, Location, Area, etc.)

- III. 建築工事仕様
1. 共通仕様
2. 特記仕様
1) 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。
2) 特記事項は、○印の付いたものを適用する。
3) 項目に記載の( )内番号は標準仕様書の当該項目、図又は表を示す。

Main specification table with 4 columns: Item, Particular Specifications, etc.

Table with 2 columns: Item (e.g., 化学物質の濃度測定, 特別な材料の工法), Detailed Specifications and Notes.

Table with 2 columns: Item (e.g., 保証書, 19 模型製作, 20 その他), Detailed Specifications and Notes.

Table with 2 columns: Item (e.g., 建設財産情報交換システム, 29 三重県産業廃棄物税), Detailed Specifications and Notes.

Summary table with 4 columns: Particular Specifications, Project Name (大山田保育園給食室増築工事), Scale (A2, A4), and other administrative details.

6 コンクリート工事 (この章特記なき限り構造特記仕様書による)
1 ① ② ③ ④
2 ① ② ③ ④
3 ① ② ③ ④
4 ① ② ③ ④
5 ① ② ③ ④
6 ① ② ③ ④
7 ① ② ③ ④

8 コンクリート成形
1 ① ② ③ ④
2 ① ② ③ ④
3 ① ② ③ ④
4 ① ② ③ ④
5 ① ② ③ ④
6 ① ② ③ ④
7 ① ② ③ ④

7 鉄骨工事
1 ① ② ③ ④
2 ① ② ③ ④
3 ① ② ③ ④
4 ① ② ③ ④
5 ① ② ③ ④

9 防水工事
1 ① ② ③ ④
2 ① ② ③ ④
3 ① ② ③ ④
4 ① ② ③ ④
5 ① ② ③ ④

7 鉄骨工事 (continued)
1 ① ② ③ ④
2 ① ② ③ ④
3 ① ② ③ ④
4 ① ② ③ ④
5 ① ② ③ ④

9 防水工事 (continued)
1 ① ② ③ ④
2 ① ② ③ ④
3 ① ② ③ ④
4 ① ② ③ ④
5 ① ② ③ ④

5 断気装置
① シーリング
7 その他の防水処理

10 石工事
1 ① ② ③ ④
2 ① ② ③ ④
3 ① ② ③ ④
4 ① ② ③ ④
5 ① ② ③ ④
6 ① ② ③ ④

11 タイル工事
① 陶磁器瓦
② 壁タイル張りの工法
③ 陶磁器瓦

4 役物タイル
5 落下防止
④ 伸縮継目整地及びひび割れ誘発目地

12 木工事
1 ① ② ③ ④
2 ① ② ③ ④
3 ① ② ③ ④
4 ① ② ③ ④
5 ① ② ③ ④
6 ① ② ③ ④
7 ① ② ③ ④

13 屋根及びびとしい工事
① ② ③ ④
⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿





Main specification table with multiple columns and rows, containing detailed technical requirements for various materials and components. Includes sections for fire safety, drainage, and structural materials.

# 工事特記仕様書（改修）

I. 工事名称	大山田保育園給食室改修工事
II. 工事概要	
1 工事場所	三重県伊賀市 平田 地内
2 敷地面積	8.6.11. 9.6㎡
3 工事内容	大山田保育園 給食室
種名称	構造 鉄筋コンクリート造 1階建（一部鉄骨造）
建築面積	1.6.0.5. 3.9㎡
延べ面積	1.4.2.4. 8.3㎡
工事項目	給食室内部改修

- III. 建築改修工事仕様
- 1 共通仕様
- 図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、「三重県公共工事共通仕様書 令和2年8月制定版」及び「公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）平成31年版（以下「改修標準仕様書」という。）」による。
- 2 特記仕様
- (1) 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。  
(2) 特記事項は、○印の付いたものを適用する。  
(3) 項目欄に記載の（ ）内表示番号は改修標準仕様書の該当項目を示す。

章	項目	特記事項
1 一般共通事項	① 適用基準等	1) 公共建築工事標準仕様書（建築工事編）国土交通大臣官庁官庁営繕部監修（平成最新年版） 2) 建築工事標準詳細図 国土交通大臣官庁官庁営繕部監修（平成最新年版）
	② 施工条件	(1.3.5) ● 監督員と協議し決定する。 浄化槽の設置工事から着手し、保育園の夏休み（8/13～15前後）に切り替え工事を行うこと。 施工可能日 ● 給食室の改修工事は令和4年9月～翌年1月とすること 一部に土、日曜日、祝祭日施工あり 施工可能時間帯 ● 8時30～17時
	③ 部分引渡し、部分使用	○ 部分引渡しあり 指定部分（給食室） 時 期（令和5年 2月～ 給食提供できる状態とすること）
	④ 埋蔵文化財調査	埋蔵文化財の調査が行われる場合は協力すること。 ● 発掘調査等の実施あり ● 発見された場合、発掘調査等の実施あり
	⑤ 発生工事の処理等	(1.3.12) ○ 本工事は、その施工に特定建設資材を使用する新築工事等であって、その規模が「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」（平成12年5月31日法律第104号。以下「建設リサイクル法」という。）施行令で定める建設工事の規模に関する基準以上の工事であるため、建設リサイクル法に基づき分別解体等及び特定建設資材の再資源化等の実施について適正な措置を講ずることとする。 工事契約に明らかなにやむをえない事情により、予定した条件により難い場合は、監督員と協議するものとする。 分別解体等の方法
		工程 作業の有無 分別解体等の方法 造成等 ○ 有 ○ 無 ● 手作業 ● 手作業、機械作業の併用 基礎・基礎ぐい ○ 有 ○ 無 ● 手作業 ● 手作業、機械作業の併用 上部構造部分・外装 ○ 有 ● 無 ● 手作業 ● 手作業、機械作業の併用 屋根 ○ 有 ● 無 ● 手作業 ● 手作業、機械作業の併用 建築設備・内装等 ○ 有 ● 無 ● 手作業 ● 手作業、機械作業の併用 その他 ( ) ○ 有 ● 無 ● 手作業 ● 手作業、機械作業の併用 ・ 引き渡しを要するもの ○ 有 ( ) ・ 特別管理産業廃棄物 ○ 有 ( ) 処理方法 ( ) ・ 現場において再利用を図るもの ( ) ○ 再資源化を図るもの ○ コンクリート塊 ○ アスファルトコンクリート塊 ・ 建設発生木材 ・ 成形部等の解体・撤去にあつては、事前に石綿含有に係る施工調査を行う。含有が判明した等の場合、改修標準仕様書(9.1.5)に従い処理する。
	⑥ 建設副産物情報交換システムの利用	再生資源の利用又は建設副産物の搬出がある場合、発注者は発注時において工事請負代金額が100万円以上の工事については、工事着手前及び工事完了後に「再生資源利用計調査（実施書）」、「再生資源利用促進計画書（実施書）」を監督員に提出することとし、工事着手前にはJAGCO「運営する「建設副産物情報交換システム」」へデータを入力し、工事完了時にはシステムへ実績報告を行うこと。
	⑦ 三重県産業廃棄物処理	本工事には産業廃棄物税相当分が計上されていないため、発注者が課税対象となった場合には完成年度の翌年度の4月1日から8月31日までの間に別定める様式に産業廃棄物納付証明書添付し当該工事の発注者に対して支払請求を行うことができる。この期間を超えて請求することはできない。また、産業廃棄物処理費計表（マニフェスト）の数量の累計を超えて請求することはできない。
	⑧ 電気保安技術者	配置する
	⑨ 技能士	職種別に可能なものについては、積極的に活用のこと。
	⑩ 施工数量調査	調査範囲及び調査方法 ● 工種別の特記による
11 調査のための破壊部分の補修	補修方法 ● 図示（図面番号： ） ・ ( )	

⑫ 建築材料等	1) 本工事に使用する建築材料等は、設計図書に定める品質及び性能を有する新品とするほか「建築材料・設備機材等品質性能評価事業建築材料等評価名目」（最新版）（以下「評価名目」という。）と同等とする。品質が求められる水準以上であれば、県内生産品の優先利用に努めること。 2) 本工事で使用する建設資材の調達にあつては、極力県内の取扱業者から購入するよう努めること。 3) 製材等、フローリング又は再生木質ボードを使用する場合は、三重県「環境物品等の調達方針」に従い、あらかじめ「木材・木製品等の合法性、持続可能性の証明のためのガイドライン」に準拠した証明書と、監督員に提出すること。 4) 本工事に使用する木材は、品質が求められる水準以上であれば、「三重の木」利用推進協議会が認証する「三重の木」やあか杉認証機構が認証する「あか杉材」の優先利用に努めること。 5) 本工事に使用する建築材料のホルムアルデヒド取扱量は、F☆☆☆☆以上とする。 6) 下記製品を本工事で使用する場合は、三重県リサイクル製品利用推進条例に基づき認定製品を使用する。ただし認定製品が入りできない場合は、監督員と別途協議を行うこと。 〔認定製品の品名：〕 7) 下記製品を本工事で使用する場合は、三重県リサイクル製品利用推進条例に基づき認定製品を使用するように努める。認定製品の品名： ● 間伐材製工事用バリアード ● 間伐材工事用看板 ● 間伐材標示板 ● ( )
⑬ 化学物質の濃度測定	(1.6.9) 測定対象化学物質（●で示したものとす。） 適用 施設用途 熱風炉用フィルター トルエン キシレン エチルベンゼン スチレン 1,4-ジオキシベンゼン 学校 教育施設 ● ● ● ● ● ● 住宅 ● ● ● ● ● ● その他 ● ● ● ● ● ●
⑭ 特別な材料の工法	測定対象室及び測定箇所数 ● 図示（図面番号： ） ・ ( ) 測定方法 ( ● バッソフ法 ● アクティブ法) 測定時期 ( ● 工事完了後 ) 報告書提出部数 2部
⑮ 騒音・振動の防止	改修標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法は当該製品の指定工法による。 低騒音型・低振動型建設機械の指定に関する規程に基づき指定された建設機械の使用に努めること。
⑯ 工事写真	(1.2.4) 建築工事写真撮影要領（国土交通大臣官庁官庁営繕部（平成31年版））に従い撮影すること。 なお、デジタル工事写真の画像情報電子化を行う場合は、「デジタル工事写真の画像情報電子化について（平成29年3月1日付け国営警第21号）」による。
⑰ 完成図面	(1.8.2) 作成する ( ● 完成図 ● 健全に関する資料 ● ( ) ) 完成図作成範囲（配置図、平面図、立面図、断面図、仕上表等） 完成図はCADにより作成することとし、著作権（著作権法第27条及び第28条に規定する権利を含む）にかかる使用権は発注者に移譲するものとする。
⑱ 完成写真	デジタルカメラで撮影し、全て15センチメートルで印刷する。（A4版用紙に1ページあたり9枚）1部 撮影数は外観4面を各2面程度とし、規定の箇所が写真で取れない場合には、監督員と協議すること。 ● アルバム（大きさ335mm×290mm程度、カラー）1部
19 電子納品	工事写真は、「営繕工事に係る電子納品マニュアル（デジタル工事写真編）」等に基づき電子媒体も提出すること。 〔提出部数 ● 3部 ● 部〕 工事完成図面は、「営繕工事に係る電子納品マニュアル（工事完成図面編）」に基づき電子媒体も提出すること。 〔提出部数 ● 3部 ● 部〕 施工範囲
⑳ 設備工事との取合い	○ 図示した鉄筋コンクリート部の貫通孔・開口部の補強 ○ 図示した壁・天井の仕仕材・下地材の切込み及び補強 ● 自動閉鎖装置取付箇所等の切込み及び補強 ● 駆動装置が電動による器具等の2次側の配管・配線及び 操作スイッチ 施工図 ○ 設備機器の位置、取合い等の検討できる施工図を提出して、監督員の承認を受けること。
㉑ 既存部分等への処置	(1.3.13) 工事施工に際し、既存部分を汚損した場合は、監督員に報告するとともに承諾を受けて現状に準じて補修する。
㉒ 事故の発生時	工事施工中に事故が発生した場合には、直ちに監督員に通報するとともに、所定の様式により工事事故発生報告書を監督員が指示する期日までに、監督員に提出すること。 また、事故発生後の措置について監督員と協議を行うとともに、当該事故に係る状況聴取、調査、検証等に協力すること。
㉓ 下請次数制限及び市内企業優先	本工事における下請の次数は、2次（建築一式工事は3次）までとする。なお、その次数を超える下請契約を締結する場合は、下請契約締結前に書面により発注者の承認を得ること。 本工事において、下請契約を締結する場合は、当該契約の相手方（2次以下の請負人を含む）を伊賀市内に本店（建設業法において規定する主たる営業所を含む）を有する者の中から選定するよう努めること。また、工事現場を所管する建設事務所管内又は隣接する建設事務所管内に本店（建設業法において規定する主たる営業所を含む）を有する者を優先して選定するよう努めること。なお、県外企業を下請契約の相手方と選定する場合は、下請契約締結前に書面により発注者に報告を行うこと。
24 総合評価方式	本工事で提案不履行があった場合は、本工事成年度の翌年度に総合評価方式で発注する案件（以下「発注工事」という。）で、貴社の評価値において発注工事の加算点（満点）の1割を減点します。 暴行団員等による不当介入（三重県公共工事等暴行団員等排除措置要綱第2条第1項第14号）を受けた場合の措置について
㉔ 不当介入を受けた場合の措置	1) 発注者は暴行団員等（三重県公共工事等暴行団員等排除措置要綱第2条第1項第14号）による不当介入を受けた場合は、断固としてこれを拒否するとともに、不当介入があった時点で速やかに三重県警察に通報を行うとともに、捜査上必要な協力を行うこと。 2) 1)により三重県警察本部に通報を行うとともに、捜査上必要な協力を行った場合には、速やかに発注者に報告すること。発注者への報告は必ず文書で行うこと。 3) 発注者は暴行団員等により不当介入を受けたことから工程に遅れが生じる等の被害が生じた場合は、発注者と協議を行うこと。
㉕ 消防法関係の手續	1) 消火器に係る消防用設備等設置届出書の作成 ● 本工事 ( ● 建築工事 ● 電気設備工事 ● 機械設備工事 ) ● 別途工事 2) 防火対象物使用開始届出書 審判の作成（電気設備図面の作成及び電気設備に関する部分の記入）を行うこと。
㉖ 主任技術者又は監理技術者	1) 技術者要件 工事現場に配置する主任技術者又は監理技術者は、本工事の入札公告で定める技術者要件を満たす者としなければならない。 2) 専任を要しない期間 (1) 現場施工に着手するまでの期間（現場事務所等の設置、資機材の搬入又は建設工事等が開始されるまでの期間）については、主任技術者又は監理技術者の工事現場への専任を要しない。なお、現場施工に着手する日については、請負契約締結後、監督員との打合せにおいて定める。 (2) 検査終了後の期間 検査完成後、検査が終了（発注者の都合により検査が遅延した場合を除く。）、事務手続、後片付け等のみが残っている期間については、主任技術者又は監理技術者の工事現場への専任を要しない。なお、検査が終了した日は、発注者が工事の完成を確認した日、発注者に通知した日とする。

㉗ 労働安全衛生法に基づく労働災害防止措置	労働安全衛生法第30条第1項に規定する措置を講ずる必要がある場合、その措置を講ずべき契約と、同法第30条第2項の規定に基づき、本工事の請負者を指名する。この場合における指名への同意は、本工事の請負契約を締結することにより得られたものとみなす。	
2 仮設工事	① 騒音・粉じん等の対策	(1.2.13) ○ 防音パネル 設置範囲 ● 図示（図面番号： ） ○ 防音シート 設置範囲 ● 図示（図面番号： ）
	② 足場	(2.1) 足場を設ける場合には、「手すり先行工法等に関するガイドライン」によるものとし、足場の組立て、解体又は変更の作業は、同ガイドラインの別紙1「手すり先行工法等による足場の組立て等に関する基準」における2の（2）手すり設置方式又は（3）手すり先行専用足場方式により行うこと。 が新設時 ○ 設置する 設置範囲 ( ) 工事に必要な範囲 ( ) ● 設置しない 防風シート ○ 設置する 設置範囲 ( ) 工事に必要な範囲 ( ) ● 設置しない 内部足場 ○ 設置する ( ) 取立 ( ) ● 設置しない (表2.1) 材料、撤去材等の運搬方法 種別 ( ● A種 ● B種 ● C種 ● D種 ● E種 ) C種：利用可能エレベーター ( ) D種：利用可能階段 ( )
	③ 既存部分の養生	(2.3.1) 既存部分の養生 ● 図示（図面番号： ） 既存ブラインド・カーテンの養生 養生方法 ( ) ● 保管場所 ● 構内既存施設内 ( ) ● 固定された備品、机、ロッカーの移動 ● 行方 ● 行わない
	④ 仮設間仕切り	(2.3.2) (表2.3.1) 壁内の仮設間仕切り ● A種 ● B種 ● C種 合板 厚さ ○ 9mm ( ) せつこうボード 厚さ ● 9.5mm ( ) 合板又ははせこうボードの塗装 ● 行方 ● 行わない 設置箇所 ● 図示（図面番号： ） 仕様 ● 合板張り床裏面 ( )
	⑤ 監督員事務所	(1.2.4) ● 構内建物内の一部を使用する。 ● 設置する 監督員事務所の規模（単位：㎡） 適用 規模 10程度 20程度 35程度 65程度 100程度 監督員事務所の仕上げ 部 位 等 仕 上 げ 床 合板張り又はビニール床シート張り 内装・天井 合板張り又はせつこうボード張り、合成樹脂エマルジョン塗り 屋根 装浴風垂めつて鋼板張り、又は鉄板張り、鋼合パント塗り
	⑥ 監督員事務所の設備、備品等	(2.4.1) (2) (7) 種類 机・いす 書棚 桌板・白板 掛時計 温度計 数量 個 組 台 個 個 個 個 種類 長銃 両合羽 保護帽 懐中電灯 衣類ロッカー 数量 足 着 個 個 個 台 種類 消火器 掃除具 発注者加入電話 冷暖房機器 インターネット 数量 個 個 個 台 台 台 台
	⑦ 仮設便所	構内既存の施設 ● 利用できる ○ 利用できない
	⑧ 工事用水	構内既存の施設 ● 利用できる ( ● 有償 ● 無償 ) ● 利用できない
	⑨ 工事用電力	構内既存の施設 ● 利用できる ( ● 有償 ● 無償 ) ● 利用できない 本工事で新規受電または既設電気回路に接続し通電した時から工事に起因する電力料金は、本工事に含まれる。
	⑩ 交通誘導警備員	配置 ○ 図示（図面番号： A-14 ）

特記	工事名 大山田保育園給食室増築工事	承認	管理建築士	印
	図名 改修工事特記仕様書（1）	図面番号 A-06		
		図面提出日 2022/01/19		





4 塗り仕上げ (4.2.2)(10) (表4.2.4(その1) (その2))	種類	呼び名	仕上げ形状	工法
	薄付け仕上塗材	・ 外装薄塗材E	・ 砂壁状	吹付け
			・ 平たん状	こて
	厚付け仕上塗材	・ 外装厚塗材C	・ 凹凸状	こて
			・ 伸ず肌状	ローラー
			・ さざ波状	吹付け
			・ 着色骨材砂壁状	こて
			・ ( )	( )
	複層仕上塗材	・ 外装厚塗材Si ・ 外装厚塗材E	・ 吹出し	吹付け
			・ 凸部処理	吹付け
・ 平たん状			こて	
可とう形改修用 仕上塗材	・ 可とう形改修塗材E ・ 可とう形改修塗材E ・ 可とう形改修塗材E	・ 凹凸状	ローラー	
		・ ひき起し	ローラー	
		・ 伸ず肌状	吹付け	
(4.7.2) (表4.7.1) (表4.7.5)	・ 外装厚塗Cの上塗材がセメントスタッコ以外の場合 材所要量 ( kg/m <sup>2</sup> )  ・ マスチック塗材塗り ・ A種 ・ B種  複層仕上塗材及び可とう形改修塗材の上塗材の種類			
(表4.2.6)	樹種種類	溶媒種類	外 観	
	・ アクリル系	・ 溶剤系	・ 艶有 ・ 艶無 ・ メタリック	
	・ シリカ系	・ 水系	・ 艶有 ・ 艶無	
	・ ポリウレタン系	・ 溶剤系	・ 艶有 ・ 艶無 ・ メタリック	
	・ アクリル シリコン系	・ 水系	・ 艶有 ・ 艶無	
	・ ふっ素系	・ 溶剤系	・ 艶有 ・ 艶無 ・ メタリック	
		・ 水系	・ 艶有 ・ 艶無	
		・ 溶剤系	・ 艶有 ・ 艶無	
		・ 水系	・ 艶有 ・ 艶無	
		・ 水系	・ 艶有 ・ 艶無	
(注)	艶無及びメタリックは、可とう形複層塗材、防水形複層塗材、及び可とう形改修塗材には適用しない。			
(表4.6.3)	外壁用塗膜防水材の仕上げの形状及び工法	種類	仕上げの形状	工法
	外壁用塗膜防水材	・ 凹凸状	吹付け	
		・ 凸部処理	ローラー	
	外壁用塗膜防水材	・ 伸ず肌状	ローラー	
		・ さざ波状	ローラー	
	(表4.6.4)	既存塗膜等の除去及び下地処理	工法	処理範囲
		・ サンダー工法		
		・ 高圧水洗工法		
		・ 溶剤除去工法		
		・ 水洗工法 ( ・ デッキブラシ )	外壁、屋上、庇、階段、巾木、n°22-、軒天 等	
(表4.6.4)		下地調整	・ C-1 ・ C-2 ・ DM-2 ・ E ・ ( )	
		※軒天などの外装薄塗材Eについては、省略とする。		

7 網戸 (5.2.3)(5)	・ 可動式 ・ 固定式	防虫網の材質	・ ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ ステンレス(SUS316)製							
	網目	・ 16メッシュ ・ 18メッシュ								
	8 樹脂製建具 (5.3.2)~(5.3.5) (表5.3.1)~ (表5.3.3)	外部に面する樹脂製建具の性能等級	・ A種 ・ B種 ・ C種							
		・ 防音ドアセット、防音サッシ (等級 )								
		・ 断熱ドアセット、断熱サッシ (等級 )								
		ガラス ・ 複層ガラス ・ ( )								
		建具枠見込寸法 ・ 図示 (図面番号: )								
		水切り ・ 図示 (図面番号: )								
		ぜん板 ・ 図示 (図面番号: )								
		丁番 ・ 改修標準仕様書(表5.7.3)による ・ 図示 (図面番号: )								
9 鋼製建具 (5.4.2)		鋼製建具の性能等級	・ 簡易気密性ドアセット							
		・ 外部に面する建具の耐風圧	S-4 ・ S-5 ・ S-6							
	・ 防音ドアセット、防音サッシ (等級 )									
	・ 断熱ドアセット、断熱サッシ (等級 )									
	・ 耐震ドアセット (等級 )									
	(5.4.4)	・ H2400又はH950の建具								
		鋼板の厚さ ・ 図示 (図面番号: )								
		10 鋼製軽量建具 (5.5.2)~(5.5.5) (表5.5.1)~ (表5.5.3)	鋼製軽量建具の性能等級	・ 簡易気密性ドアセット						
			・ 防音ドアセット、防音サッシ (等級 )							
			・ 断熱ドアセット、断熱サッシ (等級 )							
・ 耐震ドアセット (等級 )										
・ H2400又はH950の建具										
鋼板の厚さ ・ 図示 (図面番号: )										
11 ステンレス製 建具 (5.6.2) (表5.6.1) (表5.6.2)			表面仕上げ	・ 塗装 ・ ビニル被覆鋼板 ・ カラー鋼板 ・ ステンレス鋼板 ( ・ HL ・ 鏡面 ) ・ ( )						
			ステンレス製建具の性能等級	・ 簡易気密性ドアセット						
	・ 外部に面する建具の耐風圧		S-4 ・ S-5 ・ S-6							
	・ 防音ドアセット、防音サッシ (等級 )									
	・ 断熱ドアセット、断熱サッシ (等級 )									
	・ 耐震ドアセット (等級 )									
	(5.6.3)	材料 ・ SUS304 ・ ( )								
		(5.6.4)	表面仕上げ ・ HL仕上げ ・ ( )							
			(5.6.5)	曲げ加工 ・ 普通曲げ ・ 角出し曲げ						
				12 建具用金物 (5.7.2)	金物の見え掛かり部等の材質等	・ 改修標準仕様書(表5.7.1)による ・ 図示 (図面番号: A024 )				
(5.7.4)					マスタキー ・ 製作する ・ 製作しない 引渡用階箱 ・ 必要 ・ 不要					
					13 自動ドア開閉 装置 (5.8.2)	駆動装置及び検出装置の性能等級 ( ・ 多機能トイレ出入口 )	・ 図示 (図面番号: )			
						(5.8.3)	引き戸検出装置の種類	・ 図示 (図面番号: )		
							(表5.8.4)	凍結防止措置 ・ あり ・ なし		
								14 自閉式上り 引戸装置 (5.9.3)	自閉式上り引戸装置の性能等級	・ 改修標準仕様書(表5.9.1)による ・ ( )
									15 重量シャッター (5.10.2)	種類
	(5.10.2)(3)									耐風圧強度 ( Pa以上)
		(表5.10.1)								開閉機能
			(5.10.2)(6)							一般重量シャッターのシャッターケース
				(5.10.3)						開閉形式
(表5.11.1)										耐風圧強度 ( Pa以上)
					(5.11.3)					スラットの材質及び形状
						16 軽量シャッター (5.11.2) (表5.11.1)				開閉機能
							(5.11.3)			耐風圧強度 ( Pa以上)
								(5.11.4)		スラットの材質及び形状

17 オーバーヘッド ドア (5.12.2)	型式及び機構	・ セクション材料 ・ スチールタイプ ・ アルミニウムタイプ ・ ファイバーグラスタイプ							
	耐風圧強度 ( Pa以上)								
	開閉方式	・ バランス式 ・ チェーン式 ・ 電動式							
	収納形式	・ スタンダード形 ・ ローヘッド形 ・ ハイリフト形 ・ パーチカ形							
	ガイドレール	・ 溶融鉛めっき鋼板 ・ ステンレス鋼板							
	18 板ガラス (5.13.2)(1) (5.13.4)	・ 図示 (図面番号: )							
	19 ガラス留め材 (5.13.2)(2)	・ シーリング ・ ガスケット ( )							
	20 ガラス溝の寸法、 形状等 (5.13.3)	・ 図示 (図面番号: ) ・ 建具製造所の仕様による							
	21 ガラスブロック 積み (5.13.5)	ガラスブロック 表面形状、寸法、厚さ ・ 図示 (図面番号: ) 金属枠、補強材 ・ 図示 (図面番号: )							
	6 内装 改修 工事	① 一般事項 (6.1.3)(2)	既存仕切壁の撤去に伴う取り合い部分の改修範囲 改修部分 改修範囲 ○ 天井 ○ 図示 (図面番号: ) ○ 壁 ○ 図示 (図面番号: ) ○ 床 ○ 図示 (図面番号: )						
(6.1.3)(3)		天井内の既存壁の撤去に伴う取り合い部の天井改修範囲 ○ 図示 (図面番号: ) ・ ( )							
(6.1.3)(5)		天井の撤去に伴う取り合い部の壁面改修 ・ 図示 (図面番号: ) ・ ( )							
② 既存壁撤去、下 地補修 (6.2.2)(1)(7) (6.2.2)(1)(4) (6.2.2)(3)		下地補修	・ 既存仕上り材の除去等 ・ 浮き、欠損部等による下地モルタルの撤去 ・ 行う ・ 行わない						
		(6.2.2)(1)(7)	合成樹脂塗り床材の除去等 ・ 機械的除去工法 ○ 目荒し工法						
		(6.2.2)(3)	改修後の床の清掃範囲 ○ 施工範囲及び施工によって汚れた範囲 ・ ( )						
		③ 既存壁撤去、下 地補修 (6.3.2)	既存仕切壁の撤去に伴う他の構造体の補修工法 ・ ( )						
			4 木下地等 (6.5.1)(3) (表6.5.1) (表6.5.2) (6.5.2)(1)(4) (表6.5.3)	表面仕上げ 機械加工 ・ A種 ・ B種 ・ C種 手加工 ・ H-A種 ・ H-B種 ・ H-C種 木材の含水率 (工事現場搬入時、質量比)					
				(6.5.2)(1)(4)	部材名称 種 別 下地材 ・ A種 ・ B種 造作材 ・ A種 ・ B種				
				(6.5.2)(2)(7)	製材 「製材の日本農林規格」による製材				
	(表6.5.2)(4)				「製材の日本農林規格」による製材				
					(6.5.2)(2)(7)	樹種、寸法、形状 等級 含水率 保存処理 材面の品質			
						(表6.5.4)	下地用 針葉樹製材 ・ 図示 (図面番号: ) ・ ( ) ・ ( ) ・ ( ) ・ ( )		
(表6.5.4)							造作用 針葉樹製材 ・ 図示 (図面番号: ) ・ ( ) ・ ( ) ・ ( ) ・ ( )		
							(表6.5.4)	広葉樹製材 ・ 図示 (図面番号: ) ・ ( ) ・ ( ) ・ ( ) ・ ( )	
								(6.5.2)(2)(4)	「製材の日本農林規格」以外の製材
		(6.5.2)(2)(7)							樹種、寸法、材面の品質、防虫処理、含水率 ・ 図示 (図面番号: A020、A021 ) 造作材の材面の品質 ・ A種 ・ ( )
			(表6.5.4)						部 位 樹 種 産 産 材 床見切り 杉 三重県産材 巾木 杉 三重県産材
									(6.5.2)(3)(7)
				(表6.5.4)					
	(表6.5.4)								
					(表6.5.4)				
						(表6.5.4)			
(表6.5.4)									
							(表6.5.4)		

(6.5.2)(3)(4) 「集材材の日本農林規格」以外の製材  
 樹種、寸法、発汗材の品質 ・ 図示 (図面番号: )  
 含水率 ・ 15%以下 ・ ( )

(6.5.2)(4)(7) 造作用単板積層材  
 「単板積層材の日本農林規格」による造作用単板積層材  

部位	品名・寸法	表面の品質	防虫処理
造作用単板積層材	・ 図示 (図面番号: )	・ ( )	・ ( )

 (表6.10.4)

(6.5.2)(4)(4) 「単板積層材の日本農林規格」以外の造作用単板積層材  
 寸法、表面の品質、防虫処理 ・ 図示 (図面番号: )  
 含水率 ・ 14%以下 ・ ( )

(6.5.2)(5) 「重交集成板の日本農林規格」による重交集成板  
 品名、曲げ強度、種別、接着性能、樹種及び寸法 ・ 図示 (図面番号: )

(6.5.2)(6) ・ 合板等  

品名(品目)	樹種名	接着の程度	等級	板面の品質	防虫処理等	厚さ
3切	1類	2等				5.5、9

 (表6.11.2)

(6.5.3)(1) 接合具等  
 造作材化粧面の釘打ち ・ 隠し釘打ち ・ ( )

(6.5.3)(2) 種動物  
 形状、寸法及び材質 ・ 図示 (図面番号: )

(6.5.5)(1) ・ 防虫、防蟻処理  
 適用部位 図示 (図面番号: )  
 保存処理性能区分 ( )  
 薬剤の通常等の処理方法 ( )  
 耐腐蝕Aに基づく表面処理用木材保存剤 ・ 適用する( )薬剤の種類 ( ) ・ 適用部位 ( )  
 ボード原料接着剤への防虫・防蟻処理 ( )

(6.5.5)(2) ・ 防虫処理  
 ・ 図示 (図面番号: )

⑥ 軽量鉄骨天井下地  
 (6.6.2) (表6.6.1) (6.6.3)  
 形式及び寸法  
 ・ 屋外 ・ 図示 (図面番号: )  
 ・ 耐震天井 ・ 図示 (図面番号: )  
 ・ ふところ高1.5m ・ 改修標準仕様書(6.6.4)(8) ・ 図示 (図面番号: )

(6.6.4) 既存埋込みインサート  
 ・ 使用する ( ) 使用しない (※使用する場合は、確認試験を行う)  
 既存埋込みインサート、あと施工アンカーの確認試験  
 ・ 行う ( ) 図示 (図面番号: ) ( ) 行わない  
 ・ 確認試験の箇所数 ( )箇所 ・ 確認強度 ( )  
 耐震性・耐風圧性を考慮した種別  
 ・ 図示 (図面番号: )

⑥ 軽量鉄骨壁下地  
 (6.7.3) スタッド、ランナーなどの種別は、(表6.7.1)による。

7 ビニル床シート、ビニル床タイル及びゴム床タイル張り  
 (6.8.2) (6.8.2)(1) (6.8.2)(3)(4)(8)  
 ・ 防湿性床シート又は床タイル  

種類	寸法	厚さ	備考

 (6.8.3)(1) 工法  
 下地 ・ モルタル塗り ・ セルフレベリング材塗り ・ 木下地 ・ その他 ( )コクリト )

(6.8.3)(2)(7) ビニル床シート張り  
 熱溶接工法 ・ 適用する ・ 適用しない

8 カーベツト敷き  
 ・ 縦じゅうたん  

種類	糸の種類	バヤルの形状	帯電性	品質の程度	色納
・ A種	・ 羊毛	・ カットバヤル	・ 人体帯電圧	・ ( )	・ 無地
・ B種	・ 絹糸	・ ループバヤル	・ 3kV以下	・ ( )	・ 柄物
・ C種	・ ( )	・ カット、ループ併用	・ ( )	・ ( )	・ ( )

 品質の程度欄に記載した商品名は、品質の程度を示すための参考商品名である。(以下同様)

(6.9.2)(2) (表6.9.2) ・ タフテッドカーベツト  

バヤルの形状	バヤル長(mm)	帯電性	工法	品質の程度
・ カットバヤル	・ ( )	・ 人体帯電圧	・ 全面接着工法	・ ( )
・ ループバヤル	・ ( )	・ 3kV以下	・ グリッパー工法	・ ( )
・ カット、ループ併用	・ ( )	・ ( )	・ ( )	・ ( )

 (6.9.2)(3) ・ ニードルパンチカーベツト  

厚さ(mm)	帯電性	備考
・ ( )	・ 人体帯電圧	・ ( )
・ ( )	・ 3kV以下	・ ( )
・ ( )	・ ( )	・ ( )

 (6.9.2)(4) (表6.9.2) ・ タイルカーベツト  

種類	バヤルの形状	寸法(mm)	総厚さ(mm)	品質の程度
・ ( )	・ カットバヤル	・ 500×500	・ 6.5	・ ( )
・ ( )	・ ループバヤル	・ ( )	・ ( )	・ ( )

 (6.9.2)(5) 下敷き材  
 (6.9.2)(6) 畳切り、埋入敷物 ・ 第2種第2号、厚さ8mm ・ ( )  
 ・ 適用する(材質、種別及び形状) ・ 図示 (図面番号: )

(6.9.3)(3) 縦じゅうたんの接合方法  
 ・ ヒートボンド工法 ( )  
 (6.9.3)(5) タイルカーベツトの敷き方  

階層部分	市松敷き	模様流し	( )
	・ ( )	・ ( )	・ ( )

 弾性ウレタン樹脂系塗床の仕上げ種類、工程  
 ( ) 平滑仕上げ ( ) 防汚仕上げ ・ つや消仕上げ

(9) 合成樹脂塗床  
 (6.10.3)(2)(a) (表6.10.4) 平滑仕上げ ( ) 防汚仕上げ ( ) つや消仕上げ

(6.10.3)(2)(b) エポキシ樹脂系塗床の仕上げ種類  
 (6.10.3)(3) ・ 薄膜流しの仕上げ ( ) 平滑 ( ) 防汚 ( ) 厚膜流しの仕上げ ( ) 平滑 ( ) 防汚  
 (表6.10.5) ・ 樹脂モルタル仕上げ ( ) 平滑 ( ) 防汚 ( ) 薄膜型塗床仕上げ ( ) 平滑 ( ) 防汚

10 フローリング張り  
 (6.11.4) (表6.11.2) ・ 釘留め工法  

材料	種別	樹種
・ フローリングボード (根柢床用)		
・ 複合フローリング (根柢床用)	・ A種	・ ( )
	・ B種	・ ( )
	・ C種	・ ( )

 防湿処理 ・ 図示 (図面番号: )

(6.11.5) (表6.11.6) ・ 接着工法  

材種	樹種	厚さ	大きさ
・ フローリングボード (直接用)			
・ フローリングブロック (直接用)	・ なら		
・ 複合フローリング (直接用)	・ ( )		
・ A種	・ B種	・ C種	

 接着材 ・ 合成樹脂発泡シート ・ 図示 (図面番号: )

(6.11.6)(3) 塗装  
 ・ ウレタン樹脂ニス塗り (1液形、B種)  
 ・ オイルステイン塗りのうすワックス塗り  
 ・ 生地のままワックス塗り ( )

11 畳敷き  
 (6.12.2) (表6.12.1) 種別 ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種  
 ・ D種の畳表 K T - ( ・ I ・ II ・ III ・ K ・ N )

(12) セッコウボード、その他ボード及び合板張り  
 (6.13.2) (表6.13.1)

材種	種別	厚さ(mm)
・ セッコウボード	壁	・ 9.5(準不燃)
	天井	・ 12.5(不燃)
・ 化粧セッコウボード	木目模様	・ 9.5(不燃) ・ 9.5(準不燃)
	普通	・ 9( )
・ ロックウール化粧吸音板	・ 立体模様	・ 9( )
・ けい酸カシウム板	・ タイプII 0.8K	・ 6
・ シージングセッコウボード		・ 12.5(不燃)

 (6.13.2)(8) 遮音シール材  
 ・ シーリング材 ・ ジョイントコンパウンド

(6.13.3)(5)(7) 合板張りの種別  
 ・ A種 ・ B種

(6.13.3)(7)(7) セッコウボードの目地工法  
 ( ) 縫目処理 ・ 突付け ・ 目透し

13 壁紙張り  
 (6.14.2)

施工箇所	種類	防火性能
		・ 不燃 ・ 準不燃

 (6.14.3) モルタル塗り  
 モルタル ・ 現場調合材料 ・ 既調合材料  
 既製目地材 ・ 使用する(形状: )  
 床の目地 ・ 図示 (図面番号: )  
 下地処理 ・ 壁面の仕上げ厚又は全塗り厚が25mm超 図示 (図面番号: )

(15) タイル張り  
 (6.16.2) (表6.16.3) 伸縮調整目地  
 位置 ・ 図示 (図面番号: )

(6.16.3)(2) タイルの種類  

施工箇所	形状	寸法	耐滑り性	標準・特色色別	耐凍害性の有無

 (6.16.3)(2) 試験及び行方  
 ・ 行方 行わない  
 目地床目地 ・ 行方 行わない  
 既調合モルタル ・ 使用できる ・ 使用できない

16 セルフレベリング材塗り  
 (6.17.2) (6.17.3) ・ セッコウ系 ・ セメント系  
 塗厚 ( ) mm

(17) 断熱材  
 (9.5.2) 断熱材打込み工法  

種類	種別	厚さ(mm)	施工箇所
・ ビーズ法ポリスチレンフォーム			
・ 噴注法ポリスチレンフォーム	2種b	20	外壁面
・ A種硬質ウレタンフォーム		100	天井裏
・ グラスウール	24K	100	天井裏

 (9.5.3) 断熱材現場発泡工法(吹付硬質ウレタンフォーム)  

種類	厚さ(mm)	施工箇所
・ A種1		・ 窓回り等の断熱材構部分、ルーフトレンド固りの床版
・ A種1H		・ 窓回り等の断熱材構部分、ルーフトレンド固りの床版

 下等、部分的に後張りとしなければならない箇所

7 塗装改修工事  
 1 材料 (7.1.3) ・ 室内の壁、天井仕上げは防火材料とする。  
 ・ 次の箇所を除き防火材料とする。(箇所: )  
 2 下地調整 (7.2.1~7.2.7) (表7.2.1) (表7.2.7) 既存塗膜の除去範囲 (塗り替えでR B種の場合)  
 ・ 図示 (図面番号: )  

種別	下地	種別	ひび割れ部の種別
・ 鉄鋼面	・ RA種	・ RB種	・ RC種
・ 塗膜剥きつき箇所	・ RA種	・ RB種	・ RC種
・ モルタル、プラスター面	・ RA種	・ RB種	・ 行う
・ コンクリート、A L Cパネル面	・ RA種	・ RB種	・ 行う
・ コンクリート、押出成形セメント板面	・ RA種	・ RB種	・ 行う
・ セッコウボード、その他ボード面	・ RA種	・ RB種	・ RC種

 ※木部、4-1面の新規面については、素地R種とする。

3 錆止め塗料塗り (7.3.2) (7.3.3) (表7.3.1) (表7.3.4) 錆止めの塗料種別  
 鉄鋼面 ・ A種 ・ B種  
 塗膜剥きつき箇所 ・ A種 ・ B種 ・ C種  
 錆止めの塗料種別  
 鉄鋼面 ・ A種 ・ B種 ・ C種  
 塗膜剥きつき箇所 ・ A種 ・ B種 ・ C種

(4) 合成樹脂調整ポイント塗り(SIP) (7.4.2) (7.4.3) (7.4.4) (7.4.5) (表7.4.1) (表7.4.3) 塗料種別 ・ 1種 ・ ( )  

種別	下地	種別
・ 木部	・ A種	・ B種 ・ C種
・ 鉄鋼面	・ A種	・ B種 ・ C種
・ 塗膜剥きつき箇所	・ A種	・ B種 ・ C種

 (7.5.2) (表7.5.1) 5 クリヤラッカー塗り(OL)  
 種別 木部 ・ A種 ・ B種

6 アクリル樹脂系非水分散形塗料(NAD) (7.7.2) (表7.7.1) 上塗り等級  
 ・ 1級(フッ素系) ・ 2級(シリコン系) ・ 3級(ポリウレタン系)  

種別	下地	種別
・ 鉄鋼面	・ A種	・ B種 ・ C種
・ 塗膜剥きつき箇所	・ A種	・ B種 ・ C種
・ コンクリート面及び押出成形セメント板面	・ A-1種	・ A-2種
	・ B-1種	・ B-2種
	・ C-1種	・ C-2種

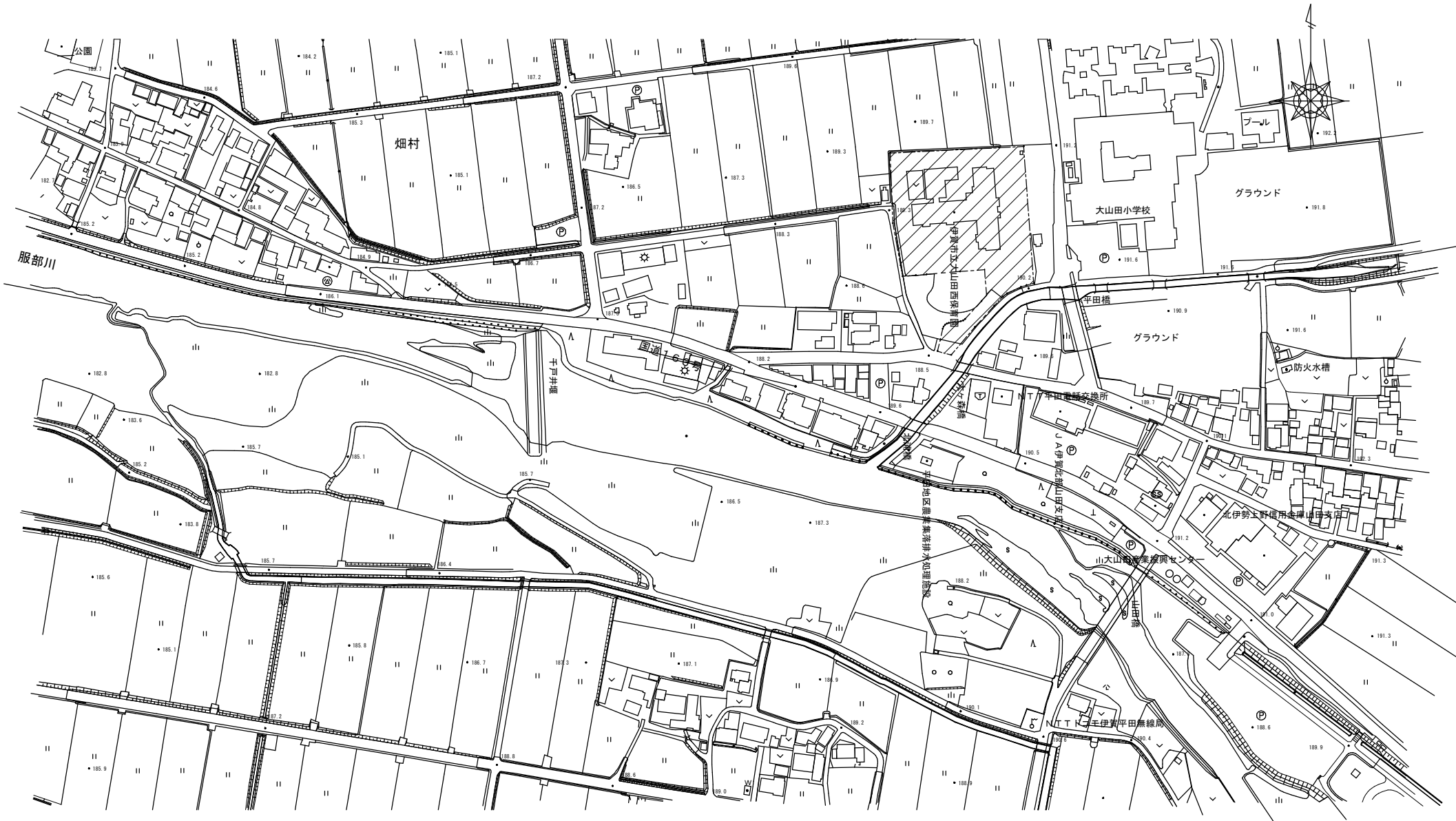
 (7.8.2) (7.8.4) (表7.8.1) (表7.8.3) 7 耐熱性塗料塗り(DP)  

種別	下地	種別
・ コンクリート、モルタル、プラスター、セッコウボード、その他ボード面	・ A種	・ B種 ・ C種
・ 木部(屋内)	・ A種	・ B種 ・ C種
・ 塗膜剥きつき箇所(屋内)	・ A種	・ B種 ・ C種

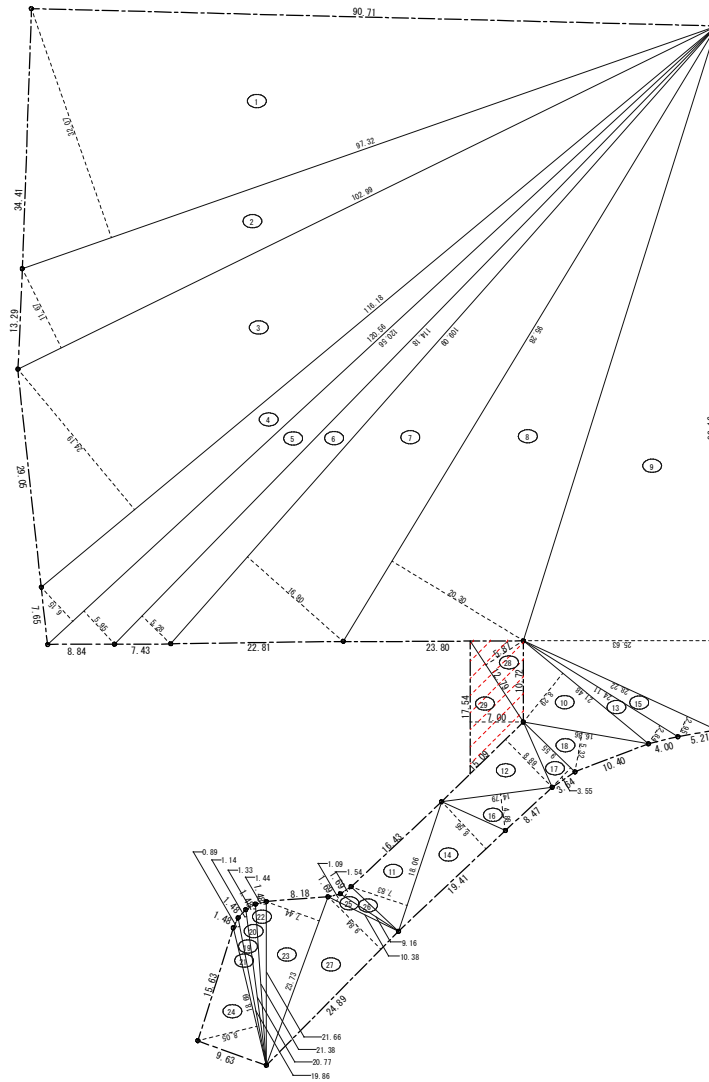
 (7.9.2) (7.9.5) (表7.9.1) (表7.9.4) 9 合成樹脂エマルションポイント塗り(EP)  
 (7.10.2) (表7.10.1) 種別 ・ A種 ・ B種 ・ C種  
 しみ止め ・ ( )

9 環境配慮改修工事  
 1 石綿含有建材の除去工事 (9.1.1) (9.1.5) 施工調査  
 ・ 石綿含有建材の事前調査  
 ・ 工事着手に先立ち、石綿含有建材の使用について、目視、設計図書及び貸与資料等により書面調査及び現地調査し、調査結果に報告する。  
 調査範囲 ( ) ( ) ( )  
 貸与資料 ( )  
 ・ 石綿含有成形板の除去  
 除去対象範囲 ・ 図示 (図面番号: A007 )  
 石綿含有セッコウボードの処分  
 ・ 埋立処分(管理型最終処分場)  
 ・ 石綿含有セッコウボードを除く石綿含有成形板の処分  
 ・ 埋立処分(安定型最終処分場) ・ 中間処理(溶融又は無害化による)  
 ※「石綿含有土木・建築材料の除去等作業における石綿除去防止措置について」(平成29年5月30日付環水大発案1705301号)及び「建築物の改修・解体時に伴う石綿含有建築用土木・建築材料からの石綿粉じん飛散防止処理技術指針」(平成28年4月28日 国土院開発法人、建築研究所)に基づき適切に処理すること。

10 その他工事



特記	工事名	大山田保育園給食室増築工事		承認	管理建築士	印
	図名	位置図	縮尺 A2 : 1/1775 A3 : 1/2500	図面番号	A-10	
				図面提出日	2022/01/19	



前回確認申請部分

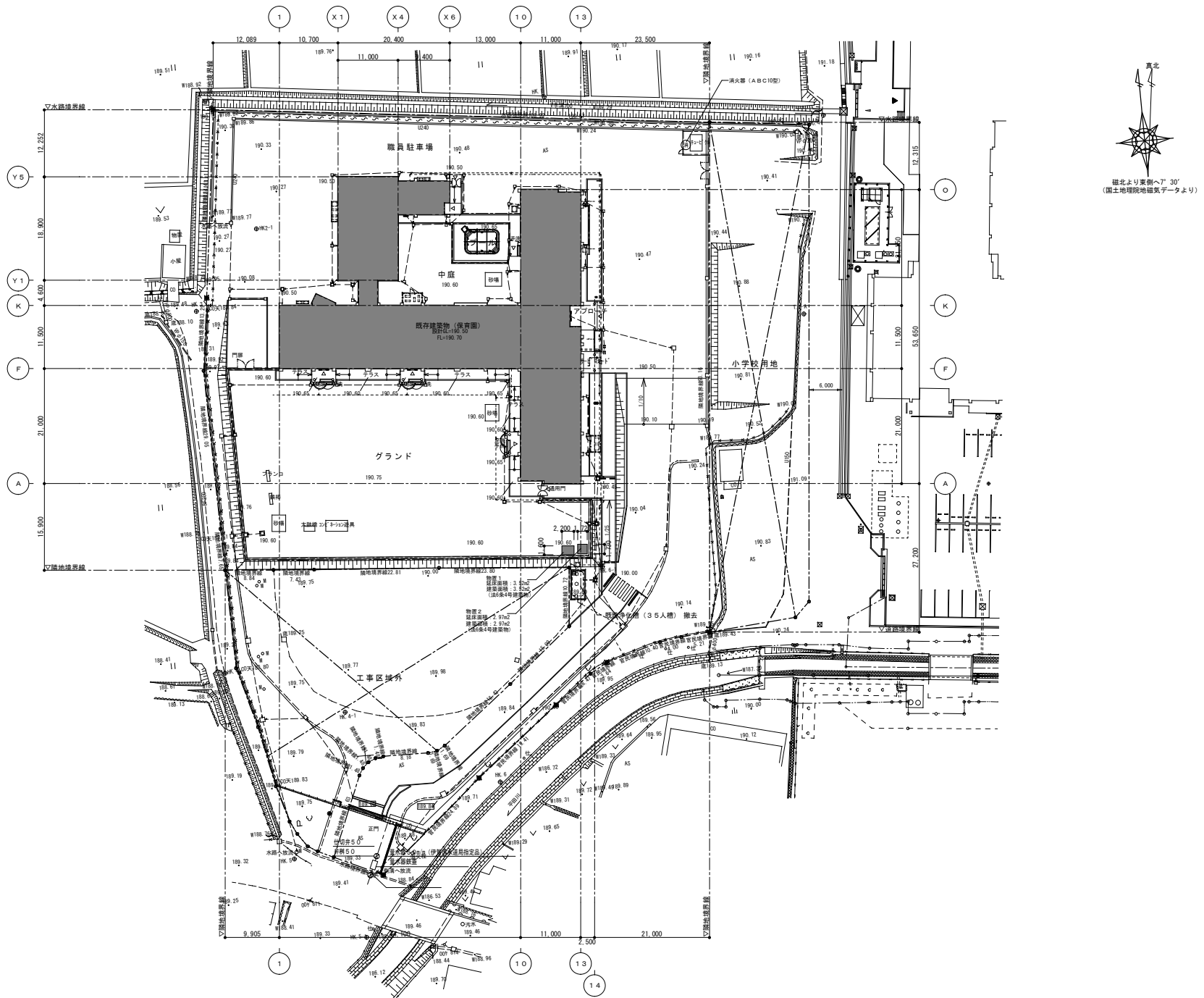
番号	底辺	高さ	倍面積	面積
1	97.32	32.07	3.121.0524	1.560.52620
2	102.99	11.67	1.201.8933	600.94665
3	116.18	24.19	2.810.3942	1.405.19710
4	120.56	6.15	741.4440	370.72200
5	120.56	5.95	717.3320	358.66600
6	114.18	5.28	602.8704	301.43520
7	109.09	16.90	1.843.6210	921.81050
8	95.28	20.30	1.934.1840	967.09200
9	93.16	25.63	2.387.6908	1.193.84540
10	21.48	8.29	178.0692	89.03460
11	18.06	7.83	141.4098	70.70490
12	15.09	8.89	134.1501	67.07505
13	24.11	2.84	68.4724	34.23620
14	19.41	8.56	166.1496	83.07480
15	28.22	2.95	83.2490	41.62450
16	14.79	4.88	72.1752	36.08760
17	9.55	3.55	33.9025	16.95125
18	16.86	5.32	89.6952	44.84760
19	20.77	1.14	23.6778	11.83890
20	21.38	1.33	28.4354	14.21770
21	19.86	0.89	17.6754	8.83770
22	21.66	1.44	31.1904	15.59520
23	23.73	7.44	176.5512	88.27560
24	18.69	8.05	150.4545	75.22725
25	10.38	1.09	11.3142	5.65710
26	9.16	1.54	14.1064	7.05320
27	24.89	9.84	244.9176	122.45880
合計				8.513.0390
敷地面積				8.513.03 m <sup>2</sup>

敷地拡張部分

番号	底辺	高さ	倍面積	面積
28	12.79	5.87	75.0773	37.53
29	17.54	7.00	122.78	61.39
				98.92

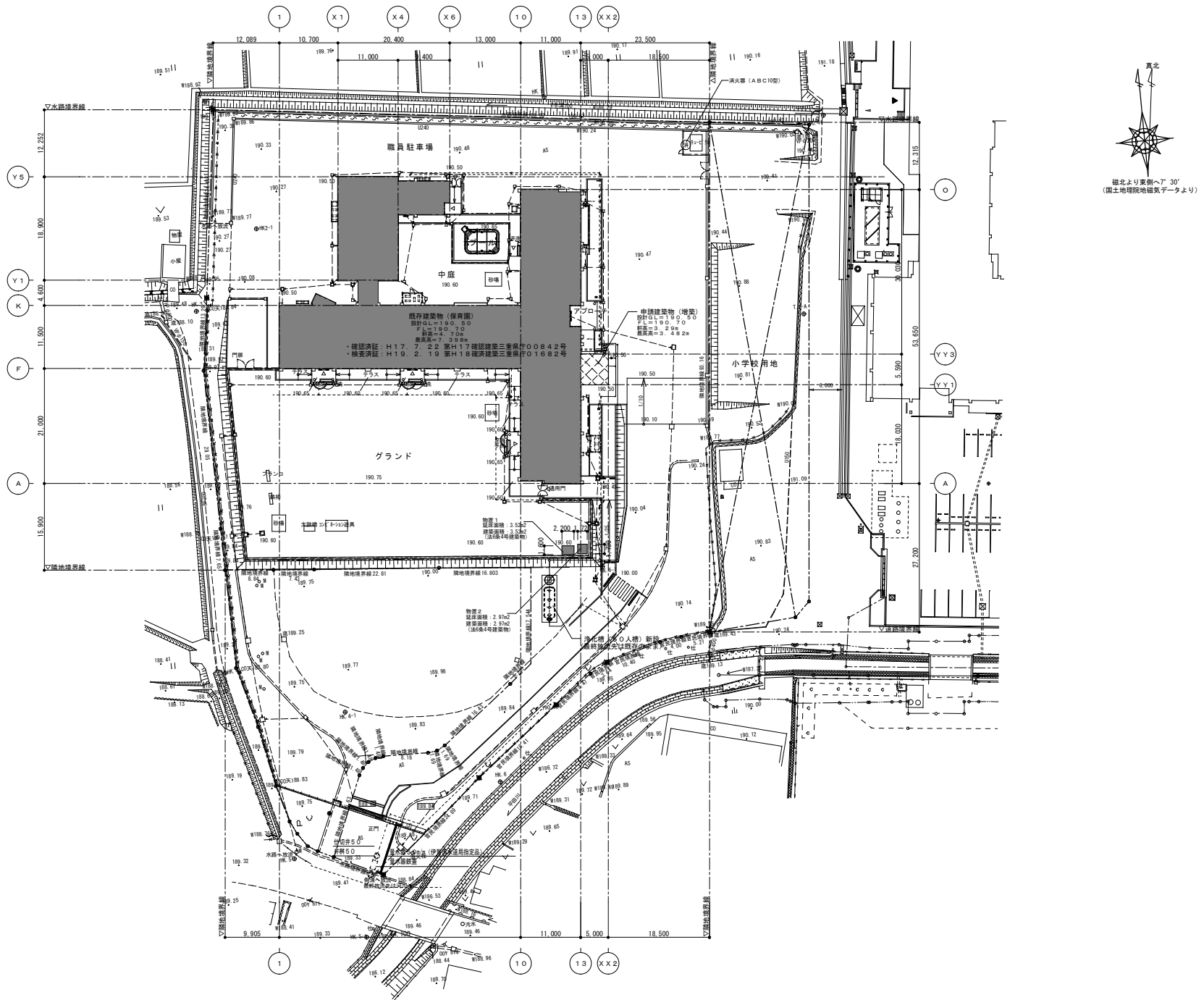
敷地面積 8.611.95 m<sup>2</sup>

特記	敷地拡大範囲を示す。	工事名	大山田保育園給食室増築工事			承認	管理建築士	印
		図名	敷地求積図	縮尺	A 2 : 1 / 500 A 3 : 1 / 705	図面番号	A - 11	調査提出日

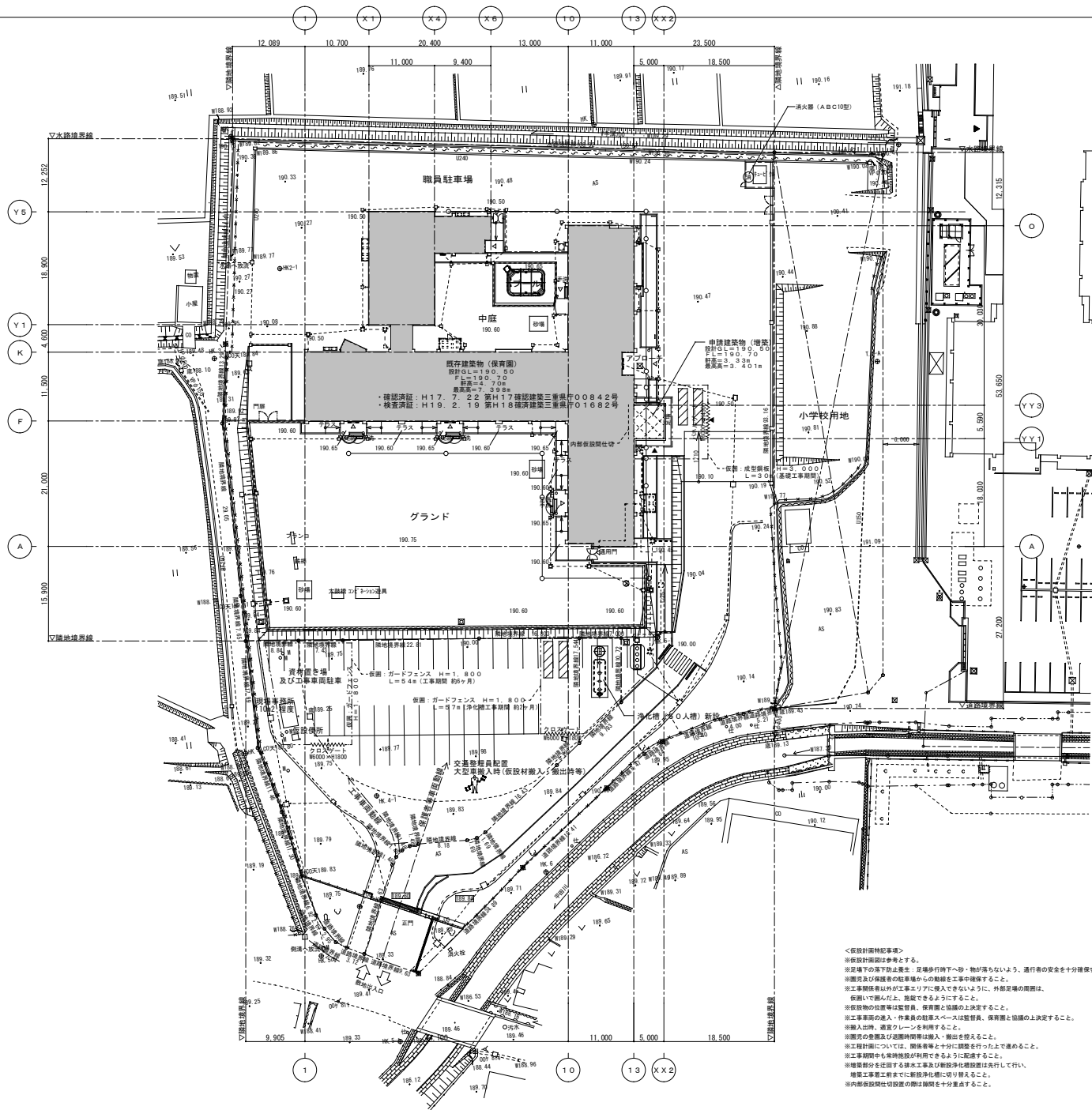


真北  
  
 磁北より東側へ7°30' (国土院院地磁気データより)

特記 〰〰〰〰 雨水排水を示す。 ※平均地盤面は最も低い190.50とする。	工事名 大山田保育園給食室増築工事	図名 < 現況 > 配置図	縮尺 A2: 1/500 A3: 1/705	図面番号 A-12	承認  	管理建築士  	印  
	図面  	出図日 2022/01/19	 	 	 	 	 



特記	- - - - - 雨水排水を示す。(最終放流先は既存のまま) ※平均地盤面は最も低い190.50とする。 ※今回改修範囲以外は確認申請許可時より変更なし ※汚水排水経路は設備図参照 ※開発許可に係る敷地の区画形質の変更なし	工事名 <b>大山田保育園給食室増築工事</b>	縮尺 A2: 1/500 A3: 1/705	図面番号 A-13	承認  	管理建築士  	印  
	図名 <b>&lt;改修&gt;配置図</b>	図番  	図面枚数 A-13	図面提出日 2022/01/19	 	 	



<仮設計画特記事項>  
 ※仮設計画図は参考とす。  
 ※足場下の落下防止養生：足場歩行時下へ砂・物が落ちないよう、通行者の安全を十分確保すること。  
 ※雨庇及び保線用の駐車場からの転落を工事中確保すること。  
 ※工事関係車両が工事エリアに侵入できないように、内部足場の周囲は、仮囲いで囲んだ上、撤去できるようにすること。  
 ※仮設物の位置等は監督員、保線員と協議の上決定すること。  
 ※工事車両の進入・作業員の駐車スペースは監督員、保線員と協議の上決定すること。  
 ※雨入出時、遮光ネットを利用すること。  
 ※周辺の建物及び道路維持管理・撤去を認めること。  
 ※工程計画については、関係者等と十分に協議を行った上で進めること。  
 ※工事期間中も常時監視が利用できるように配慮すること。  
 ※増設部分を迂回する排水工及び耐震浄化槽設置は先行して行い、撤去工事完了まで仮設排水槽に切り替えること。  
 ※内部仮設仕切壁設置の際は開口を十分確保すること。

凡例	
---	仮囲い ガードフェンス H=1,800 L=閉鎖
---	基礎仮設 成型コンクリート H=3,000 L=仮設
---	クロスゲート W6,000×H1,800 閉鎖
---	パネルゲート W6,000×H4,500 閉鎖
---	くさび型網式足場W400
---	撤去物撤去ネットシート養生養生 (防塵1期)
---	交通誘導警備員設置
---	工事対象建築物を示す。
---	工事車両動線を示す。
---	くさび型網式足場W400
---	工事関係者出入口を示す。
---	敷設板(122)+ゴムマット敷 122×60×36×4型
---	内部仮設仕切壁 木軸筋の上、合板 厚9 L=5,300、CH=2,600

特記	工事名	大山田保育園給食室増築工事			承認	管理建築士	印
	図名	仮設計画図	縮尺 A2: 1/500 A4: 1/1000	図面番号 A-14	前案提出日	2021/01/19	

工 事 概 要			※ ( ) 内寸法は平均G.L.からの高さを示す。 ●印は本工事に該当										
工事名称	大山田保育園給食室改修工事		主要用途	保育園	棟 名	1. 保育園 (既存部)	2. 保育園 (給食室増築部)	3. 物置 1					
	地名地番	伊賀市 平地 地内	工事種別	○新築 ●増築 ○改築 ○移転 ○用途変更 ○大規模の修繕 ○大規模の模様替 ●既存改修		用 途	保育園	倉庫					
	敷地面積	8 6 1 1 . 9 5 m2	建築面積	1. 保育園 (既存部)		1 4 7 7 . 4 4 m2	工事種別	○新築 ○増築 ○改築 ●既存改修	○新築 ●増築 ○改築 ○既存改修	○新築 ○増築 ○改築 ●既存			
	都市計画	○都市計画区域内		2. 保育園 (給食室増築部)		2 7 . 9 5 m2	階 数	地上1階、地下0階、塔屋0階					
		○市街化区域 ○市街化調整区域 ○区域区分未設定都市計画区域		3. 物置 1		3 . 5 2 m2	構 造	○SRC ●RC ●S ○CB ○W	○SRC ○RC ●S ○CB ○W				
		○準都市計画区域内 ●●都市計画及び準都市計画区域外		4. 物置 2		2 . 9 7 m2	最高の高さ	設計GL+7. 3 9 8 m ( ) m	設計GL+3. 4 8 2 m				
	敷地概要	用途地域	○第1種低層住居専用地域 ○第2種低層住居専用地域 ○第1種中高層住居専用地域	合 計		1 5 1 1 . 8 8 m2	最高の軒高	設計GL+4. 7 0 m ( ) m	設計GL+3. 2 9 0 m				
			○第2種中高層住居専用地域 ○第1種住居地域 ○第2種住居地域 ○準住居地域 ○近隣商業地域	延床面積		1. 保育園 (既存部)	1 3 9 6 . 8 8 m2	建築面積	1 4 7 7 . 4 4 m2	2 7 . 9 5 m2	3 . 5 2 m2		
			○商業地域 ○準工業地域 ○工業地域 ○工業専用地域 ○指定無し			2. 保育園 (給食室増築部)	2 7 . 9 5 m2		1階	1 3 9 6 . 8 8 m2	1階	2 7 . 9 5 m2	1階
		防火地域	○防火地域 ○準防火地域 ○指定無し ○22条指定地域			3. 物置 1	3 . 5 2 m2		床面積				
		基準建ぺい率 (%)	○3 0 ○4 0 ○5 0 ○6 0 ○7 0 ○8 0	4. 物置 2		2 . 9 7 m2	合 計	1 3 9 6 . 8 8 m2	合 計	2 7 . 9 5 m2	合 計	3 . 5 2 m2	
		基準容積率 (%)	○5 0 ○6 0 ○8 0 ○1 0 0 ○1 5 0 ○2 0 0 ○3 0 0 ○4 0 0 ○5 0 0 ○6 0 0	合 計		1 4 3 1 . 3 2 m2	棟 名	4. 物置 2	用 途	倉庫	工事種別	○新築 ○増築 ○改築 ●既存	
道路・壁面後退		○主前面道路 (m) ○その他前面道路 (m)	建ぺい率算定建築面積	1 5 1 1 . 8 8 m2	階 数			構 造					
設備工事		給排水衛生設備工事	設備図参照	建ぺい率	容積率算定床面積	1 4 3 1 . 3 2 m2	建築面積	2 . 9 7 m2	床面積	1階	2 . 9 7 m2		
		電気設備工事	設備図参照		容積率	1 6 . 6 3 %		合 計		2 . 9 7 m2			
		消防設備工事	設備図参照			床面積							
	空調設備工事	設備図参照											
	昇降機設備工事												

外 部 仕 上 表 (材料は全て同等品とする。)			部			部			部			部		
基礎	直接基礎	既存	※コンクリート強度、鉄筋の種類は構造図参照	屋根	笠木	既存	アルミ既製品	塗 装	既存	OP塗、アクリルシン吹付、複層仕上塗材S1、屋外耐候性塗料、シラン・シリカ系無機質クリア				
		改修	※コンクリート強度、鉄筋の種類は構造図参照			既存	コンクリート打放し模様、複層仕上塗材S1 (特殊) 一部撤去 コンクリート打放し模様、複層仕上塗材S1 (ゆず肌) コンクリート打放し (A種)、シラン・シリカ系無機質クリア塗装		新設	SOP塗、シラン・シリカ系無機質クリア、複層仕上塗材S1				
床	1階床 (一般)	既存	土間コンクリート 厚150 鉄筋: D10@200シングルクロス 防湿シート 厚0.15×2枚、砕石 (RC-40) 厚150 ビット部を除く土間スラブ下: PF板 厚50 基礎埋戻し部・玄関片持ちスラブ下・プール下スラブ下: 地盤改良 厚500 (100kg/m3)	外 壁	円 柱	既存	コンクリート打放し (A種)、シラン・シリカ系無機質クリア塗装	建 具	外部	既存	建具表参照			
		改修	ALC 厚100、複層仕上塗材S1			新設	EP-G							
		既存	インターロッキング舗装			改修	下地調整、EP-G塗		内部	既存	建具表参照			
		既存	モルタル金ゴチ押え 厚30、耐水ビニル床シート 厚2.5			既存	コンクリート打放し模様、複層仕上塗材S1 (特殊) 一部撤去 シラン・シリカ系無機質クリア塗装 (FL+75マゼ) 一部撤去 コンクリート打放し模様、複層仕上塗材S1 (特殊) 一部撤去 水切: SUS 厚0.4 一部撤去、貫板15×140 一部撤去 貫板15×140 一部撤去、のし五2枚 一部撤去		新設	既存のまま				
床	1階床 (テラス部)	既存	磁器質タイル150角貼、段鼻: ステンレスノンスリップ 土間コンクリート 厚150、伸縮目地@3000 鉄筋: D10@200シングルクロス	外 壁	根 廻 り	既存	コンクリート打放し (A種)、シラン・シリカ系無機質クリア塗装	断 熱 材	外部	既存	アルミ引違い窓			
		改修	シダーコンクリート 厚290 一部撤去、土間コンクリート 厚150 鉄筋: D10@200シングルクロス、防湿シート 厚0.15×2枚 PF板 厚50、基礎、埋戻し部: 地盤改良 厚500 (100kg/m3) シダーコンクリート 厚290、鉄筋: ワイヤメッシュ6φ×150角 土間コンクリート 厚150、鉄筋: D10@200シングルクロス 防湿シート 厚0.15×2枚、PF板 厚50、地盤改良 厚500 (100kg/m3)			改修	カラージェルコート加工		内部	新設	既存のまま			
		既存	和瓦葺 (U清工法) 下葺材: 高分子ルーフィング 野地板: 硬質木片セメント板 厚18			改修	エアロアイアン前高135WIDE (カラー種) 一部撤去 エアロアイアン前高130WIDE (カラー種)		既存	勾配屋根天井裏: グラスウール (24K) 厚100敷込 (物入4を除く) 陸屋根部防水下: 硬質ウレタンフォーム 厚35 外壁: 硬質ウレタンフォーム吹付 厚25 (一般: FL+3300まで、遊戯室・一時保育室は床面から天井面+600まで) ビット部を除く土間下: PF板 厚50、ビット部スラブ下: PF板 厚40 打込	新設	土間コンクリート下: PF板 厚50 勾配屋根天井裏: グラスウール (24K) 厚100敷込 外壁: PF板 厚20		
		改修	和瓦葺 (U清工法) 一部撤去、葺直し (下葺材とも) 下葺材: 高分子ルーフィング、バードハットモルタル 厚40、コンクリートスラブ ハゼ折板 (山高90) カラーガルバリウム鋼板 厚0.8 裏貼: フネエース 厚4			改修	壁種: VP100φ (カラー種)、ステンレス製組み金物@900 一部撤去 壁種: VP65φ (カラー種)、ステンレス製組み金物@900 壁種: VP100φ (カラー種)、ステンレス製組み金物@900		既存	木のコンクリート及びモルタルに接する箇所: 防菌剤塗				
屋根	下地材	既存	外壁内側 母屋 C-100×50×20×2.3@606 錆止め2回塗 外壁内側 母屋 C-100×50×20×2.3@1820 錆止め2回塗	金 物	谷 樋	既存	カラーステンレス 厚0.5	そ の 他	防雨措置	既存	木部のコンクリート及びモルタルに接する箇所: 防菌剤塗			
		改修	H形鋼、C形鋼、タイフフレーム			改修	屋根コイル W370×H100 下地: FB-4、5×380、FB-4、5×70		犬走り	既存	土間コンクリート金ゴチ押え 厚150 誘発目地@3000 一部撤去			
		既存	コンクリート打放し、アクリルシン吹付			改修	カラーステンレス 厚0.4		新設	土間コンクリート金ゴチ押え 厚150 誘発目地@3000				
		改修	コンクリート打放し、複層仕上塗材S1 (特殊)			改修	カラーガルバリウム鋼板 厚0.5 曲げ加工		EXP・J	新設	外壁-外壁: SUS 厚1.0 H/L仕上、内壁-内壁・天井-天井: アルミ 厚1.6 クリアランス100			
軒先 (一般)	軒先 (玄関1)	既存	軒先見切面戸 (シーリング密閉共)、水上止面戸 (シーリング密閉共) エプロン面戸 (シーリング密閉共※底部はしない)、鼻隠しパネルH300 (ケラバ共) 杉板 厚12×120 (折上割: 12×100) 目透かし張 (屋外耐候性塗料) 下地 耐水合板 厚9指貼	ド レ ン	水 切	既存	横引ルーフレイン65φ							
		改修	塩ビ製自在ドレン											



内部仕上表 (材料は全て同等品とする。)

F	室名	内装制限	法的規制 居室種別	床	巾木	H	腰壁	H	壁	天井	天井高	廻縁	備考
1	玄関	-	-	下地	均しモルタル 厚30	75	木下地	1100	LGS、PB 厚9.5	LGS、PB 厚9.5	2950	塩ビ製	上り框・SUS製、下足入 一部掲示壁：PB 厚9.5、難燃合板 厚5.5、ビニルクロス
				非居室	木調ビニル床シート 厚4.2		米ヒバ板 (難燃処理) 厚12 OSC差						
	中庭玄関	-	-	下地	均しモルタル 厚30	75	木下地	1100	LGS	LGS	2500	塩ビ製	上り框・SUS製、下足入
				非居室	木調ビニル床シート 厚4.2		米ヒバ OSC差						
	玄関 (踏込部)	-	-	下地	モルタル		-						
				非居室	磁器質タイル150角		-						
	乳児室	-	-	下地	鋼製床組、ラワン合板 厚12、システム式床暖房 厚15	75	-		PB 厚12.5 (GL) LGS、PB 厚12.5+PB 厚9.5	LGS	2750	塩ビ製	
				居室	床暖房フローリング 厚15		マガシロ OSC差		ビニルクロス	PB 厚9.5 (トラバーチン)			
	ほふくコーナー	-	-	下地	鋼製床組、ラワン合板 厚12、システム式床暖房 厚15		-		PB 厚12.5 (GL) LGS、PB 厚12.5+PB 厚9.5	LGS	2750	塩ビ製	造り付け家具
				居室	畳敷 厚55 一部 フローリング 厚15		畳寄 (ナラ)		ビニルクロス	PB 厚9.5 (トラバーチン)			
	調乳室	-	-	下地	均しモルタル 厚30	75	-		PB 厚12.5 (GL) LGS、PB 厚12.5+PB 厚9.5	LGS	2600	塩ビ製	ミニキッチン L1500
				非居室	耐水ビニル床シート 厚2.0		ビニル巾木		ビニルクロス	ケイカル板 厚6、VP差			
	2才児保育室	-	-	下地	鋼製床組、ラワン合板 厚12	75	PB 厚12.5 (GL) LGS、PB 厚12.5	1100	PB 厚12.5 (GL) LGS、PB 厚12.5+PB 厚9.5	LGS	2750	塩ビ製	造り付け家具 一部掲示壁：PB 厚9.5、難燃合板 厚5.5、ビニルクロス
				居室	フローリング 厚15		マガシロ OSC差		ビニルクロス	PB 厚9.5 (トラバーチン)			
	3、4、5才児 保育室	-	-	下地	鋼製床組、ラワン合板 厚12	75	PB 厚12.5 (GL) LGS、PB 厚12.5	1100	PB 厚12.5 (GL) LGS、PB 厚12.5+PB 厚9.5	LGS	2750	塩ビ製	造り付け家具 一部掲示壁：PB 厚9.5、難燃合板 厚9.5、ビニルクロス 3、5才児掲示壁：PB 厚9.5、難燃合板 厚5.5、ビニルクロス
				居室	フローリング 厚15		マガシロ OSC差		ビニルクロス	PB 厚9.5 (トラバーチン)			
	保育室玄関	-	-	下地	均しモルタル 厚30	75	-		一部 LGS	LGS	2500	塩ビ製	下足入
				非居室	ビニル床シート 厚2.5		マガシロ OSC差		PB 厚12.5 (GL)、AEP差 PB 厚12.5+PB 厚9.5、AEP差	PB 厚9.5 (トラバーチン)			
	園児便所 (3才歳く)	不燃	告四ニ(2)	下地	モルタル	100	モルタル	1300	-	LGS	2500	塩ビ製	トイレブース、鏡、フック、床点検口 (乳児2才児用のみSUS手摺)
				非居室	磁器質タイル100角		磁器質タイル100角		モルタル、AEP差	ケイカル板 厚6、VP差			
	園児便所 (3才)	不燃	告四ニ(2)	下地	アスファルト防水、嵩上げコンクリート 厚190	100	モルタル	1300	-	LGS	2500	塩ビ製	トイレブース、鏡、フック、床点検口
				非居室	磁器質タイル100角		磁器質タイル100角		モルタル、AEP差	ケイカル板 厚6、VP差			
	沐浴室	-	-	下地	均しモルタル 厚30	100	モルタル	1300	-	LGS	2500	塩ビ製	造り付け家具
				非居室	磁器質タイル100角		磁器質タイル100角		モルタル、AEP差	ケイカル板 厚6、VP差			
	洗い場	-	-	下地	均しモルタル 厚30	100	モルタル	1300	-	LGS	2500	塩ビ製	床点検口、排水溝
				非居室	耐水ビニル床シート 厚2.0		磁器質タイル100角		モルタル、AEP差	ケイカル板 厚6、VP差			
	保育室物入 (物入1・2・3 ・9・10)	不燃	告四ニ(2)	下地	鋼製床組、ラワン合板 厚12、ラワン合板 厚5.5	75	-		一部 LGS、PB 厚9.5	LGS	2500	塩ビ製	木製棚
				非居室	ビニル床シート 厚2.5		ビニル巾木		PB 厚12.5 (布目) PB 厚12.5 (GL) (布目)	PB 厚9.5 (布目)			
	保育室物入 (物入4・5・6 ・7・8)	不燃	告四ニ(2)	下地	均しモルタル 厚40	75	-		一部 LGS、PB 厚9.5	LGS	2500	塩ビ製	木製棚
				非居室	ビニル床シート 厚2.5		ビニル巾木		PB 厚12.5 (布目) PB 厚12.5 (GL) (布目)	PB 厚9.5 (布目)			
	遊戯室	-	-	下地	均しモルタル 厚30	75	木下地 LGS、PB 厚12.5+難燃ラワン合板 厚9.5	1100	PB 厚12.5 (GL) LGS、PB 厚12.5+PB 厚9.5	LGS、PB 厚9.5	3600	塩ビ製	柱型：木下地、米ヒバ板 (難燃処理) 厚12、OSC差
				居室	木調ビニル床シート 厚4.2		米ヒバ OSC差		ビニルクロス	ロックウール吸音板 厚12 一部 ロックウール吸音板 厚19 (リブ付)			
	一時保育用 保育室	-	-	下地	均しモルタル 厚30	75	木下地 LGS、PB 厚12.5+難燃ラワン合板 厚9.5	1100	PB 厚12.5 (GL) LGS、PB 厚12.5+PB 厚9.5	LGS	3000	塩ビ製	柱型 (H1100)：木下地、米ヒバ板 (難燃処理) 厚12、OSC差
				居室	木調ビニル床シート 厚4.2		米ヒバ OSC差		ビニルクロス	PB 厚9.5 (トラバーチン)			
	遊戯室物入	不燃	告四ニ(2)	下地	均しモルタル 厚40	75	-		一部 LGS、PB 厚9.5	LGS	2750	塩ビ製	
				非居室	ビニル床シート 厚2.5		ビニル巾木		PB 厚12.5 (布目) PB 厚12.5 (GL) (布目)	PB 厚9.5 (布目)			
工 事 象 案	事務室1 既存	-	-	下地	OAフロア H75	75	-		PB 厚12.5 (GL) LGS、PB 厚12.5+PB 厚9.5	LGS	2750	塩ビ製	洗面化粧台、ミニキッチン L1200 一部掲示壁：PB 厚9.5、難燃合板 厚5.5、ビニルクロス
				居室	タイルカーペット		ビニル巾木		ビニルクロス	PB 厚9.5 (トラバーチン)			
	事務室1 改修後	-	-	下地	既存のまま	75	-		既存のまま	既存のまま	2750	既存のまま	天井点検口
				居室	既存のまま		既存のまま		既存のまま	既存のまま			
	医務室	-	-	下地	均しモルタル 厚30	75	-		PB 厚12.5 (GL) LGS、PB 厚12.5+PB 厚9.5	LGS	2500	塩ビ製	天井吊カーテンレール (補強とも)
				居室	木調ビニル床シート 厚4.2		マガシロ OSC差		ビニルクロス	PB 厚9.5 (トラバーチン)			
	教材庫	不燃	告四ニ(2)	下地	均しモルタル 厚30	75	-		LGS、PB 厚12.5	LGS	2500	塩ビ製	
				非居室	ビニル床シート 厚2.5		ビニル巾木		ビニルクロス	PB 厚9.5 (トラバーチン)			
	更衣室	不燃	告四ニ(2)	下地	均しモルタル 厚30	75	-		LGS、PB 厚12.5+PB 厚9.5	LGS	2750	塩ビ製	
				非居室	ビニル床シート 厚2.5		ビニル巾木		ビニルクロス	PB 厚9.5 (トラバーチン)			

内部仕上表 (材料は全て同等品とする。)

F	室名	内装制限	法的規制 居室種別	床	巾木	H	壁	H	壁	天井	天井高	廻縁	備考	
1	事務室2	-	自然排煙	下地	均しモルタル 厚30		-		LGS、PB 厚12.5+PB 厚9.5	LGS	2750	塩ビ製		
			居室	仕上	木調ビニル床シート 厚4.2	マガシロ OSC塗	75	-	-	ビニルクロス				PB 厚9.5 (トラバーチン)
	相談室	-	自然排煙	下地	均しモルタル 厚30		75	-	-	PB 厚12.5 (GL) LGS、PB 厚12.5+PB 厚9.5	LGS	2750	塩ビ製	
			居室	仕上	木調ビニル床シート 厚4.2	マガシロ OSC塗	-	-	-	ビニルクロス	PB 厚9.5 (トラバーチン)			
	湯沸	-	自然排煙	下地	均しモルタル 厚30		75	-	-	LGS、PB 厚12.5+PB 厚9.5	LGS	2500	塩ビ製	ミニキッチン L1200
			非居室	仕上	耐水ビニル床シート 厚2.0	ビニル巾木	-	-	-	ビニルクロス	ケイカル板 厚6、VP塗			
工事対象室	調理室	不燃	告四ニ(4)	下地	シンダーコンクリート 厚290 一部撤去	-	-	-	モルタル 一部撤去	LGS	2600	塩ビ製	天板: SUS HL 厚1.5 撤去	
			居室	仕上	ウレタン系塗床 (防汚工法)	-	-	-	磁器質タイル100角 一部撤去	ケイカル板 厚6、VP塗 一部撤去				
	↓改修後 調理室	不燃	告四ニ(4)	下地	下地調整 シンダーコンクリート 厚290 (一部撤去跡、増築範囲)	-	-	-	下地調整 LGS、耐水PB 厚12.5 磁器質タイル100角 水洗い	LGS	2600	塩ビ製	柱型(円柱): 下地調整、EP-G塗 ビット、EXP、J	
			居室	仕上	ウレタン系塗床 (防汚工法) (既存・増築範囲共)	-	-	-	下地調整、EP-G塗 一部ケイカル板 厚6 新設、EP-G塗					
	下処理室	不燃	自然排煙	下地	均しモルタル 厚30	-	-	-	モルタル	LGS	2600	塩ビ製		
			居室	仕上	ウレタン系塗床 (防汚工法)	-	-	-	磁器質タイル100角	ケイカル板 厚6、VP塗				
	↓改修後 下処理室	不燃	自然排煙	下地	既存のまま	-	-	-	既存のまま	既存のまま	2600	既存のまま		
			居室	仕上	既存のまま	-	-	-	既存のまま	下地調整、EP-G塗				
	食品庫1・2	不燃	告四ニ(2)	下地	均しモルタル 厚30	コンクリート 打ち放し補修	100	-	-	-	LGS	2600	塩ビ製	
			非居室	仕上	ウレタン系塗床 (防汚工法)	ウレタン系塗床立上げ	-	-	-	コンクリート打ち放し補修、AEP塗	ケイカル板 厚6、VP塗			
	↓改修後 食品庫1・2	不燃	告四ニ(2)	下地	既存のまま	既存のまま	100	-	-	既存のまま	既存のまま	2600	既存のまま	
			非居室	仕上	既存のまま	既存のまま	-	-	-	既存のまま	下地調整、EP-G塗			
ワゴン置場	-	自然排煙	下地	均しモルタル 厚30	-	75	木下地	-	-	LGS	2750	塩ビ製		
		非居室	仕上	ビニル床シート 厚2.5	米ヒバ板 OSC塗	-	1100	-	PB 厚12.5 (GL) 底目張、AEP塗	PB 厚9.5 (木目調)				
一般便所 1・2・3	不燃	告四ニ(2)	下地	モルタル	モルタル	100	モルタル	1300 (1)	-	LGS	2500	塩ビ製	手摺、汚垂石、鏡 トイレブース	
		非居室	仕上	磁器質タイル50角	磁器質タイル100角	-	1100 (2・3)	モルタル、AEP塗	ケイカル板 厚6、VP塗					
多目的便所	不燃	告四ニ(2)	下地	モルタル	モルタル	100	モルタル	-	LGS	2500	塩ビ製	手摺、鏡 手洗いかウンター L900×D600		
		非居室	仕上	磁器質タイル50角	磁器質タイル100角	-	1100	モルタル、AEP塗	ケイカル板 厚6、VP塗					
職員便所 (乳児室)	不燃	告四ニ(2)	下地	均しモルタル 厚30	-	75	-	-	一部 LGS	LGS	2500	塩ビ製	トイレブース、送付家具	
		非居室	仕上	ビニル床シート 厚2.5	ビニル巾木	-	-	-	耐水PB 厚12.5 (GL)、AEP塗 PB 厚12.5+耐水PB 厚9.5、AEP塗	ケイカル板 厚6、VP塗				
物入4	不燃	告四ニ(2)	下地	均しモルタル 厚30	コンクリート 打ち放し補修	100	-	-	LGS	2750	塩ビ製			
		非居室	仕上	防塵塗床	防塵塗床立上げ	-	-	-	コンクリート打ち放し (木コン処理)				ケイカル板 厚6、VP塗	
倉庫	不燃	告四ニ(2)	下地	均しモルタル 厚30	-	75	-	-	一部 LGS	LGS	2750	塩ビ製		
		非居室	仕上	ビニル床シート 厚2.5	ビニル巾木	-	-	-	PB 厚12.5 (GL)、AEP塗 PB 厚12.5+PB 厚9.5、AEP塗	PB 厚9.5 (トラバーチン)				
廊下1・2	-	自然排煙	下地	均しモルタル 厚30	-	75	木下地 LGS、PB 厚12.5+難燃ラワン合板 厚9	一部 LGS	LGS	2750	塩ビ製			
		非居室	仕上	木調ビニル床シート 厚4.2	米ヒバ OSC塗	-	1100	PB 厚12.5 (GL) 底目張、AEP塗 PB 厚12.5+PB 厚9.5、AEP塗	PB 厚9.5 (木目調)					
廊下3	-	自然排煙	下地	均しモルタル 厚30	-	75	木下地 LGS、PB 厚12.5+難燃ラワン合板 厚9	-	LGS	2400	塩ビ製	EXP、Jカー		
		非居室	仕上	木調ビニル床シート 厚4.2	米ヒバ OSC塗	-	1100	PB 厚12.5 (GL) 底目張、AEP塗	PB 厚9.5 (木目調)					
廊下4	-	自然排煙	下地	均しモルタル 厚30	-	75	-	-	LGS	2750	塩ビ製			
		非居室	仕上	木調ビニル床シート 厚4.2	米ヒバ OSC塗	-	-	-	PB 厚12.5 (GL) 底目張、AEP塗 PB 厚12.5+PB 厚9.5、AEP塗				PB 厚9.5 (木目調)	
廊下5	-	自然排煙	下地	均しモルタル 厚30	-	75	-	-	LGS	2500	塩ビ製			
		非居室	仕上	木調ビニル床シート 厚4.2	米ヒバ OSC塗	-	-	-	PB 厚12.5 (GL) 底目張、AEP塗				PB 厚9.5 (木目調)	

※内装制限 (シックハウス対策)	特記事項
※内装使用材料は、仕上材、下地材、接着剤すべて F☆☆☆☆ とする ※クロロビホス、石鹼の使用無し ※法37条に規定する建築材料を使用する ※防火区画を貫通する配管については不燃材料を使用し防火設備を設ける ※防火区画について除開はロックワール充填を施すこと	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一般間仕切壁: 高さ2.7m以下: 軽鉄スタッド W50下地以上</li> <li>・一般間仕切壁: 高さ4.0m以下: 軽鉄スタッド W65下地以上</li> <li>・一般間仕切壁: 高さ4.5m以下: 軽鉄スタッド W90下地以上</li> <li>・一般間仕切壁: 高さ5.0m以下: 軽鉄スタッド W100下地</li> <li>・洗面器等取付下地補強はラワン合板 厚12とする</li> <li>・折板などの標準取付物、付属品はすべて見込んでおくこと。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・天井下地について、屋内は19形とし天井高が1.5m以上の場合は、縦横間隔1.8m程度に仕様に基き吊ボルトの取止め補強を行うこと。</li> <li>・屋外は25形とし天井高が1.0m以上の場合は、縦横間隔1.8m程度に仕様に基き吊ボルトの取止め補強を行うこと。</li> <li>・軽鉄天井下地 直貼工法 (M14×W、S交互@227、キャリヤンチャンネル@900、吊ボルト@900)</li> <li>・新素材(天井巻): グラスワール(24K) 厚100敷込</li> </ul>

耐火構造等の仕様 (準耐火構造ロー2)				
部位	必要性	使用等級	構造	認定番号
屋根	不燃	不燃	瓦、亜鉛鉄板	告1400号
柱・梁	不燃	不燃	鉄骨	告1400号
柱・梁	不燃	不燃	コンクリート	告1400号
外壁	準不燃	不燃	コンクリート、ALC 厚100	告1400号

防火材料認定番号	
材料	認定番号
・PB 厚12.5	NM-8619
・PB 厚9.5	QM-9828
・化粧PB 厚9.5	QM-9824
・ロックワール吸音板	NM-8599
・ケイカル板 厚6	NM-8578
・ビニルクロス	NM-9828
・難燃合板	RM-9340
・難燃化粧合板	RM-9005
・磁器質タイル	告1400号
・フノンエース 厚4	NM-4617

遊戯室	
A	139.22 m <sup>2</sup>
L	12.20 m <sup>2</sup>
V	10.46 m <sup>2</sup>
S	3.71 m <sup>2</sup>



一時保育用保育室	
A	55.00 m <sup>2</sup>
L	12.16 m <sup>2</sup>
V	2.75 m <sup>2</sup>
S	1.10 m <sup>2</sup>

事務室2+給湯	
A	31.00 m <sup>2</sup>
L	2.70 m <sup>2</sup>
V	5.85 m <sup>2</sup>
S	1.56 m <sup>2</sup>

相談室	
A	8.98 m <sup>2</sup>
L	2.69 m <sup>2</sup>
V	1.12 m <sup>2</sup>
S	0.48 m <sup>2</sup>

物入 (遊戯室)	
A	6.84 m <sup>2</sup>
S	告1436-四-ニ-2

物入 (遊戯室)	
A	6.84 m <sup>2</sup>
S	告1436-四-ニ-2

倉庫 (5才保育室用)	
A	10.75 m <sup>2</sup>
S	告1436-四-ニ-2

乳児室・ほふく室	
A	79.20 m <sup>2</sup>
L	17.79 m <sup>2</sup>
V	4.95 m <sup>2</sup>
S	2.62 m <sup>2</sup>

物入1	
A	7.10 m <sup>2</sup>
S	告1436-四-ニ-2

多目的使用	
A	12.14 m <sup>2</sup>
S	告1436-四-ニ-2

一般使用1	
A	13.85 m <sup>2</sup>
S	告1436-四-ニ-2

職員使用	
A	4.37 m <sup>2</sup>
S	告1436-四-ニ-2

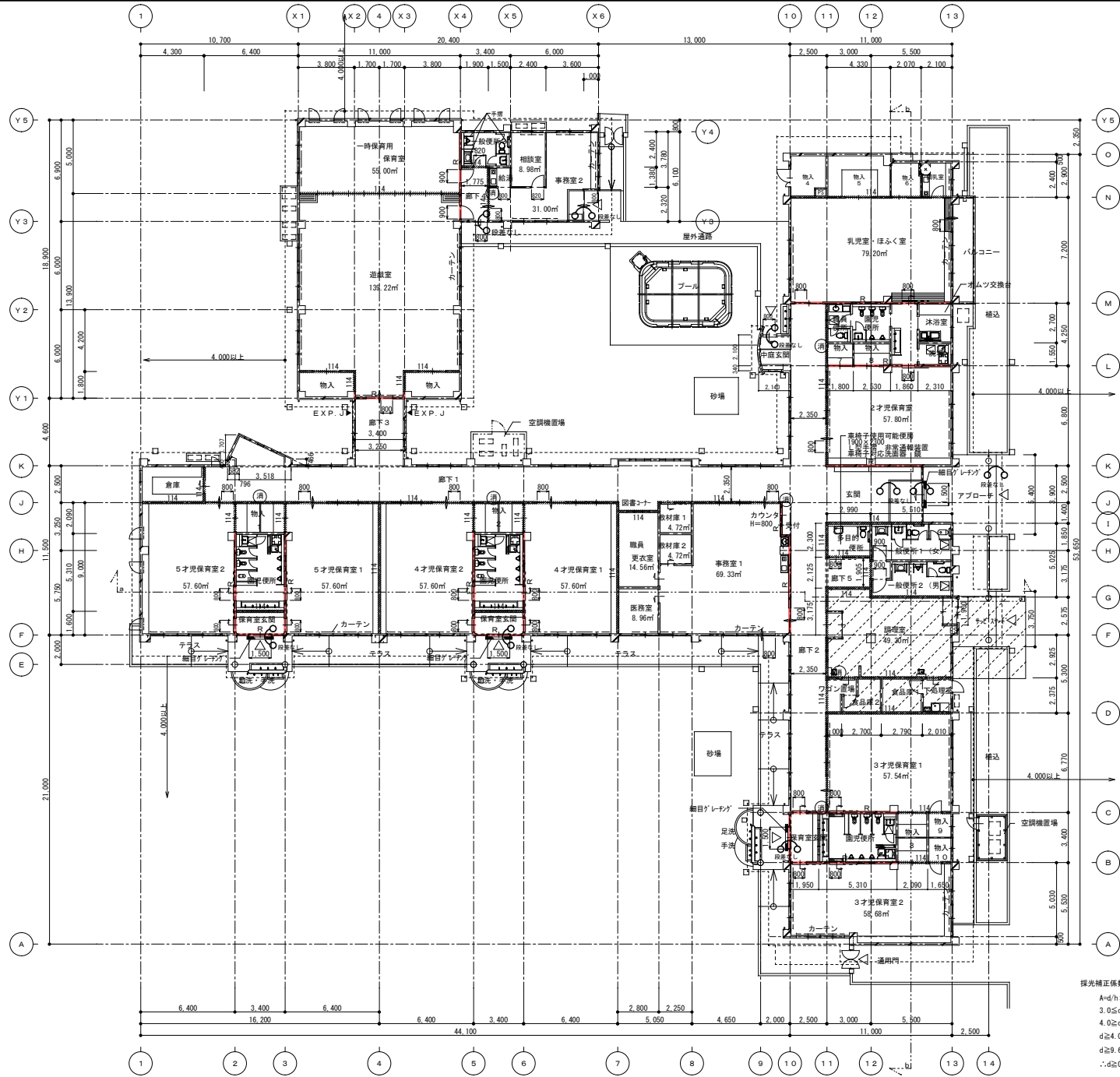
一般使用2	
A	12.14 m <sup>2</sup>
S	告1436-四-ニ-2

園児使用 (3,4,5才)	
A	18.05 m <sup>2</sup>
S	告1436-四-ニ-2

一般使用3	
A	8.16 m <sup>2</sup>
S	告1436-四-ニ-2

園児使用・沐浴・洗場	
A	24.82 m <sup>2</sup>
S	告1436-四-ニ-2

○凡例	
	令114条2項の界壁を示す コンクリート厚100以上 (小規模・天井裏に透せしめる事) 平12建告1399号
	令114条2項の界壁を示す LGS+PB 厚12.5+厚9.5 (両面二重構造) +仕上 (小規模・天井裏に透せしめる事) 平12建告1358号
	カーテン取付位置を示す。(カーテンレール共)
	消火器 (ABC10型) 設置位置を示す



調理室	
A	5.19 m <sup>2</sup>
L	1.89 m <sup>2</sup>
V	0.94 m <sup>2</sup>
S	0.45 m <sup>2</sup>

物入9	
A	2.80 m <sup>2</sup>
S	告1436-四-ニ-2

物入10	
A	2.80 m <sup>2</sup>
S	告1436-四-ニ-2

2才児保育室	
A	57.80 m <sup>2</sup>
L	18.30 m <sup>2</sup>
V	2.98 m <sup>2</sup>
S	1.45 m <sup>2</sup>

4才児保育室1・2	
A	57.60 m <sup>2</sup>
L	23.67 m <sup>2</sup>
V	2.98 m <sup>2</sup>
S	1.45 m <sup>2</sup>

物入5	
A	12.25 m <sup>2</sup>
S	告1436-四-ニ-2

5才児保育室1	
A	57.60 m <sup>2</sup>
L	23.67 m <sup>2</sup>
V	2.98 m <sup>2</sup>
S	1.45 m <sup>2</sup>

物入6	
A	4.67 m <sup>2</sup>
S	告1436-四-ニ-2

5才児保育室2	
A	57.60 m <sup>2</sup>
L	23.67 m <sup>2</sup>
V	2.98 m <sup>2</sup>
S	1.45 m <sup>2</sup>

物入7	
A	2.86 m <sup>2</sup>
S	告1436-四-ニ-2

保育室玄関(共通)	
A	5.44 m <sup>2</sup>
L	7.02 m <sup>2</sup>
S	0.46 m <sup>2</sup>

物入8	
A	3.92 m <sup>2</sup>
S	告1436-四-ニ-2

調理室	
A	49.30 m <sup>2</sup>
L	5.70 m <sup>2</sup>
V	機械換気 N=20M1/No.20471.37/3-315.0m/h S=3500m <sup>3</sup> /h
S	告1436-四-ニ-4

事務室1	
A	69.33 m <sup>2</sup>
L	7.90 m <sup>2</sup>
V	3.88 m <sup>2</sup>
S	1.45 m <sup>2</sup>

食品庫	
A	6.62 m <sup>2</sup>
S	告1436-四-ニ-2

職員更衣室	
A	14.56 m <sup>2</sup>
S	告1436-四-ニ-2

下処理室	
A	4.77 m <sup>2</sup>
L	1.73 m <sup>2</sup>
V	0.57 m <sup>2</sup>
S	0.47 m <sup>2</sup>

事務室	
A	8.96 m <sup>2</sup>
L	2.70 m <sup>2</sup>
V	1.35 m <sup>2</sup>
S	0.58 m <sup>2</sup>

3才児保育室1	
A	57.54 m <sup>2</sup>
L	18.30 m <sup>2</sup>
V	8.94 m <sup>2</sup>
S	1.45 m <sup>2</sup>

教材庫1	
A	4.72 m <sup>2</sup>
S	告1436-四-ニ-2

3才児保育室2	
A	58.68 m <sup>2</sup>
L	16.05 m <sup>2</sup>
V	4.48 m <sup>2</sup>
S	1.25 m <sup>2</sup>

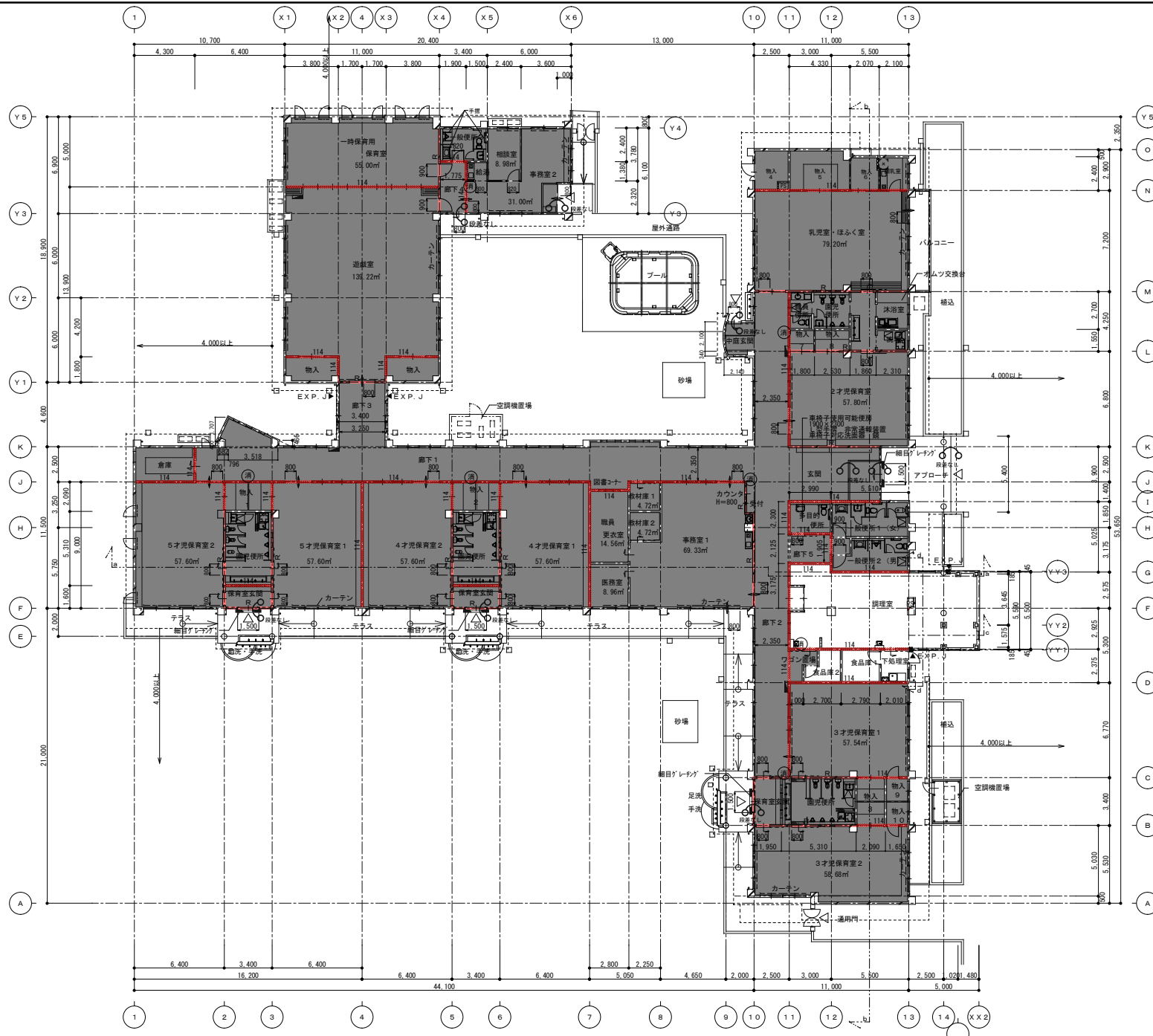
教材庫2	
A	4.72 m <sup>2</sup>
S	告1436-四-ニ-2

物入3	
A	7.10 m <sup>2</sup>
S	告1436-四-ニ-2

玄関・廊下1,2,3,5	
A	235.06 m <sup>2</sup>
L	15.78 m <sup>2</sup>
S	5.80 m <sup>2</sup>

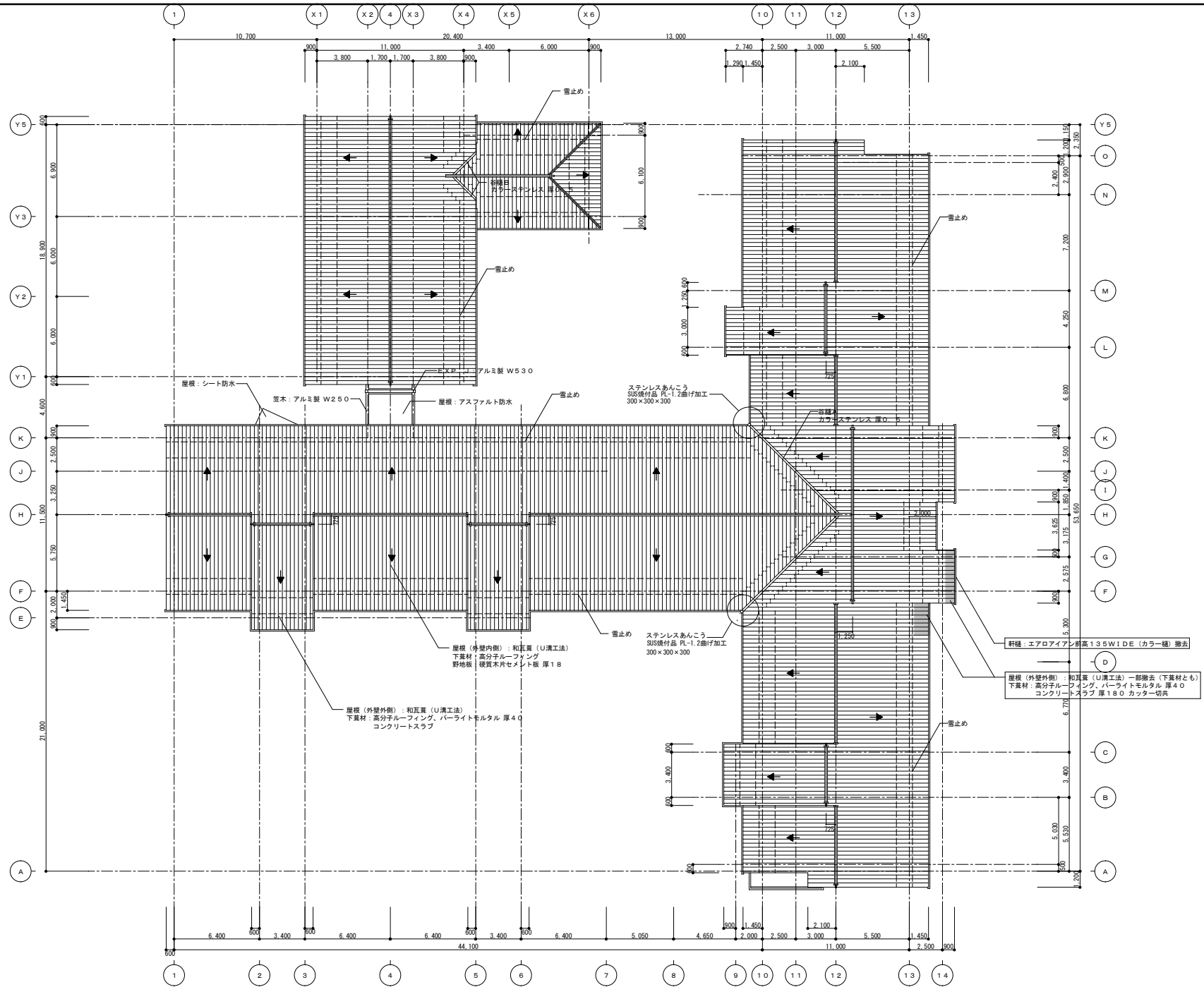
廊下4	
A	7.03 m <sup>2</sup>
L	3.16 m <sup>2</sup>
S	0.73 m <sup>2</sup>

採光補正係数  
 $A=d/h \times 10^{-1}$   
 $3.0 \leq d/2.4 \times 10^{-1}$   
 $4.0 \leq d/2.4 \times 10^{-1}$   
 $d \geq 4.0 \times 2.4/10$   
 $d \geq 9.6/10 = 0.96$   
 $\therefore d \geq 0.96 \quad A \geq 3.0$



○ 凡例	
	令114条2項の界壁を示す コンクリート 厚100以上 (小規模・天井裏に達せしめる事) 平12建告1399号
	令114条2項の界壁を示す LGS+PB 厚12.5+厚9.5 (両面二重壁) +仕上 (小規模・天井裏に達せしめる事) 平12建告1358号
	カーテン取付位置を示す。(カーテンレール共)
	消火器 (ABC10型) 設置位置を示す
	パッケージ型消火設備1型新設 (設備工事)

特記 ・・・・既存のまま範囲を示す。 ※今回改修範囲以外は確認申請許可時より変更なし ・確認済証：H17.7.22 第H17確認建築三重県庁00842号 ・検査済証：H19.2.19 第H18確認建築三重県庁01682号	工事名 大山田保育園給食室増築工事	承認 管理建築士	印	
	図名 <改修後> 平面図	縮尺 A2 : 1/200 A3 : 1/282	図面番号 A-19	図面提出日 2022/01/19
	備考			備考



特記  
...撤去範囲を示す。

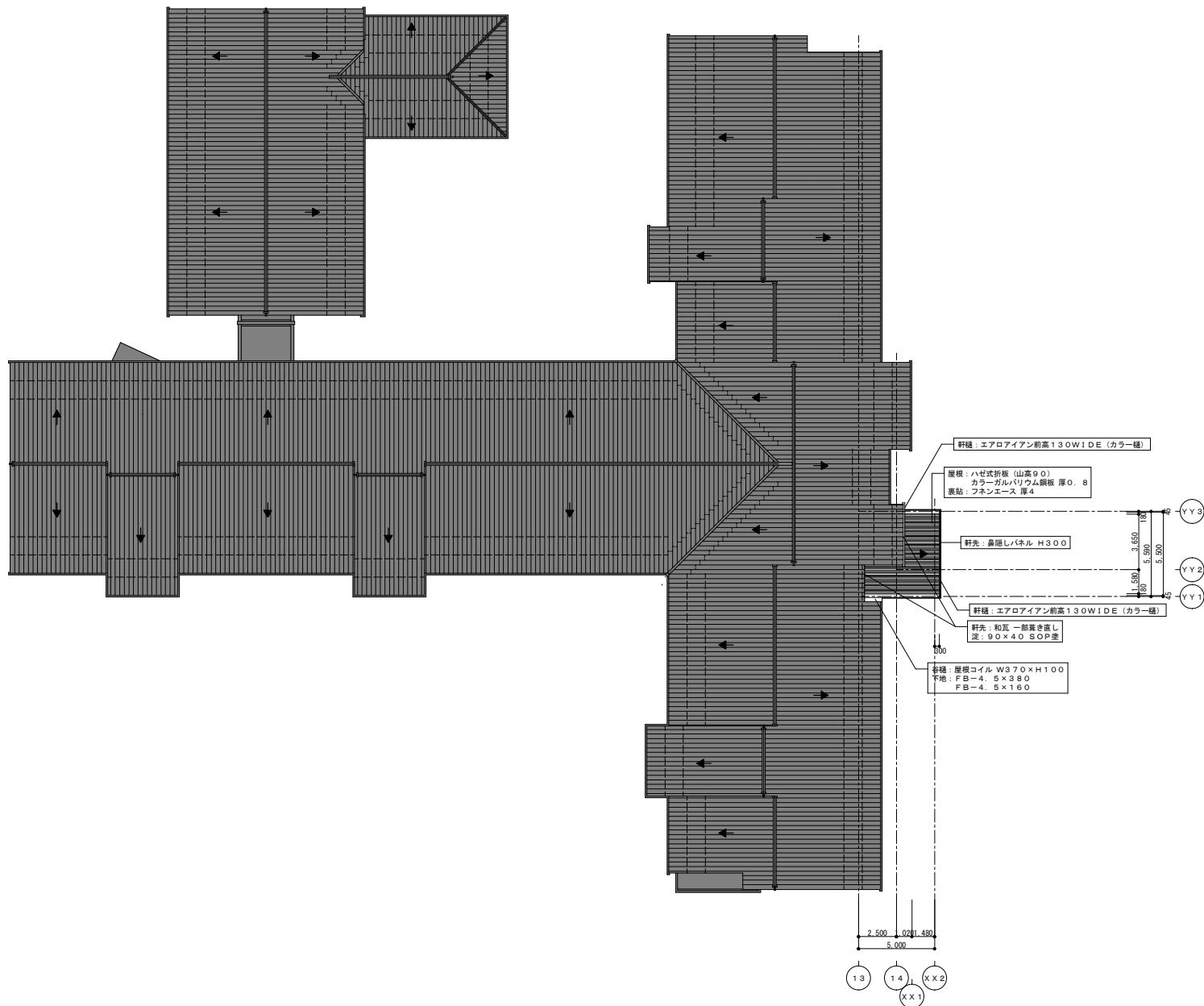
工事名  
大山田保育園給食室増築工事

図名  
<現況>屋根伏図

縮尺  
A 2 : 1/200  
A 3 : 1/282

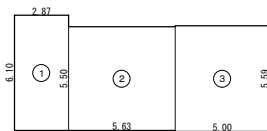
図面番号  
A-20

承認		管理建築士	印
図面提出日 2022/01/19			



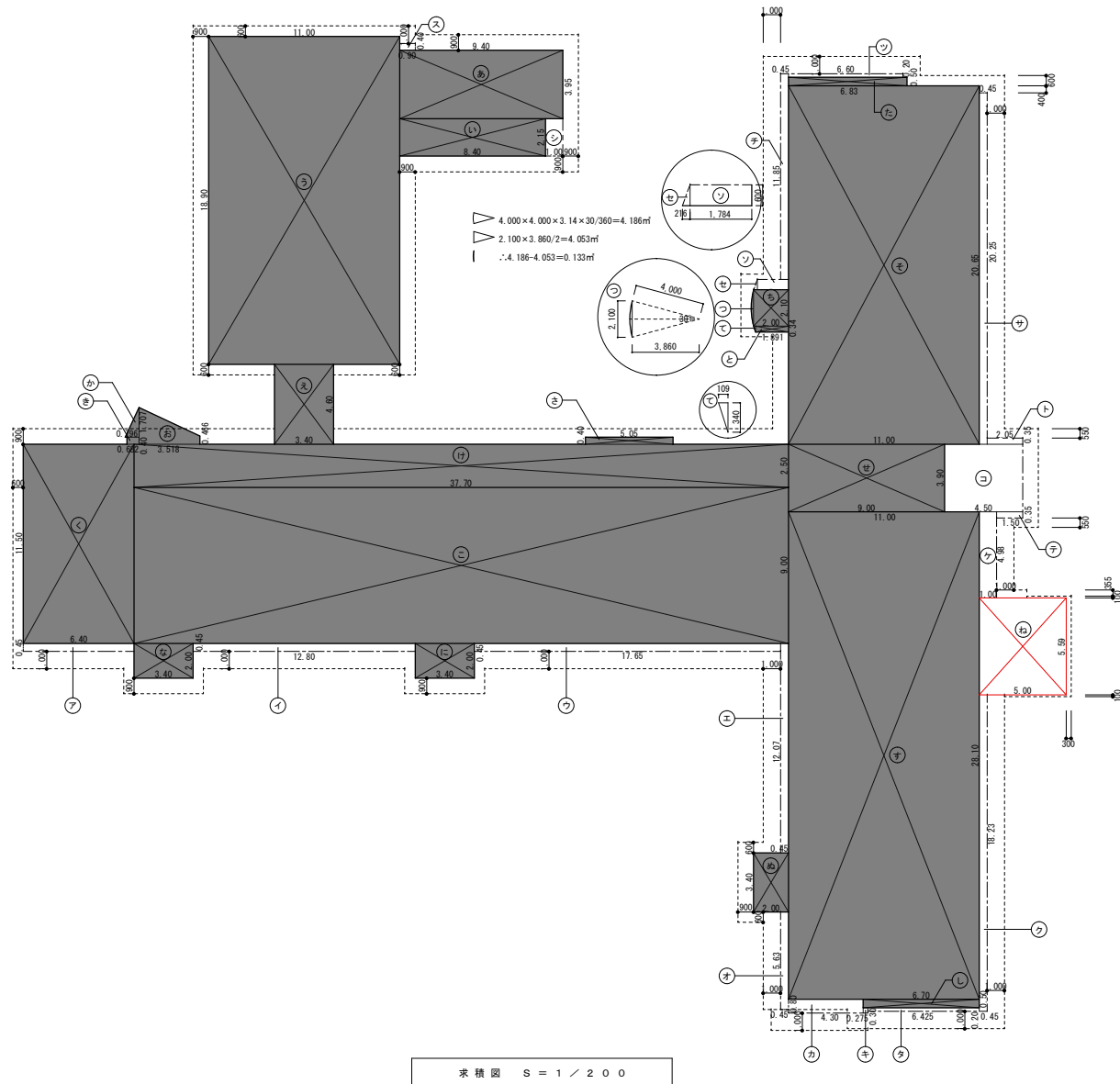
特記	・・・既存のまま範囲を示す。	工事名	大山田保育園給食室増築工事		承認	管理建築士	印
		図名	< 改修 > 屋根伏図	縮尺 A2: 1/200 A3: 1/282	図番 A-21	図面提出日	2022/01/19

面積表					
< 既存 > 1 階床面積			建築面積		
あ	9.40×3.95	37.13	ア	6.00×0.45	2.70
い	8.40×2.15	18.06	イ	12.80×0.45	5.76
う	11.00×18.90	207.90	ウ	17.65×0.45	7.9425
え	3.40×4.60	15.64	エ	12.07×0.45	5.4315
お	(0.466+2.107)×3.518/2	4.5259	オ	5.63×0.45	2.5335
か	0.796×1.707/2	0.6793	カ	4.30×0.80	3.44
き	0.682×0.40	0.2728	キ	0.275×0.30	0.0825
く	6.40×11.50	73.60	ク	0.45×18.23	8.2035
け	37.70×2.50	94.25	ケ	1.00×4.98	4.98
こ	37.70×9.00	339.30	コ	4.50×3.90	17.55
さ	5.05×0.40	2.02	サ	0.45×20.25	9.1125
し	6.70×0.50	3.35	シ	1.00×2.15	2.15
す	11.00×28.10	309.10	ス	0.90×0.40	0.36
せ	9.00×3.90	35.10	セ	0.216×0.60/2	0.0648
そ	11.00×20.65	227.15	ソ	1.784×0.60	1.0704
た	6.83×0.50	3.415	タ	6.425×0.20	1.285
ち	2.00×2.10	4.20	チ	0.45×11.85	5.3325
つ		0.133	ツ	6.60×0.20	1.32
て	0.109×0.34/2	0.0185	テ	1.50×0.35	0.525
と	1.891×0.34	0.6429	ト	2.05×0.35	0.7175
な	3.40×2.00	6.80			
に	3.40×2.00	6.80	計		80.56
ぬ	3.40×2.00	6.80			
合計		1396.88m <sup>2</sup>	建築面積	延床面積+ア~トの計	1505.39m <sup>2</sup>
< 増築 > 1 階床面積					
社	5.00×5.59	27.95			
延床面積	既存床面積+増築床面積	1424.83m <sup>2</sup>			



調理室求積図 S = 1 / 200

各室床面積			
調理室	①	6.10×2.87	17.507
	②	5.50×5.63	30.965
	③	5.59×5.00	27.95
	計		76.42



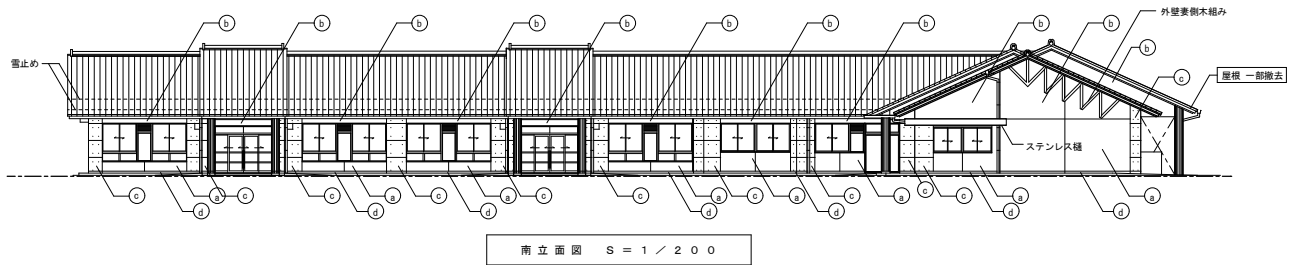
面積概要				排煙チェック表										採光チェック表										換気チェック表												
F	室名	番号		面積	排煙率	必要面積	開口部				判定		採光率	必要面積	開口部				判定		換気率	必要面積	開口部				判定									
		①	②	③	m2	分母	m2	建具符号	W (m)	H (m)	数量	有効面積	有効面積合計	必要面積	分母	m2	建具符号	W (m)	H (m)	数量	補正係数	有効面積	有効面積合計	必要面積	分母	m2	建具符号	W (m)	H (m)	数量	有効面積	有効面積合計	必要面積			
1	調理室	①	②	③	76.42	1/50	1.53						告知二(4)	OK	1/20	3.83	AW-32	0.40	0.90	1	3	1.08		3.96	≥	3.83	OK	1/20	3.83						機械換気(設備図参照)	OK

有窓階・無窓階の算定(消防法施行規則第5条の2)

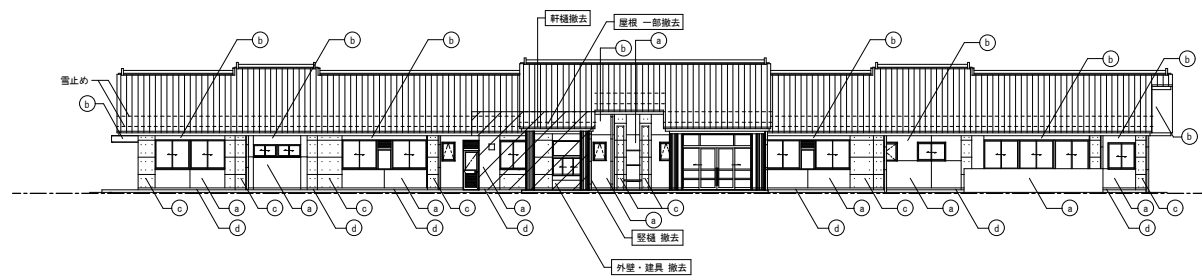
消防活動に必要な開口 1/30		床面積		有窓階・無窓階算定対象床面積 1階: 1424.83m2														※ ガラスの厚みは、外部に破壊作用のバルコニー等、足場のある場合は10mm程度まで有効とする(S58、9、19 消防予186) ※ 有効な開口部は、道又は道に通ずる幅員1m以上の通路その他の空地に面したものであること。 ※ ガラス記号 FL-透明ガラス F-型板ガラス PW-網入りガラス TG-強化ガラス ST-スクールテンバ A-空気層 LowE-低放射ガラス ※ 収容人員=園児:186人+職員:30人=216人													
階	必要開口面積	建具符号	有効開口面積										判定																		
			床面からの高さ (開口下縁1.2m以下)	ガラスの種類 (厚さ6.8mm以下)	備考	幅(m) × 高さ(m) × ヶ所 (直径100cm以上の円が内設する開口、もしくは75cm以上×120cm以上の 開口が2ヶ所以上) + (直径50cm以上の円が内設する開口)		有効開口面積合計	必要面積																						
1	47.50	AD-1	FL±0	ST-4	引分けドア	W1.64×H2.00×3ヶ所		9.84	105.54	≥	47.50	OK																			
		AD-3	FL±0	ST-4	引分けドア	W1.76×H2.22×1ヶ所		3.90																							
		AW-1	FL+1100	ST-4	引違い窓	W1.80×H1.50×2連×10ヶ所		54.00																							
		AW-2	FL+1100	ST-4	引違い窓	W1.80×H1.50×2連×3ヶ所		16.20																							
		AW-6	FL+1100	ST-4	引違い窓	W1.80×H1.50×2連×4ヶ所		21.60																							

特記	工事名 大山田保育園給食室増築工事			承認				管理建築士	印
	図名 内部仕上表・法チェック			図尺	図番		図面提出日	2022/01/19	
				A-23					

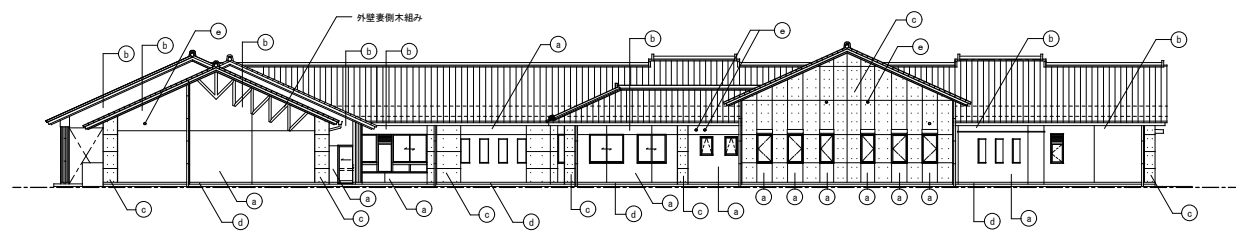




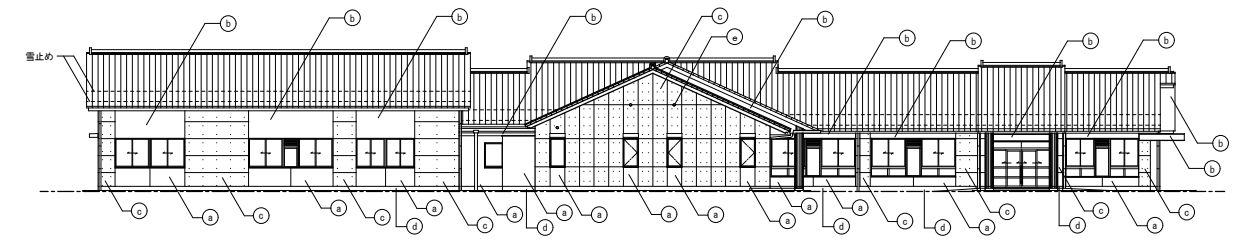
南立面図 S = 1 / 200



東立面図 S = 1 / 200



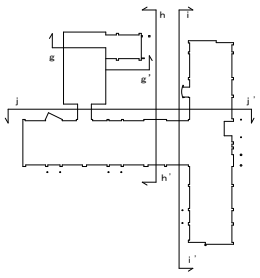
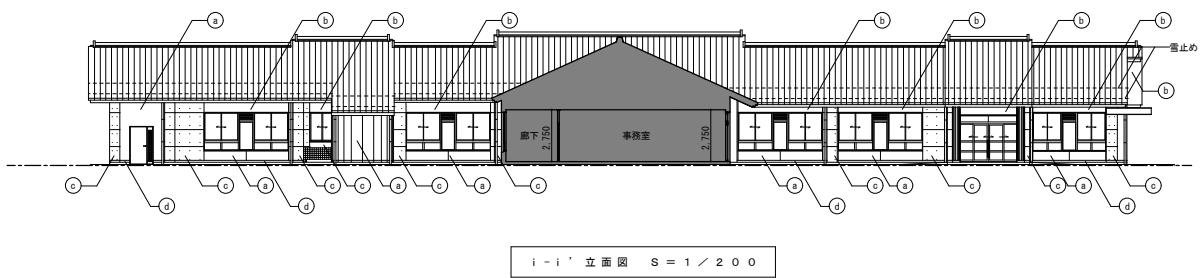
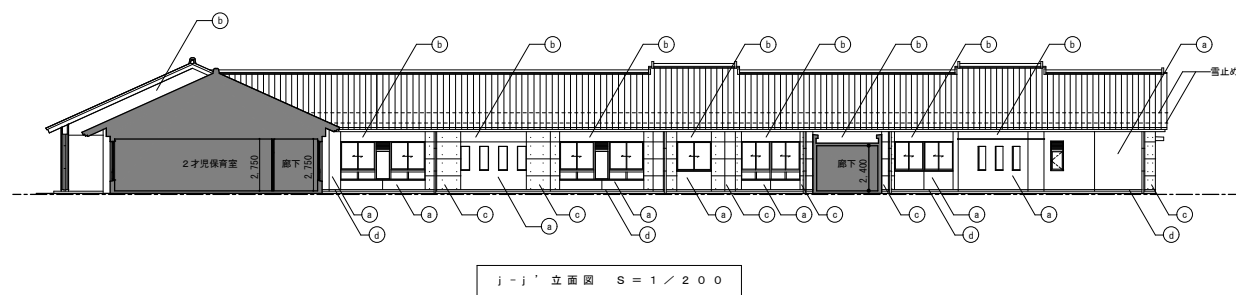
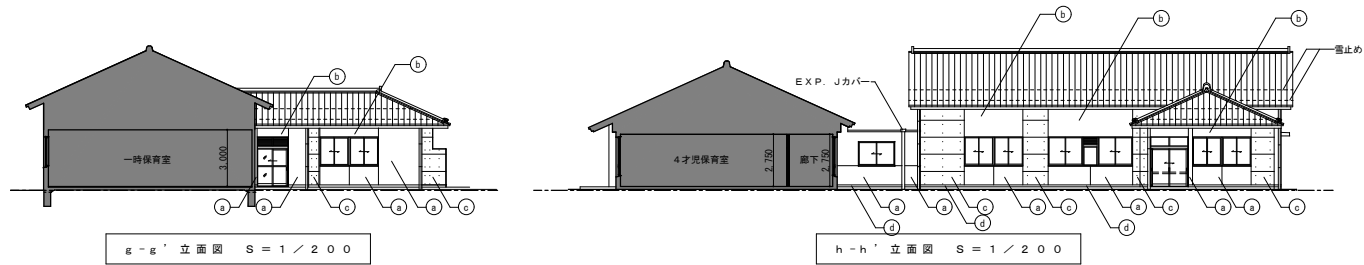
北立面図 S = 1 / 200



西立面図 S = 1 / 200

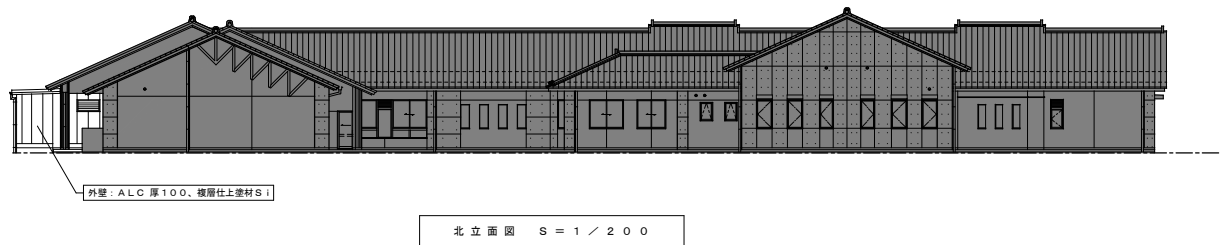
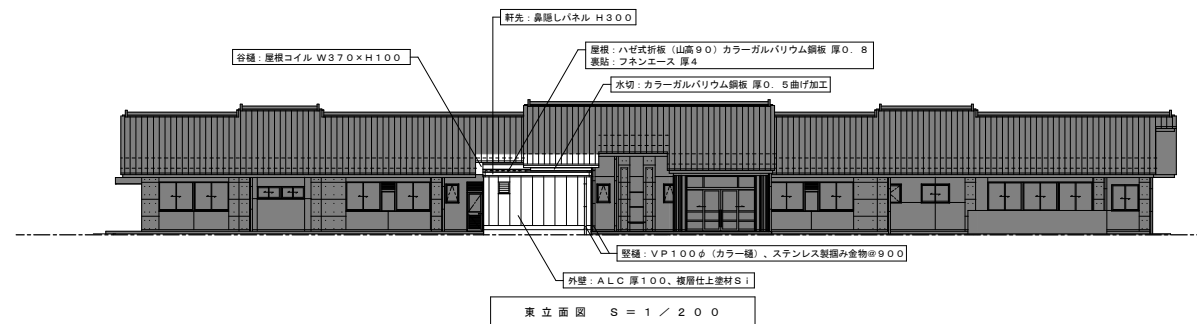
- 凡例
- Ⓔ・・・コンクリート打放し補修の上  
E-1塗装(エスケー化研セラタイトS1)
  - ⓑ・・・コンクリート打放し補修の上  
E-1塗装(エスケー化研ペルアートS1)
  - Ⓒ・・・コンクリート打放し(A種)  
シラン・シリカ系無機質クリア塗装
  - Ⓓ・・・コンクリート打放し補修の上  
シラン・シリカ系無機質クリア塗装(市木)
  - Ⓔ・・・通気孔(アルミ製ペントキャップ)

特記 .....改修範囲を示す。	工事名 大山田保育園給食室増築工事	承認	管理建築士	印
	図名 < 現況 > 立面図 1	縮尺 A2 : 1 / 200 A3 : 1 / 282	図面番号 A-24	図面発行日 2022/01/19

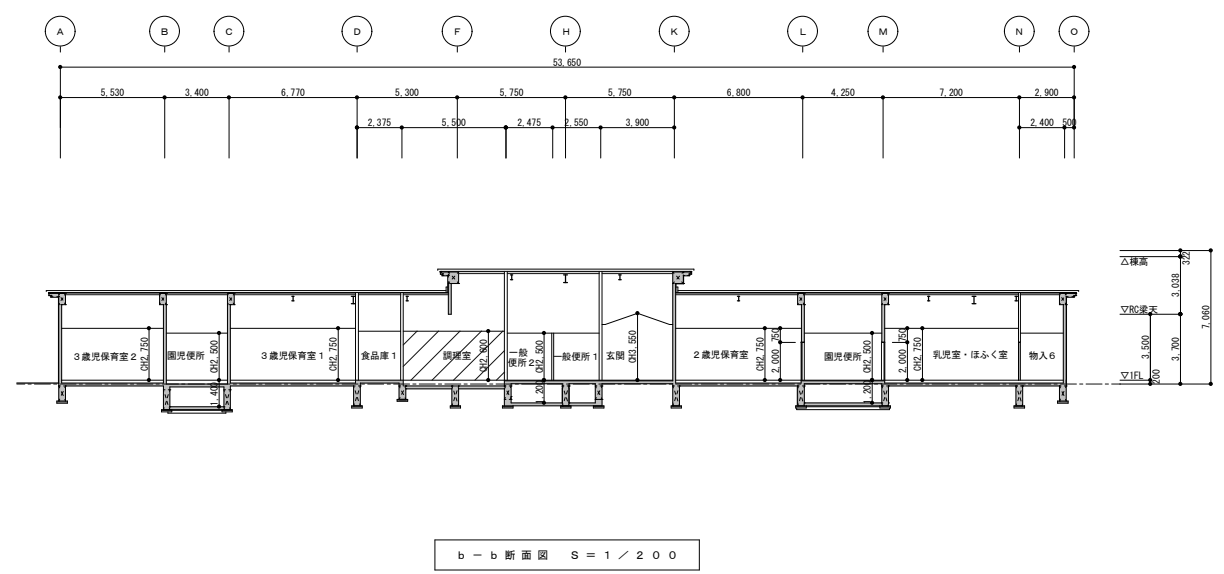
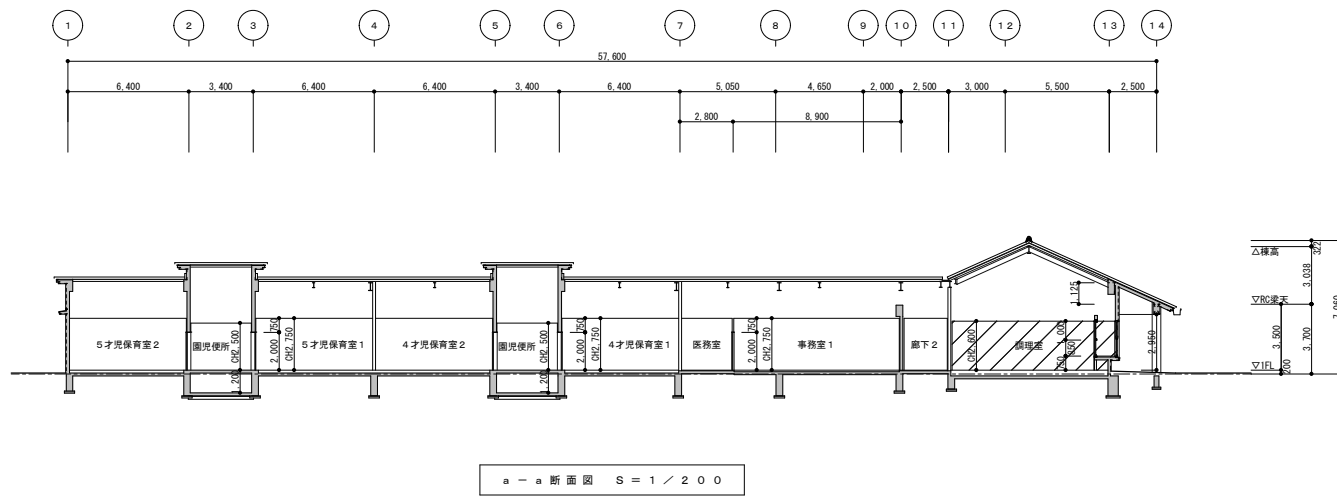


- 凡例
- (a)・・・コンクリート打放し補修の上  
視層仕上塗料 S i (特殊) (エスケー化研セラタイトSi)
  - (b)・・・コンクリート打放し補修の上  
視層仕上塗料 S i (ゆず肌) (エスケー化研ベルアートSi)
  - (c)・・・コンクリート打放し (A種)  
シラン・シリカ系無機質クリア塗装
  - (d)・・・コンクリート打放し補修の上  
シラン・シリカ系無機質クリア塗装 (巾木)

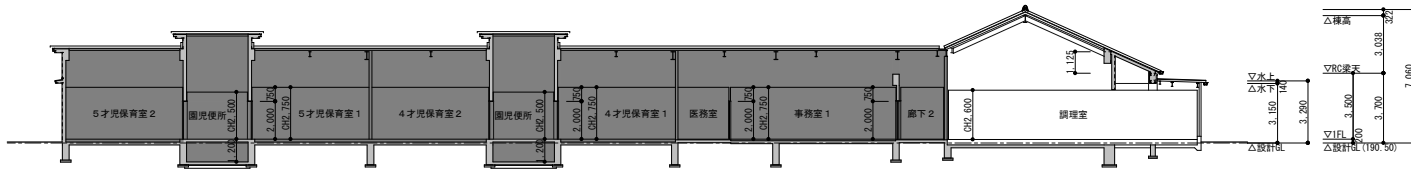
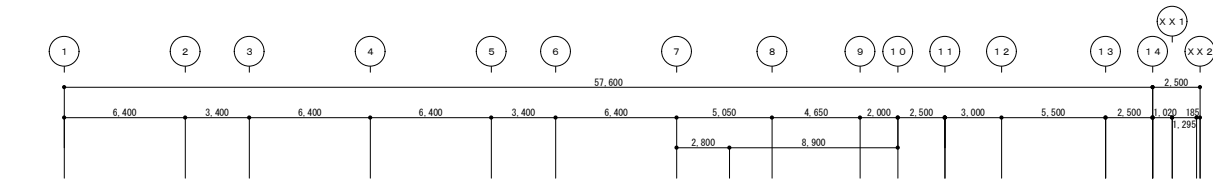
特記	工事名 大山田保育園給食室増築工事			承認		管理建築士	印
	図名 < 現況 > 立面図 2			縮尺 A 2 : 1 / 200 A 3 : 1 / 282	図面番号 A - 25		
						図面提出日	2022/01/19



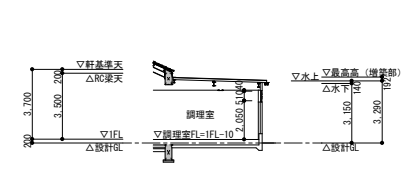
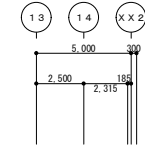
特記	・・・既存のまま範囲を示す。	工事名	大山田保育園給食室増築工事		承認	管理建築士	印
		図名	< 改修 > 立面図	縮尺 A2: 1/200 A3: 1/282	図面番号 A-26	図面提出日	2022/01/19



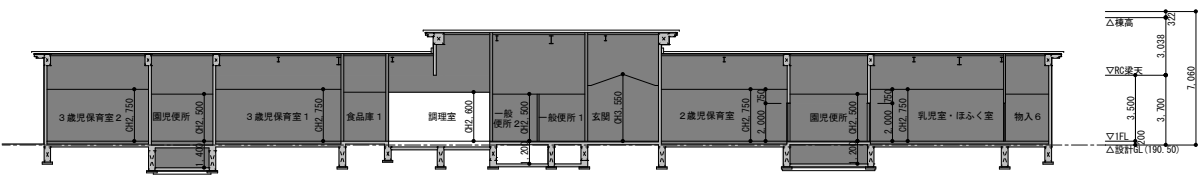
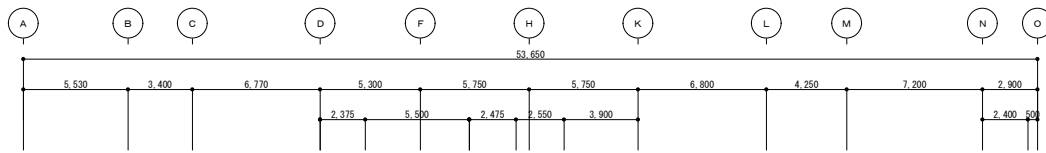
特記 ..... 改修範囲を示す。 ※今回改修範囲以外は確認申請許可時より変更なし	工事名 大山田保育園給食室増築工事	承認 管理建築士	印
	図名 < 現況 > 断面図	縮尺 A 2 : 1 / 200 A 3 : 1 / 282	図面番号 A-27
		図面提出日 2022/01/19	



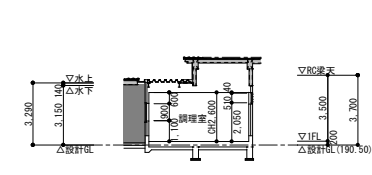
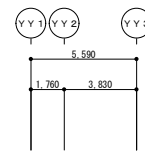
a - a 断面図 S = 1 / 200



c - c 断面図 S = 1 / 200

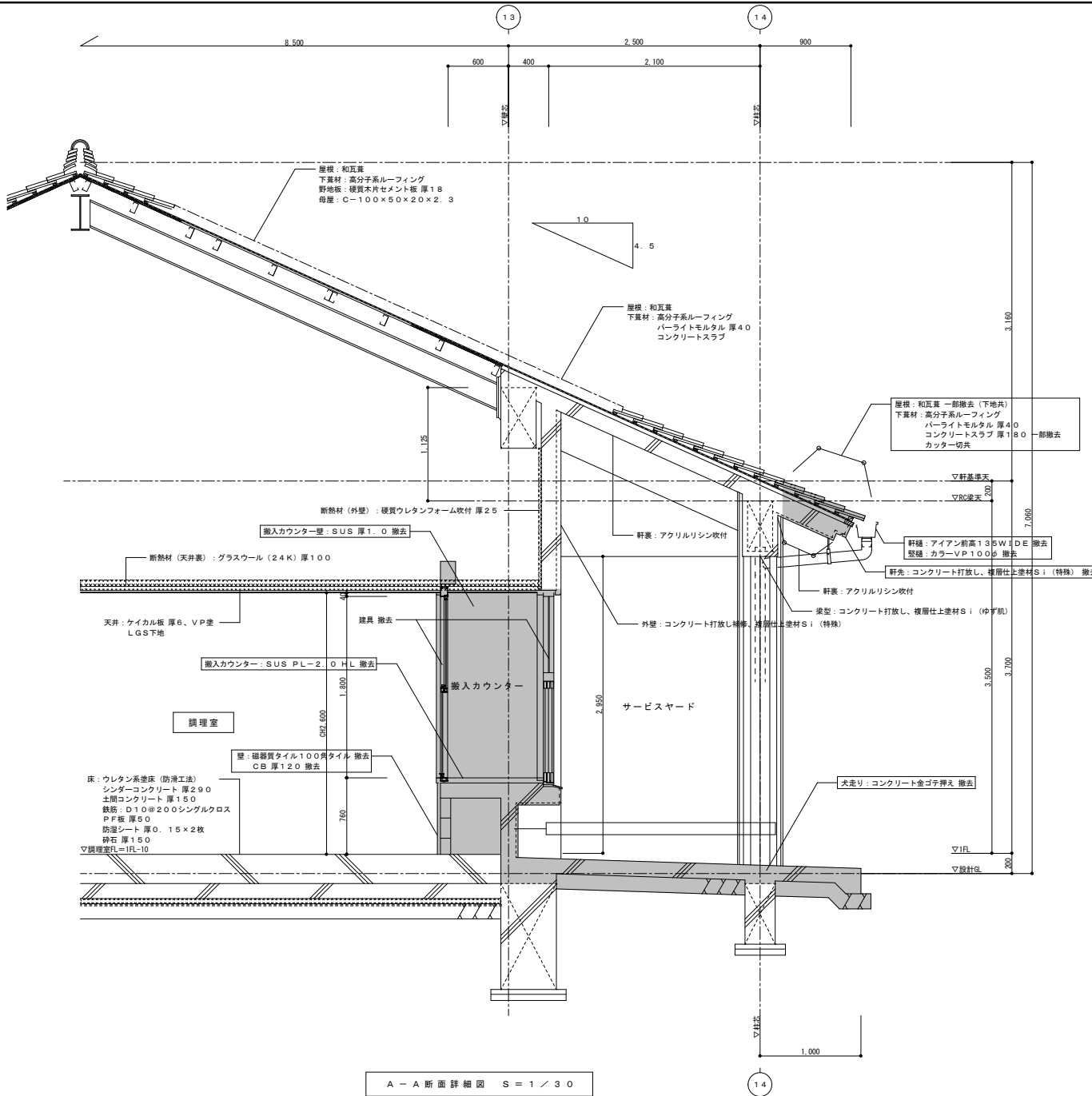


b - b 断面図 S = 1 / 200

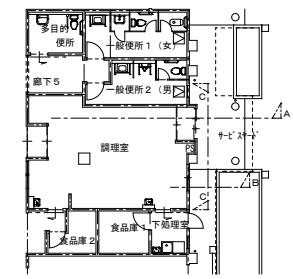


d - d 断面図 S = 1 / 200

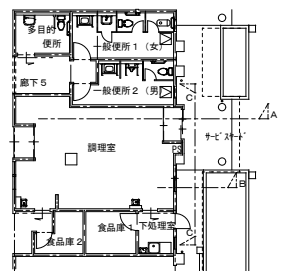
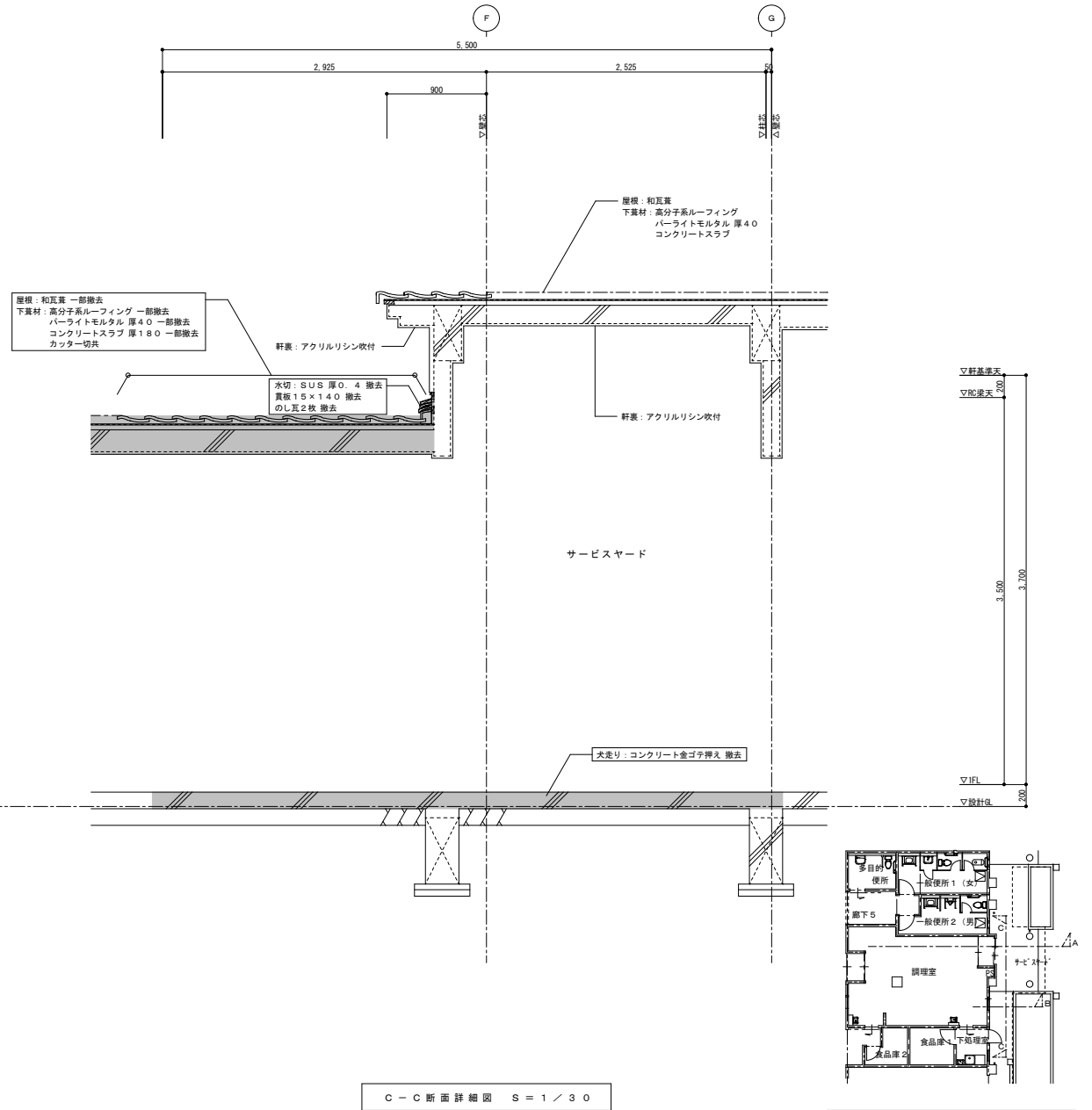
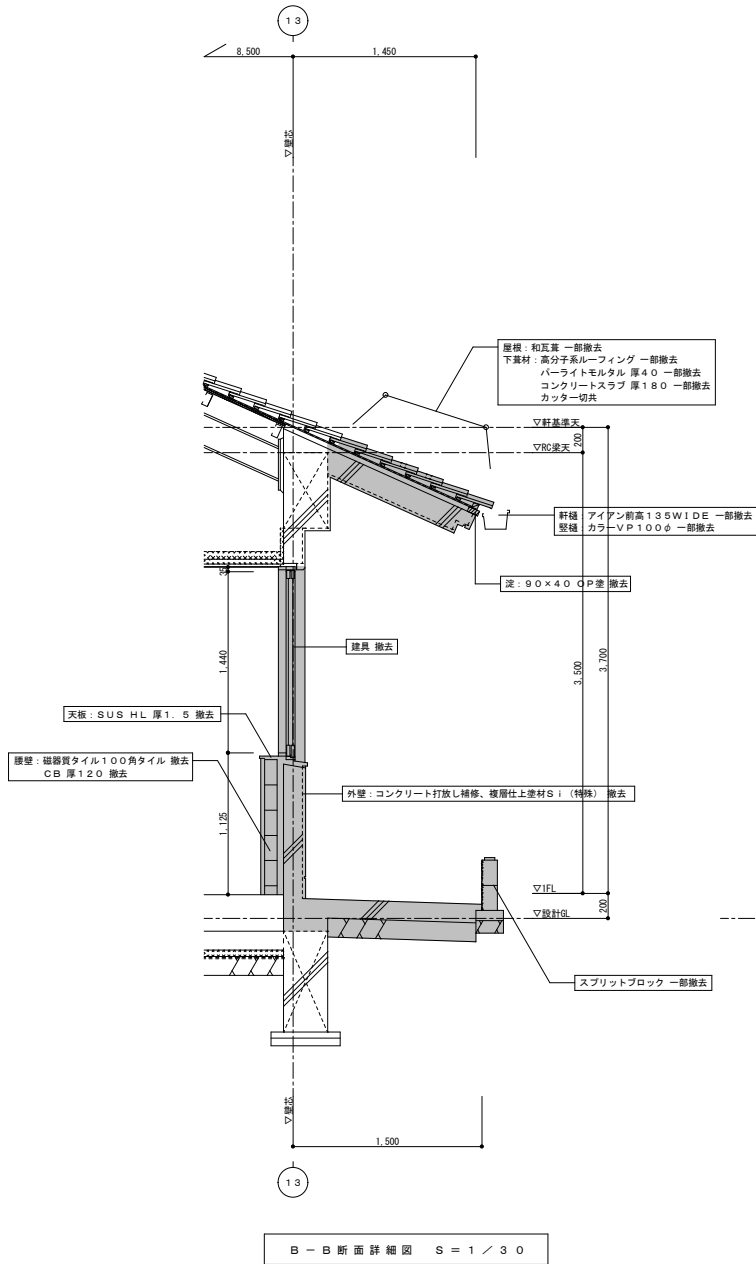
特記	・・・既存のまま範囲を示す。	工事名	大山田保育園給食室増築工事			承認	管理建築士	印
		図名	< 改修 > 断面図	縮尺 A 2 : 1 / 200 A 3 : 1 / 282	図面番号 A - 28	前面提出日	2022/01/19	



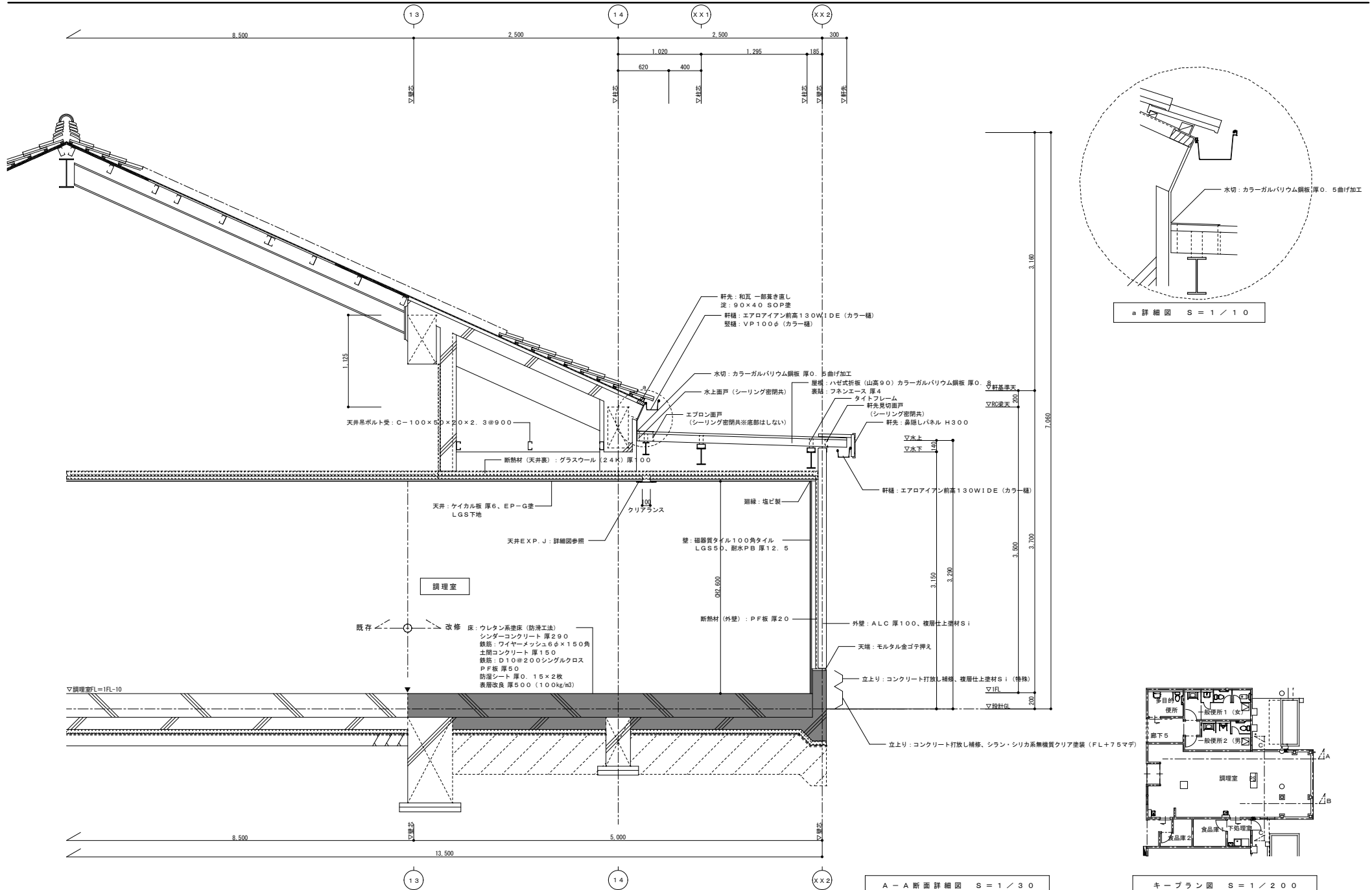
A-A 断面詳細図 S=1/30



特記	・・・撤去範囲を示す。	工事名	大山田保育園給食室増築工事		承認	管理建築士	印
		図名	< 現況 > 断面詳細図 1	縮尺 A2 : 1/30 A3 : 1/42	図面番号	A-29	
		開業提出日	2022/01/19				



特記	・・・撤去範囲を示す。	工事名	大山田保育園給食室増築工事			承認	管理建築士	印
		図名	<現況>断面詳細図2	縮尺	A2: 1/30 A3: 1/42	図面番号	A-30	
		図面提出日	2022/01/19					



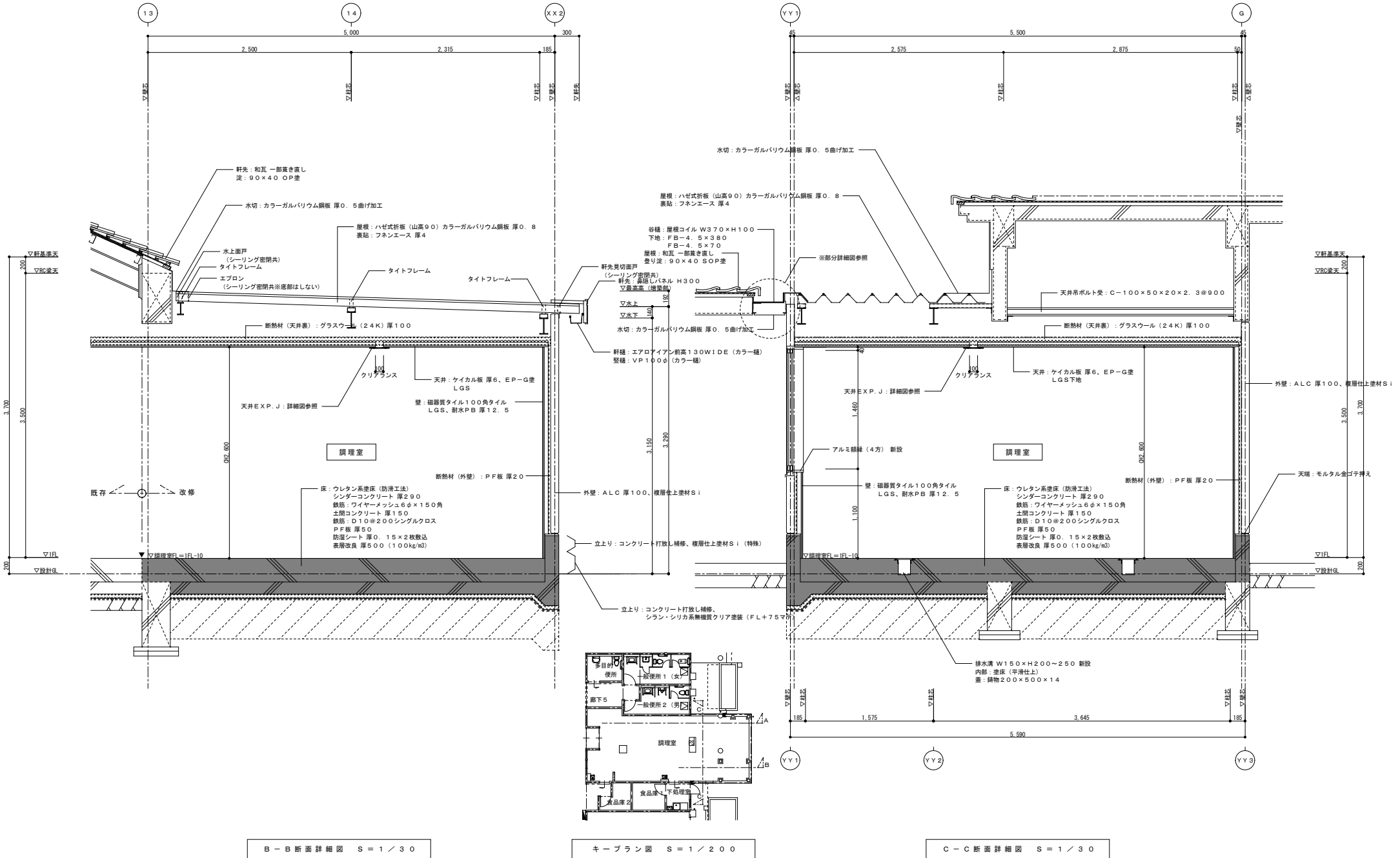
a 詳細図 S = 1 / 10

A-A 断面詳細図 S = 1 / 30

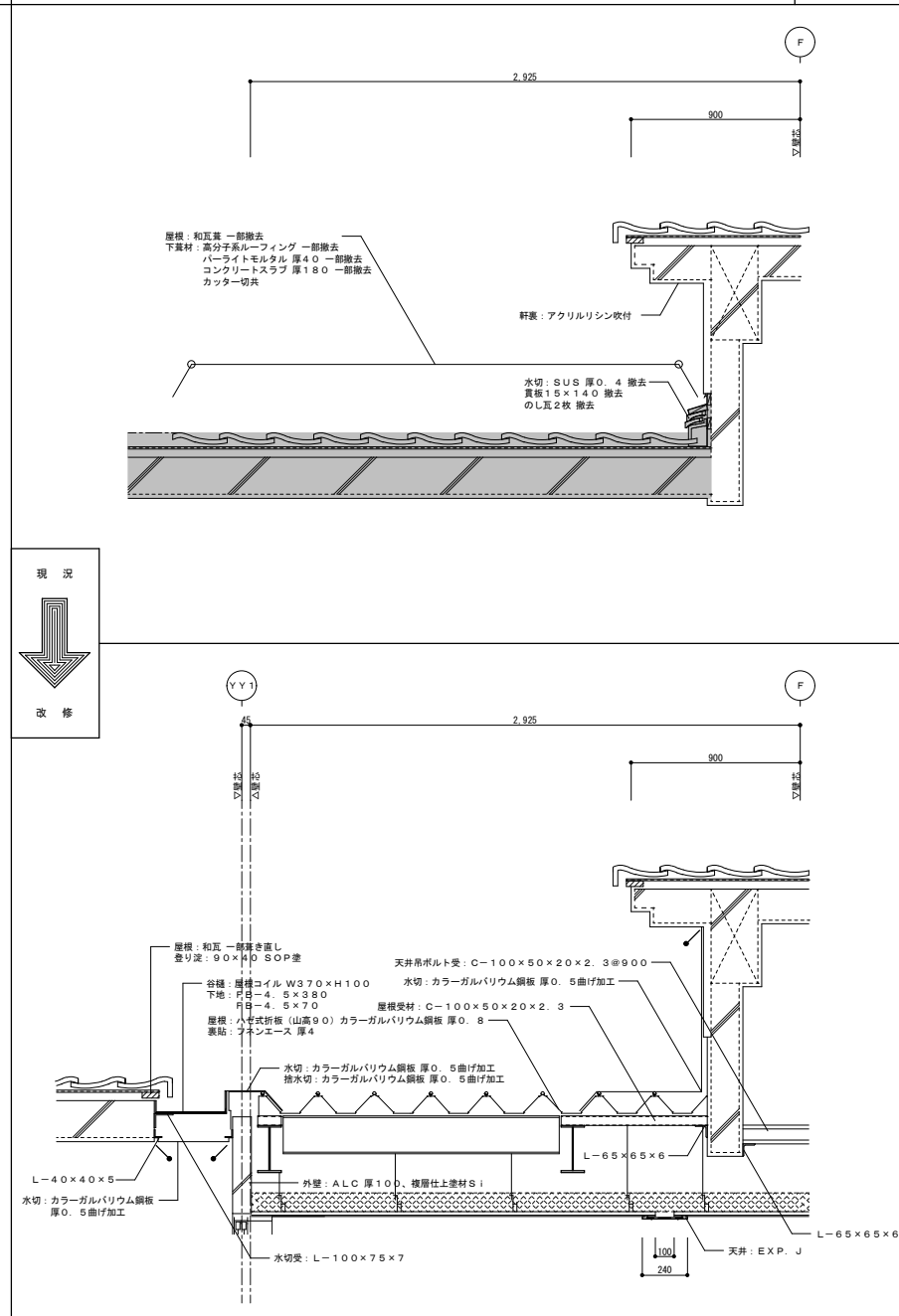
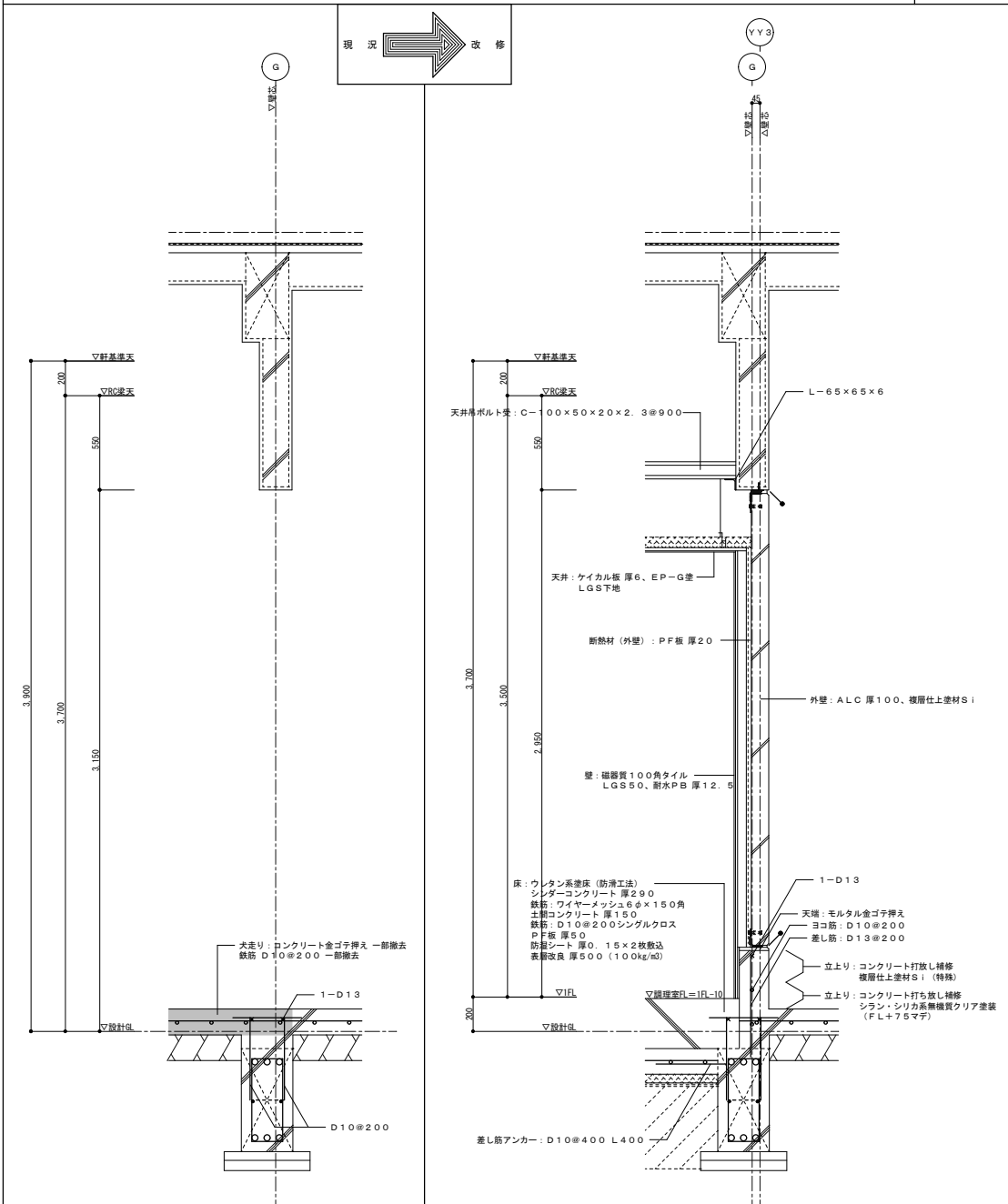
キープラン図 S = 1 / 200

特記	シンダーコンクリート、土間コンクリート新設範囲	工事名	大山田保育園給食室増築工事		承認	管理建築士	印
		図名	<改修>断面詳細図 1	縮尺 A2: 1/30 A3: 1/42	図面番号	A-31	
					図面提出日	2022/01/19	

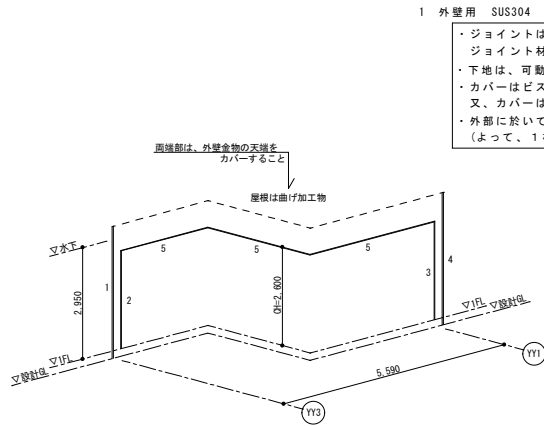




特記	シンダーコンクリート、土間コンクリート新設範囲	工事名	大山田保育園給食室増築工事		承認	管理建築士	印
		図名	<改修> 断面詳細図 2	縮尺 A 2 : 1/30 A 3 : 1/42	図番 A-32	図面提出日	2022/01/19



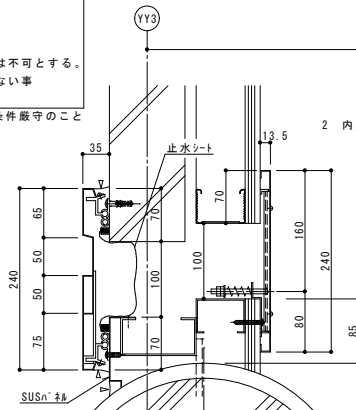
特記	...	工事名	大山田保育園給食室増築工事		承認	管理建築士	印
	...		部分詳細図 1	縮尺			
		図面提出日	2022/01/19				



1 外壁用 SUS304 t=1.0 HL (UZ 100-50)

- ・ジョイントは本体同志の差込み方式（印籠方式）とし、ジョイント材使用は不可とする。
- ・下地は、可動式回転軸仕様（Y方向可動対策）。
- ・カバーはビス止め方式とし、嵌合方式は不可とする。
- ・又、カバーは2枚パネル方式とし、1枚パネル方式は不可とする。
- ・外部に於いては、変位時に僅かでも隙間を発生させない事（よって、1枚パネル方式は不可）

\*上記条件厳守のこと



2 内壁用 7# t=1.6 n'ラシ&A'- (DB 100-50)

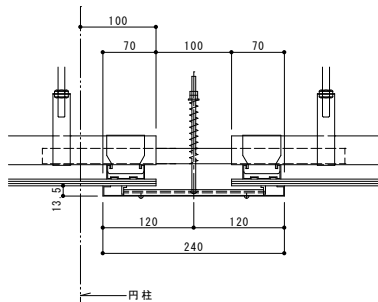
- ・カバーはビス止め方式とし、嵌合方式は不可とする
- ・非破壊端末アジャスト装置付きとする（Z方向への変位量確保）
- ・単純な片側固定方式にはしない事（Y方向可動時に隙間が生ずる事のない事・カバーにたわみが発生しない事）

\*上記条件厳守のこと

EXP・J キーブラン

- ・EXP・Jシステムに於いては、ステンレス（内部はアルミ）製、三次元可動方式とする。
- ・100mmクリアランス、±50mm可動仕様とする。
- ・構造体が変位時に脱落・破壊が無い事を確認出来る仕様とする。

- ・以上の点を留意し、各仕様毎の条件を厳守する事により、各性能を保持する事。（パラキャップ社 100-50シリーズ同等以上の性能を有する事）



5 天井用 7# t=1.6 n'ラシ&A'- (DC 100-50)

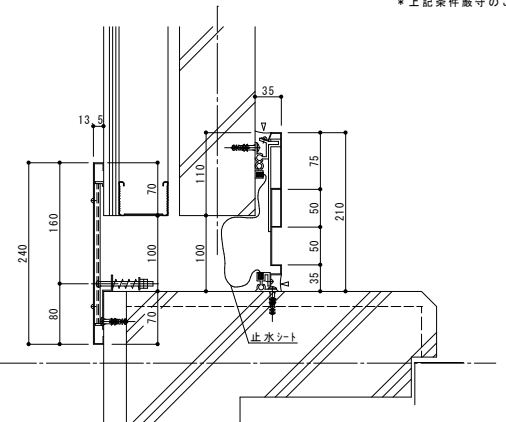
- ・カバーはビス止め方式とし、嵌合方式は不可とする
- ・非破壊端末アジャスト装置付きとする（Z方向への変位量確保）
- ・単純な片側固定方式にはしない事（Y方向可動時に隙間が生ずる事のない事・カバーにたわみが発生しない事）

\*上記条件厳守のこと

4 外壁用 SUS304 t=1.0 HL (UZR 100-50)

- ・ジョイントは本体同志の差込み方式（印籠方式）とし、ジョイント材使用は不可とする。
- ・下地は、可動式回転軸仕様（Y方向可動対策）。
- ・カバーはビス止め方式とし、嵌合方式は不可とする。
- ・又、カバーは2枚パネル方式とし、1枚パネル方式は不可とする。
- ・外部に於いては、変位時に僅かでも隙間を発生させない事（よって、1枚パネル方式は不可）

\*上記条件厳守のこと

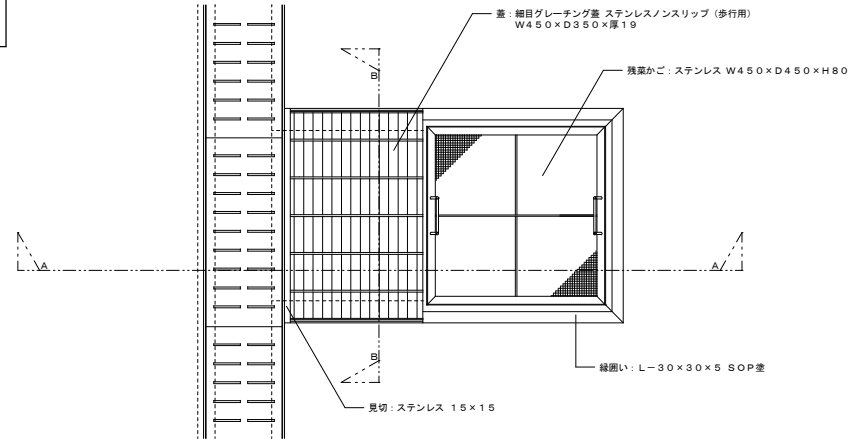
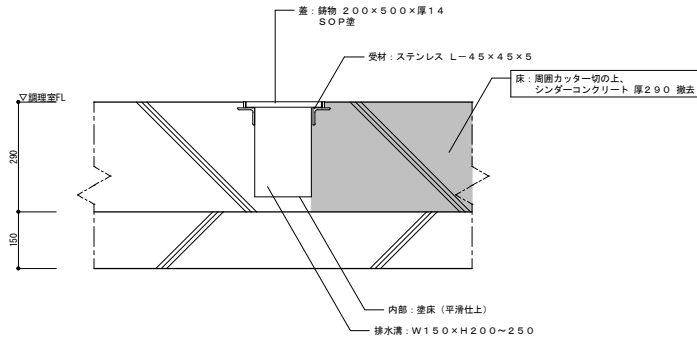
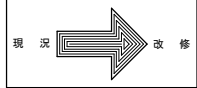


3 内壁用 7# t=1.6 n'ラシ&A'- (DB 100-50)

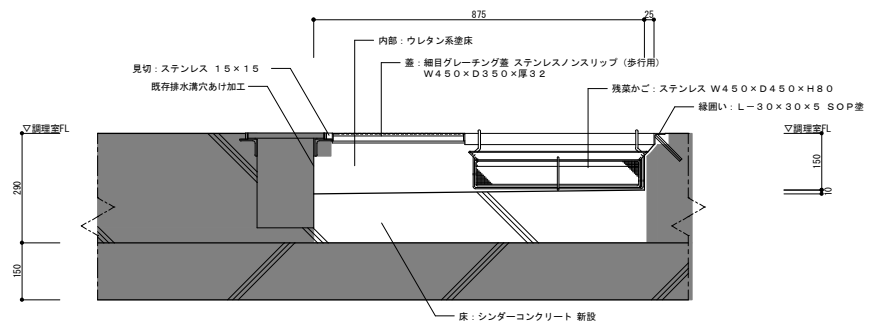
- ・カバーはビス止め方式とし、嵌合方式は不可とする
- ・非破壊端末アジャスト装置付きとする（Z方向への変位量確保）
- ・単純な片側固定方式にはしない事（Y方向可動時に隙間が生ずる事のない事・カバーにたわみが発生しない事）

\*上記条件厳守のこと

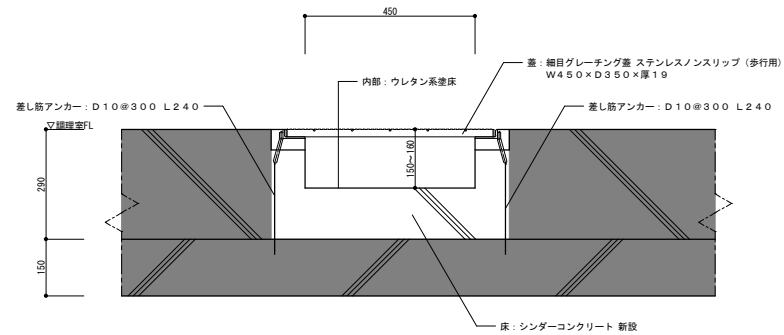
特記	工事名	大山田保育園給食室増築工事			承認	管理建築士	印
	図名	部分詳細図 2	縮尺 A2 : 1/5 A3 : 1/7	図面番号 A-34	承認日	2022/01/19	



平面図

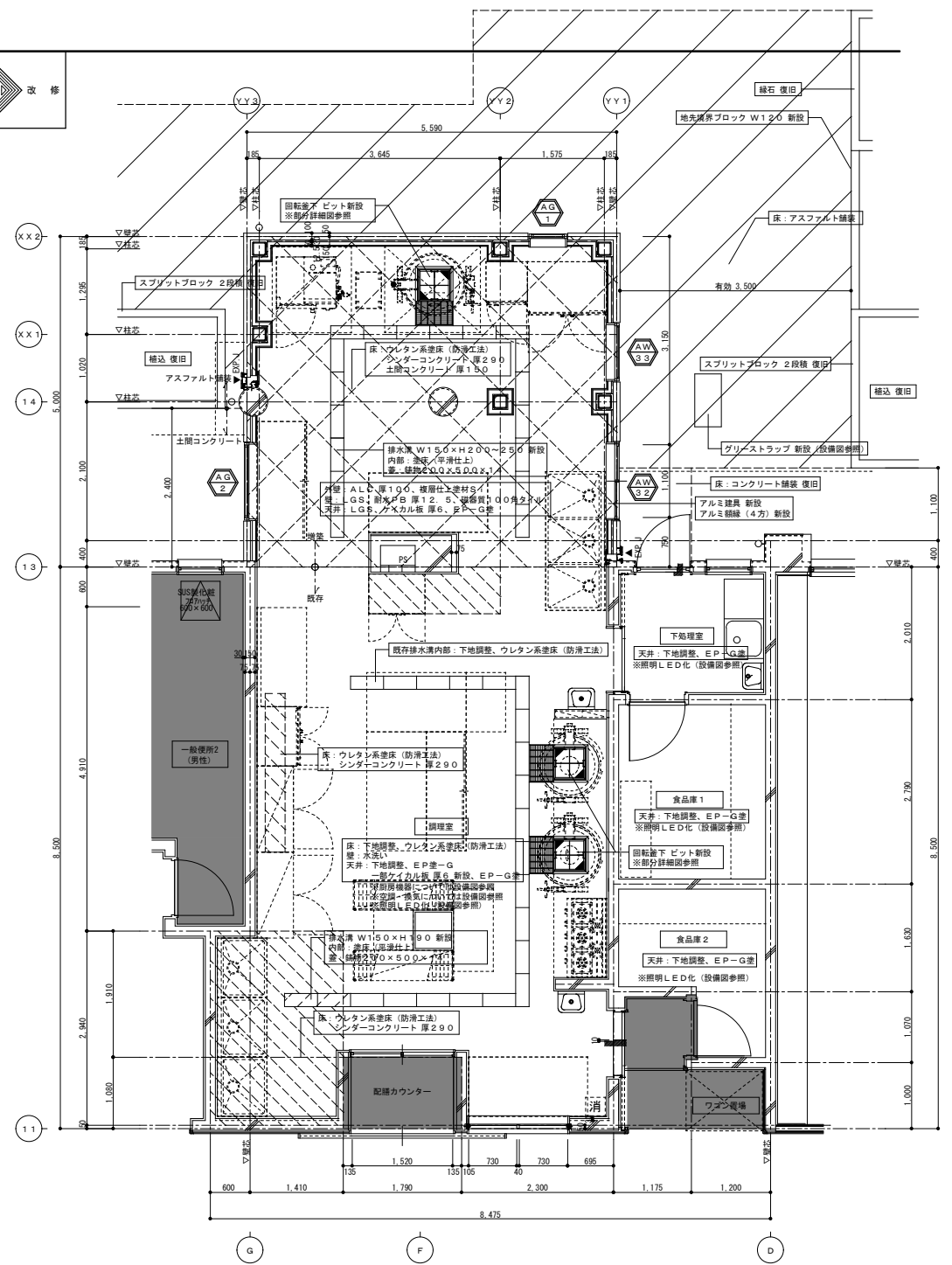
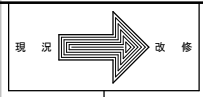
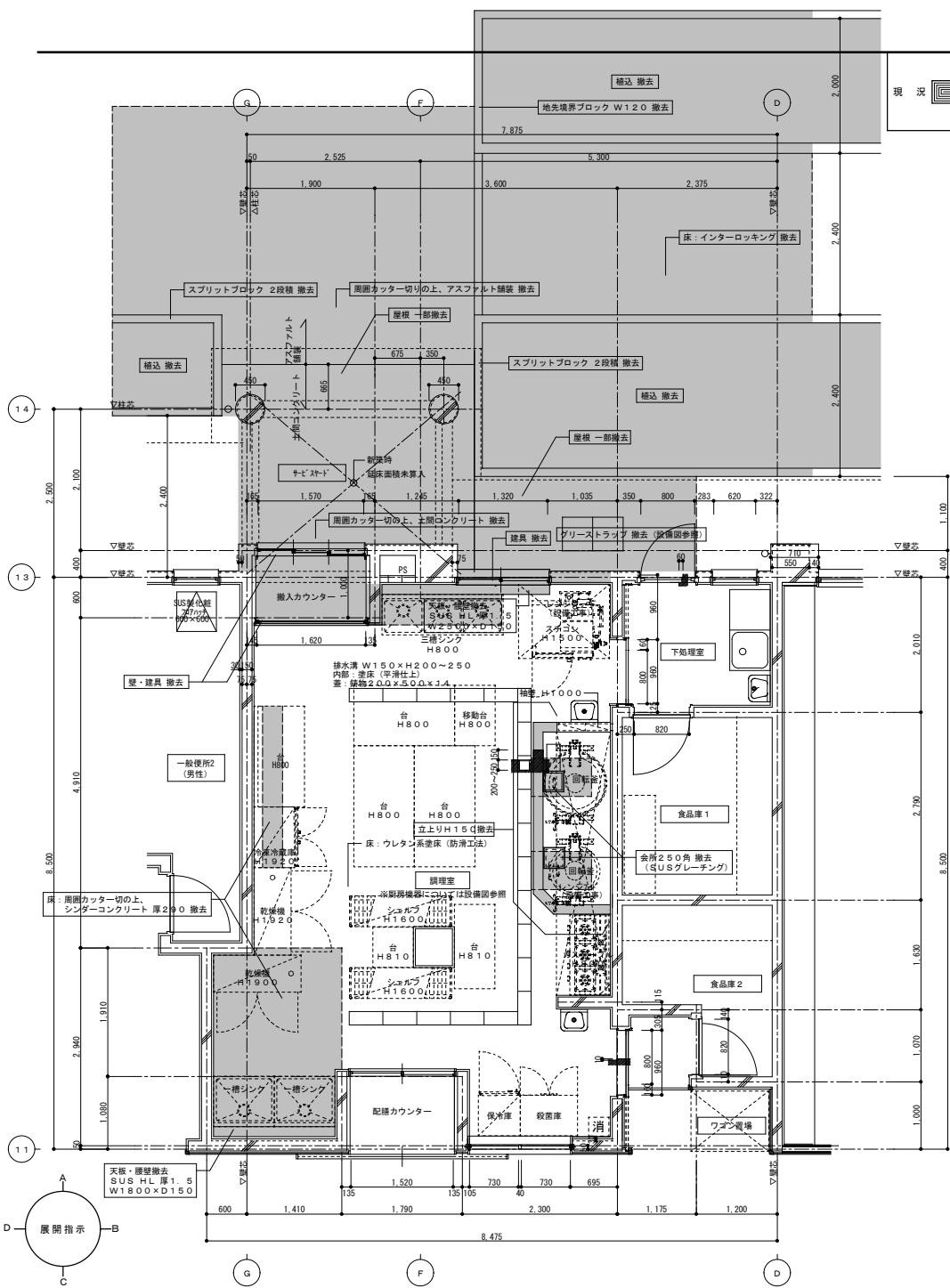


A-A 断面図

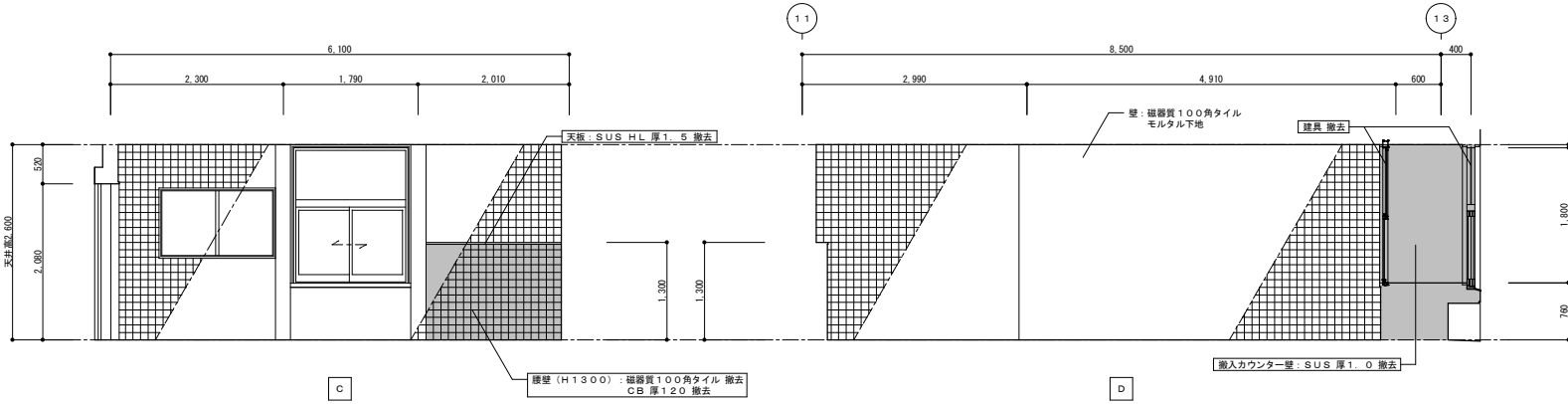
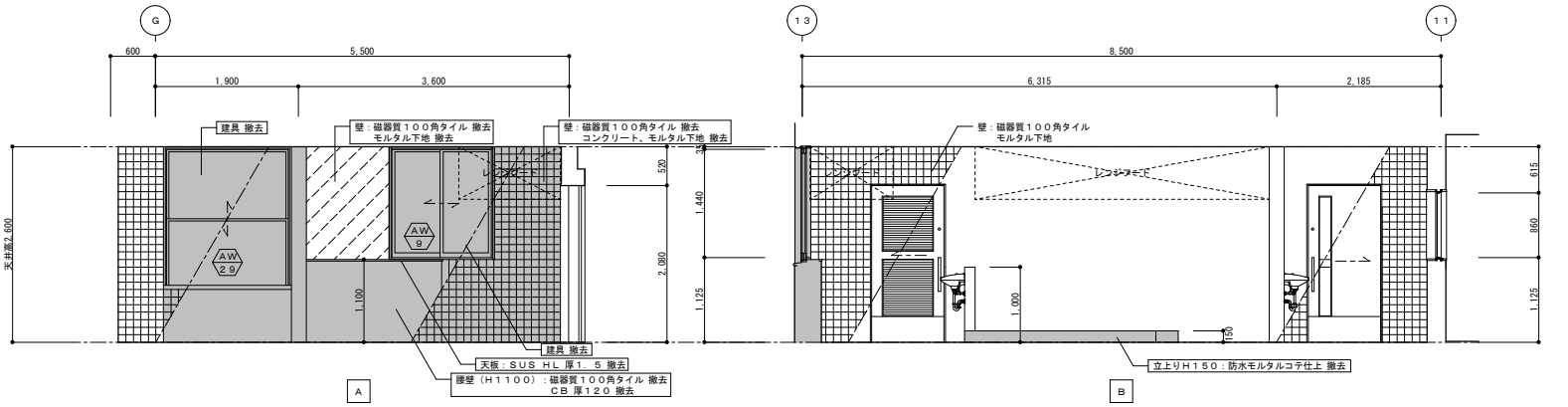


B-B 断面図

特記	床・壁撤去範囲	工事名 大山田保育園給食室増築工事	縮尺 A2: 1/10 A3: 1/14	図面番号 A-35	承認	管理建築士 印
	既存のまま範囲					
		図名 部分詳細図 3			図面提出日 2022/01/19	

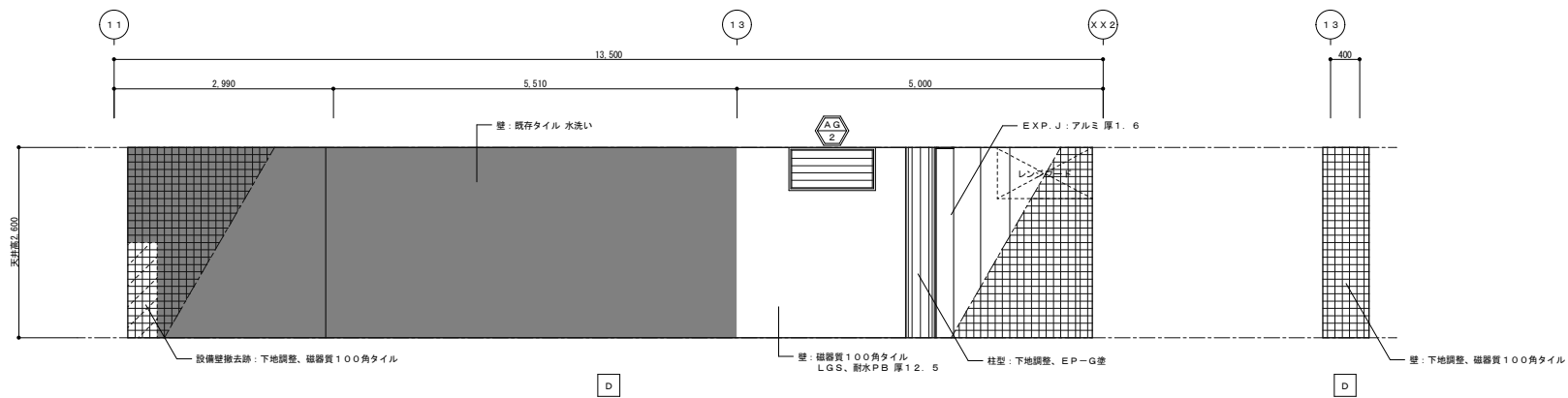
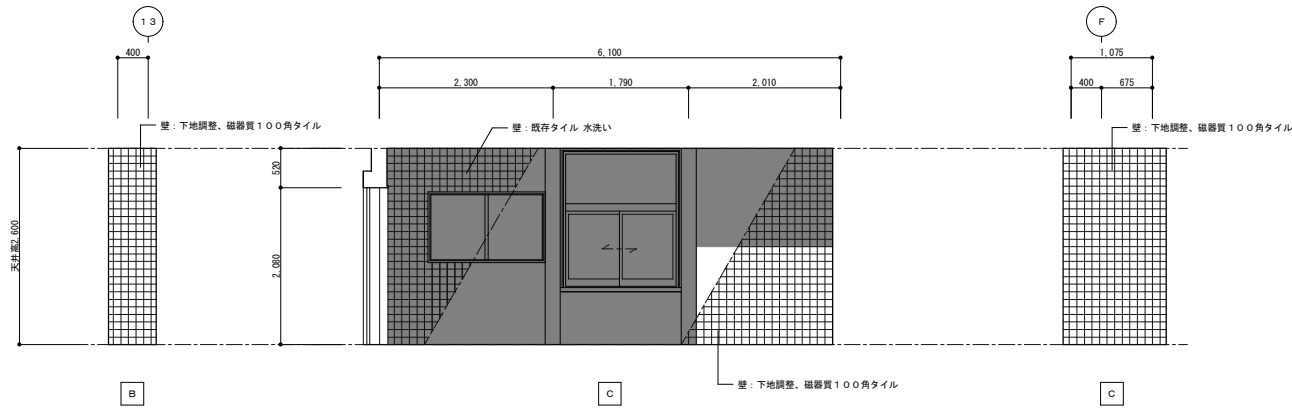
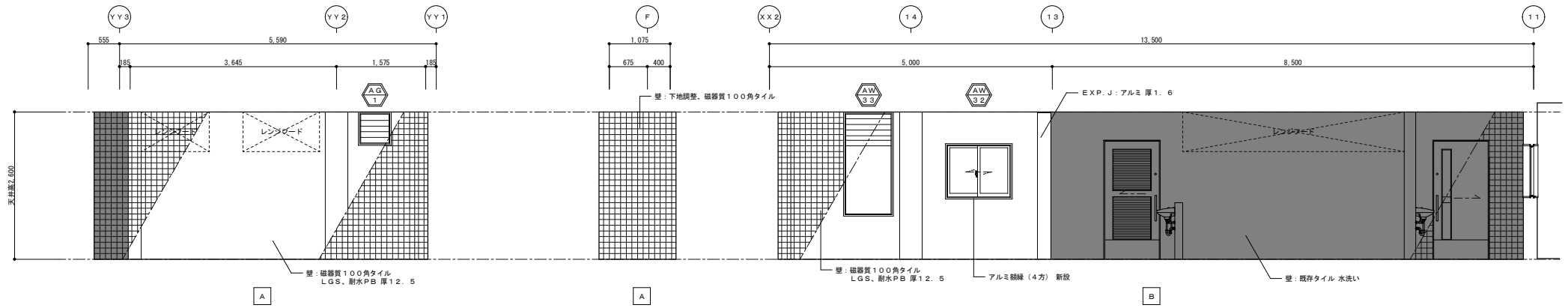


特記 床・壁撤去範囲 既存のまま範囲 増築範囲 シンダーコンクリート新設範囲	アスファルト舗装新設範囲	工事名 <b>大山田保育園給食室増築工事</b>	図尺 平面詳細図	縮尺 A2: 1/50 A3: 1/71	図面番号 A-36	承認 管理建築士	印
図面提出日 2022/01/19							



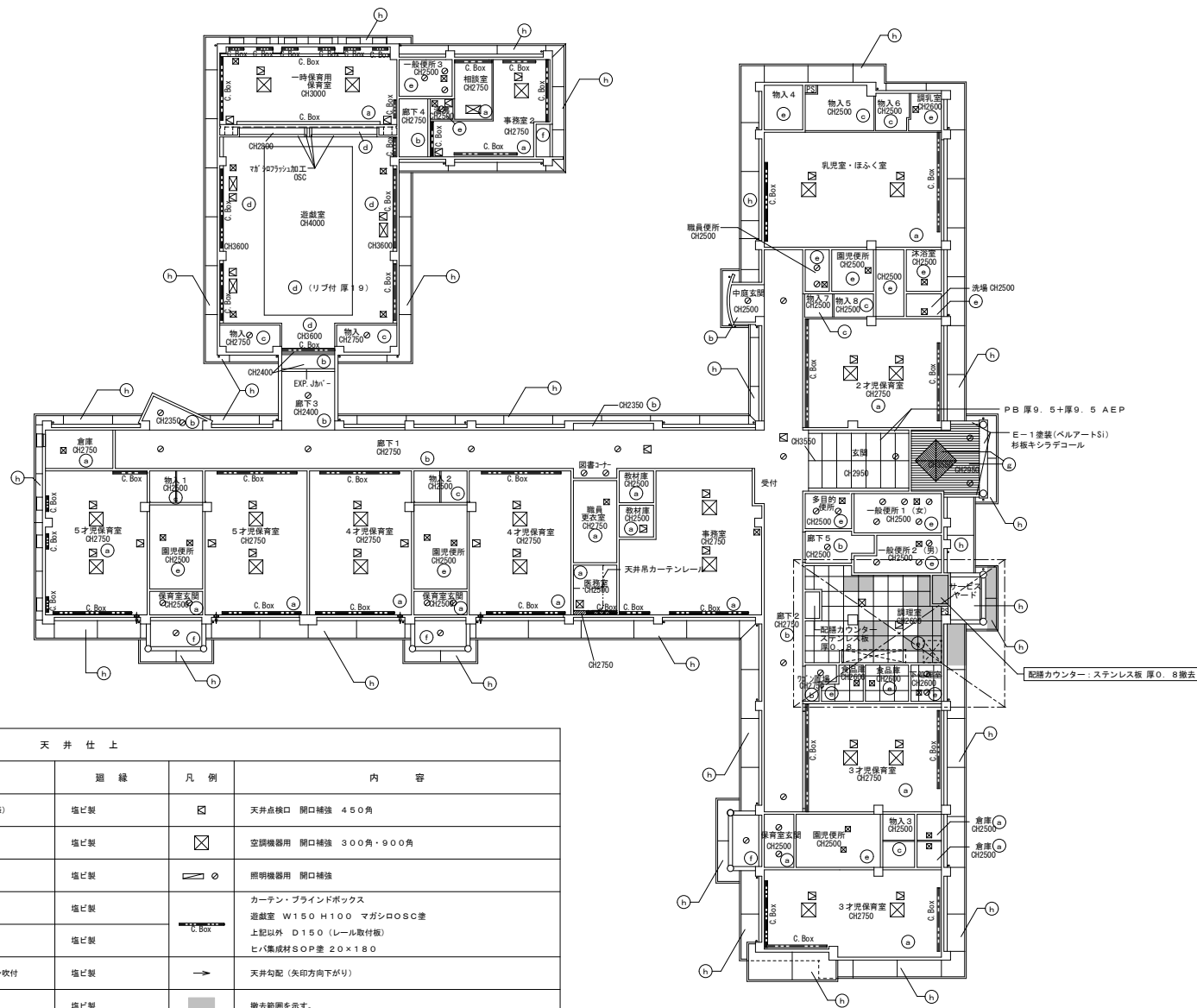
○ 凡例  
 [Hatched Box] 除去範囲を示す。

特記	工事名	大山田保育園給食室増築工事			承認	管理建築士	印
	図名	< 現況 > 展開図	縮尺 A2 : 1/50 A3 : 1/71	図面番号 A-37	図面提出日	2022/01/19	



○ 凡例  
 ■ 既存のまま範囲を示す。

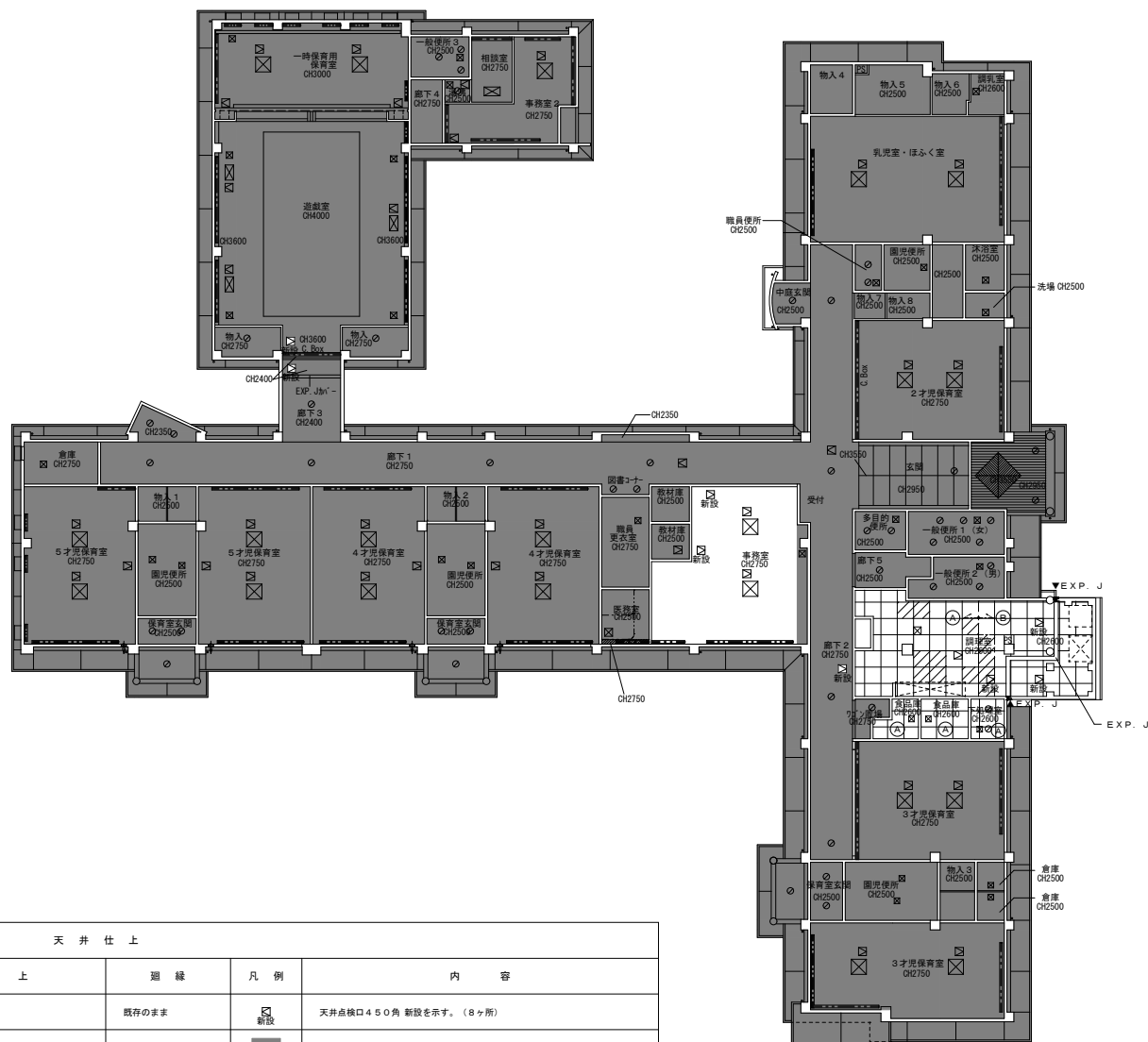
特記	工事名	大山田保育園給食室増築工事		承認	管理建築士	印
	図名	<改修>展開図	図番 A2: 1/50 A3: 1/71	図番番号	A-38	
				図面発行日	2022/01/19	



天井仕上					
記号	下地	仕上	廻縁	凡例	内容
(a)	LGS	PB 厚9.5 (トラバーチン模様)	塩ビ製	☒	天井点検口 開口補強 450角
(b)	LGS	PB 厚9.5 (木目調)	塩ビ製	☒	空調機器用 開口補強 300角・900角
(c)	LGS	PB 厚9.5 (布目)	塩ビ製	☒	照明機器用 開口補強
(d)	LGS, PB 厚9.5	ロックワール吸音板 厚12	塩ビ製	☒	カーテン・ブラインドボックス 遊戯室 W150 H100 マガシロOSC差
(e)	LGS	ケイカル板 厚6、VP差	塩ビ製	☒	上記以外 D150 (レール取付板) ヒバ集成材 SOP差 20×180
(f)	LGS	ケイカル板 厚6、アクリルシシン取付	塩ビ製	→	天井勾配 (矢印方向下がり)
(g)	LGS	杉板 厚12 (玄関1: キラデコール 玄関2: OSC差)	塩ビ製	■	撤去範囲を示す。
(h)	コンクリート	アクリルシシン取付	-	☒	改修範囲を示す。

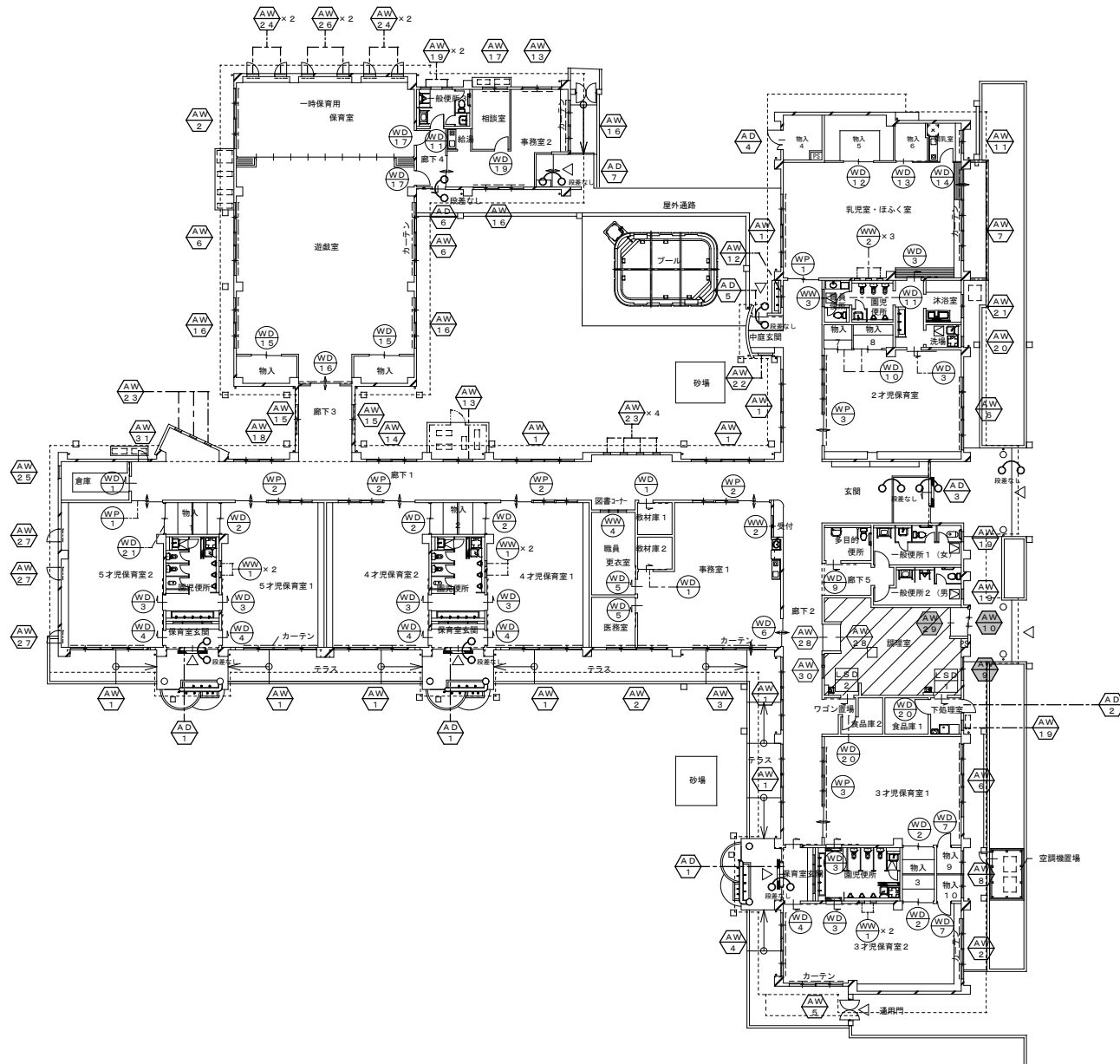
特記	工事名	大山田保育園給食室増築工事			承認	管理建築士	印
	図名	< 現況 > 天井伏図	縮尺 A2: 1/200 A3: 1/282	図番 A-39	図面提出日	2022/01/19	



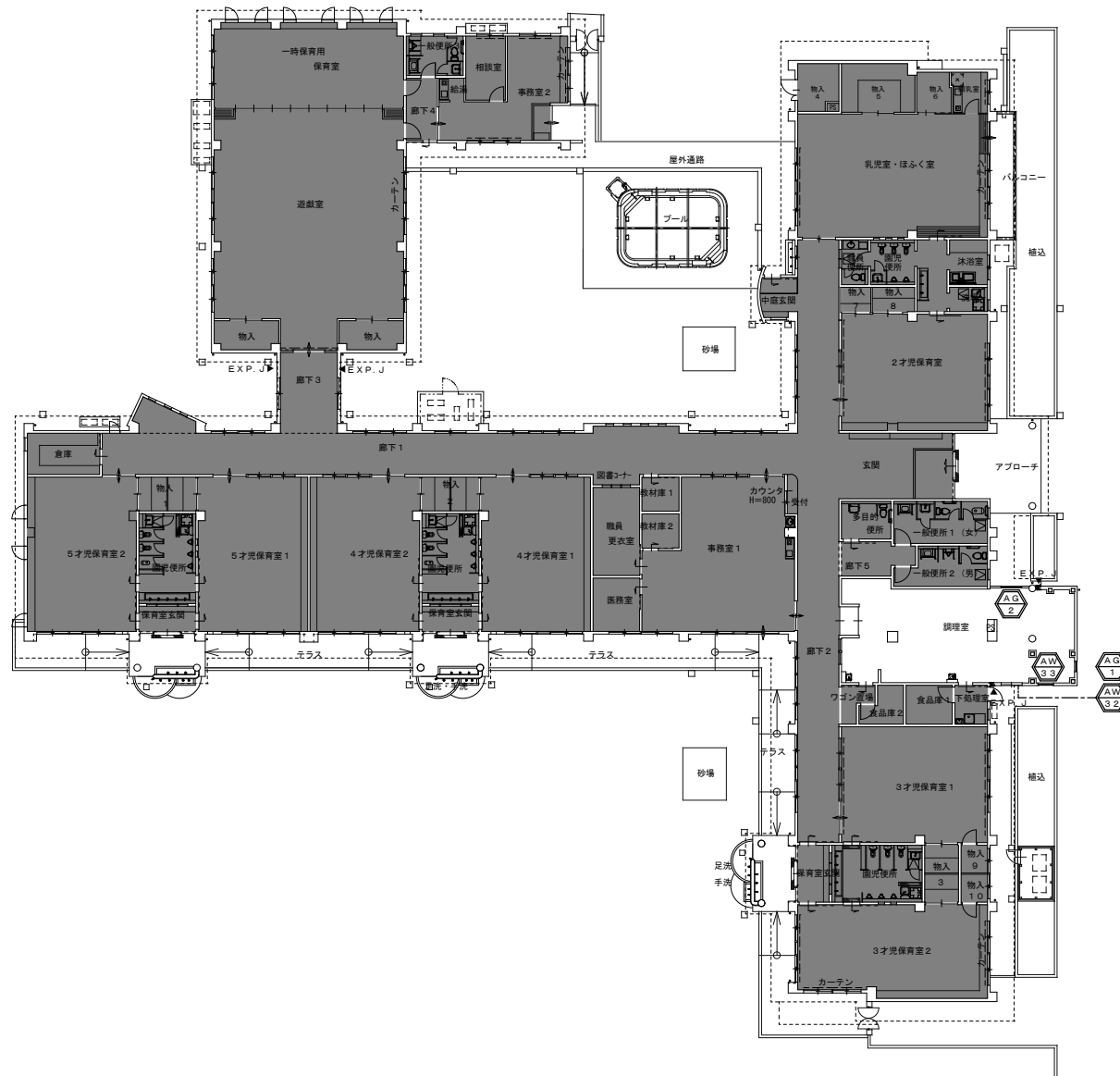


天井仕上						
記号	凡例	下地	仕上	廻縁	凡例	内容
Ⓐ		既存のまま	下地調整、EP-G塗	既存のまま		天井点検口450角 新設を示す。(8ヶ所)
Ⓑ		LGS	ケイカル板 厚6、EP-G塗	塩ビ製		既存のまま範囲を示す。
						既存部天井仕上新設範囲を示す。

特記	工事名	大山田保育園給食室増築工事			承認	管理建築士	印
	図名	<改修>天井伏図	縮尺 A2: 1/200 A3: 1/282	図面番号 A-40			
	前面提出日	2022/01/19					



特記	..... 改修範囲を示す。	工事名 大山田保育園給食室増築工事	縮尺 A2 : 1/200 A3 : 1/282	図面番号 A-41	承認	管理建築士	印
	..... 撤去建具を示す。						
図名 <現況> 建具平面図				承認 2022/01/19			



特記	・・・既存のまま範囲を示す。	工事名	大山田保育園給食室増築工事		承認	管理建築士	印
		図名	<改修> 建具平面図	縮尺 A2: 1/200 A3: 1/282	図面番号	A-42	
		図面提出日	2022/01/19				